

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50351	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	内山 融	法・政治	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の研究 現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM（evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成）の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。 この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。 公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPO など政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。 平常点による（報告と議論への貢献）。期末レポートを課す可能性もある。 詳細は UTOL に掲載するシラバスを参照すること。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大竹文雄・内山融・小林庸平 EBPM エビデンスに基づく政策形成の導入と実践 日本経済新聞出版 9784296115266 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51320	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	和田 俊憲	法学部	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	刑法総論の基礎・基盤 刑法は、どのような行為に犯罪が成立し、それに対してどのような刑罰が科されるかを定めた法律です。刑法学のうち刑法総論は、因果関係の判断、故意の内容、共犯の成否、刑罰の意義など、すべての犯罪に共通する問題を取り扱う分野であり、法学部講義科目の「刑法第 1 部」の内容に対応します。この演習では、「刑法第 1 部」の授業の進行にあわせて刑法総論の重要論点を深掘りし、あるいは、重要な判例の内容に立ち入った検討を加えることで、刑法総論の理解を深化させることを目指します。さらに、受講者の関心の高い刑事法のトピックについて自由に議論する機会も設ける可能性があります。 履修者の選抜等は実施しない予定ですが、万が一、履修希望者が 30 名を上回った場合には、前期課程の成績等を考慮して、選抜を行う可能性があります。 平常点のみによって評価を行う予定ですが、レポートの提出を課す可能性もあります。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51321	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	白石 忠志	法学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	駒場白石ゼミ 白石忠志が専門とする独占禁止法のうち、いくつかの重要分野を選んで、基本を学び、英語外国法資料や日本語日本法資料に接することで、この分野の国際的な動きを垣間見るとともに、試験で事例問題が出題された場合に答案を構成する経験をします。 重要分野としては、主に、企業結合規制を考えています。対象をあまり拡散せず、国際的な動きと日本の状況をしっかり把握し、書く練習をします。状況を見て、価格協定や入札談合など他の分野を取り上げることもあり得ます。 予備試験や司法試験の過去問も、少し使うかもしれません。独占禁止法は、司法試験や予備試験における選択科目「経済法」のほぼ全てを占める法律です。 英語資料も日本語資料も、自分で読むことが前提です（できれば紙で広い範囲を見ながら）。そのような過程を経た学生だけが、AI の答えの正誤や水準を適切に評価することができます。ふだんの勉学で AI を使うのは構いませんが、AI の回答だけに依拠して半可通のプレゼンをするような行動は、この授業の目標の対極にあります。 土曜の 8:30-12:10 を 5 回使って、本郷キャンパスで開講する予定です。詳しくは、9 月 11 日頃までに UTOL 経由の Google ドキュメントでお知らせする予定です。その Google ドキュメントに、参加表明のための Google フォームを置きます。 企業結合規制については「01」回に対面でも基本解説をしますが、独占禁止法の全体については、オンデマンドで学んでいただきます。					
成績評価方法	授業への参加・貢献の状況によって評価します。単位認定のためには、欠席は、理由の如何を問わず 1 回までが限度です。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 白石忠志 『独禁法講義 第 11 版』 有斐閣 978-4-641-24388-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51322	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	齋藤 哲志	法学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語で古典の文献を精読する フランス語で書かれた法学に関する古典的文献をゆっくり読む。読み通すことを目標としない。 早い時期に、翻訳でもかまわないから、なんであれ古典を読破することには大きな意義がある、ともいわれる。しかし、ほんとうに読解できているのか、自省の契機がないままに達成感を誇るばかりでは浮き足立つ。外国語の原文ならば、（本授業の提供者自身を含め）多くの者にとって「読めない」ことから出発できる。最初は歯が立たないかもしれない。それでも、古典と称される文献は、手続を践んで正対すれば「読める」ように書かれており、そうであるからこそ読み継がれ、学知の基礎となってきた。 注・解説が比較的充実した邦訳がある文献を指定するが、主たる読解対象はフランス語の原文である。フランス語初学者でも受講しうよう、文法等の解説にも時間を惜しまない。 具体的には、ポルタリス『民法典序論』を読むことにしたい。ただし、シイエス『第三身分とは何か』、ルソー『社会契約論』をも候補とし、受講者の希望に応ずる可能性を留保する。					
成績評価方法	平常点による。読解に取り組む姿勢のみを評価対象とする。よって例えば、辞書上の語義の無思慮な当てはめ（および、当然ながら、理由なき欠席・遅刻等）は負の評価を、考え抜いた結果たる誤訳は正の評価を帰結する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts ポルタリス（野田良之訳） 民法典序論（新装復刻版） 日本評論社 9784535596573					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51323	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	梅林 啓	法学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		法律実務家からみた「法律を学ぶことのススメ」				
授業の目標概要		法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益などについて、検事、弁護士としての経歴を有する法律実務家の観点から、様々な法律、法分野、国や社会の制度について、事例を交えながら、わかりやすく講義する授業。 私たちの社会や生活は、あらゆる面において、法律によって規制されている。「規制」というのは、自由を奪うという側面もあるが、法律がなければ、無秩序な社会になるだけなので、法律は私たちに平穏な生活をもたらすツールでもある。法律は、誰に対しても否応なしに適用されるものなので、法律を知っていることは生きていくための武器になる一方で、法律を知らないことで損をすることも多い。 法律を学ぶことは難しいと感じている人も多いかもしれないが、全ての法律を知る必要はない。法律を学ぶコツを知れば、必要なときに法律を知りに行くこともできる。ただ、法律は深く学べば興味は尽きない学問でもある。 この授業は、検事として 16 年、弁護士として 19 年の経験を有する法律実務家が、法律を学んだことのない学生を対象に、法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益について、様々な切り口から講義することを内容とする。そして、社会に出たときに、法律を学んだことがどう役立つかを理解し、法学部によるさらなる学業への意欲に繋げることを目標とするが、法学部に進学しない人にとっても、法律を学ぶことに興味を持つことを目標とする。 なお、履修に条件は設けない。				
成績評価方法		出席				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50234	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		質的調査の方法				
授業の目標概要		社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。				
成績評価方法		授業中に与えられる諸課題、レポート等。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50235	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		研究入門：歴史社会学から考える現代社会				
授業の目標概要		歴史社会学の古典の精読と議論を通じて、社会学に特徴的な問題関心や認識手続きの理解を深めるとともに、学術的なテキストの解釈に必要なスキルを向上させることが本演習の目標です。 今学期は現代を代表する社会学者・政治学者の Theda Skocpol の文献の中でも、特に現代社会の理解にとって示唆に富むと思われる論文を、履修者の関心等を踏まえながら選り、精読します。 なお履修希望者が 20 名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるため、初回の授業には必ず出席してください。受講許可は第 2 回の授業日までに掲示によって告知します。				
成績評価方法		平常点（議論への貢献）によります。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50233	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	川島 真	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	多極化と自律の時代－新たな時代の国際政治と秩序を考える－ 現在、世界は現在、秩序変動期を迎えているとされる。すでに中国、インド、トルコなどの新たな「極」が台頭し、それぞれが独自の世界観を持ち、自らの利益を最大化するべく対外政策を実施している。これらの国々は新興国などと言われるが、その内容は多様だ。先進国の地位は相対的に低下し、世界秩序は明らかに多元化しつつある。 だが、変化はそれだけにとどまらない。新たなに三つの大きな変容が、世界の秩序変容を加速している。 第一に、アメリカの変化である。オバマ政権期からもはや「世界の警察」たり得ないことは明確に示されていたが、第二次トランプ政権は従来以上に「一国主義」的になり、世界秩序や国際機関に対して無関心になっている。アメリカ以外の先進国は、例えば欧州諸国はアメリカ不在の NATO を想定し、またアメリカ以外の先進国や同志国によるミドルパワー連携が提唱されるなどしている。 第二に、中国が明確に先進国主導の世界秩序を批判し、自ら国際秩序を創造するという姿勢を明確にしていることだ。実際、その秩序観には荒削りな面もあるものの、経済を中心に中国は世界各国と強固な関係性を築き、ルール形成に勤しんでいる。今後、中国以外の新興国が秩序創造の姿勢を示していく可能性も高い。 第三に、ウクライナ戦争に見られるような「新たな戦争」、また AI などに代表される「新たな技術」が生まれ、それが新たな国際政治を生み出していく可能性である。目下、こうした先端領域における米中の優位性は確かだが、今後の動向は未知数である。 こうした諸要素を見据えて、この後の国際政治、秩序のありようを考える手がかりを得るのがこの授業の目的である。授業方法は、教員の講義、文献講読、ゼミナール形式での討論による。参加者の顔ぶれ、関心の所在によって、授業内容、方法について調整を加える。					
成績評価方法	演習においては、報告者、討論者のみならず全員に対して発言による議論への貢献を求める。 担当者となった際の報告内容、演習における議論への貢献（報告者、討論者としての発言に限定されない）と、学期末の小論文によって成績を評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Amitav Acharya The Once and Future World Order: Why Global Civilization Will Survive the Decline of the West Basic Books 1399811746					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50236	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	菱木 風花	哲学・科学史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近代日本における災害科学の源流を辿る 今日における日本の災害科学は、どのような歴史的過程によって形成されてきたのだろうか。日本の科学史では、明治期にその源流があると捉えている。それはなぜだろうか。江戸時代以前と明治期以降では、自然災害の捉え方や、対応の方法が異なっていく。そこにはどのような違いがあったのだろうか。 本授業では、災害（社会）史、科学の学説史、科学の社会史という大きく 3 つの歴史分野の知見と視点について学ぶことを通して、上記の問いに答えるためのヒントを探していく。 また、この実践を通して、同時代・地域の歴史について、異なる歴史分野から多面的に捉え、検討する方法を学んでいく。 なお、受講許可のための選考は実施しない。 ※授業の性質上、20 人を大幅に超える場合は、抽選（結果を授業第 2 回までに通知）を行います。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の授業の終わりに実施するコメント回答、及び調査報告会に基づいて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51374	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	古荘 真敬	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		実存哲学の古典を読む 私たち各人が当事者として直面せざるをえない生の意味・死・自由・不安・絶望といった事象を、単なる思弁の対象としてではなく、自身の実存に関わる切実な問題として主題化したのが、19～20 世紀の実存哲学である。本ゼミナールでは、その代表的な書き手であるキェルケゴール、ニーチェ、ハイデガーのテキストから重要な抜粋を選び、講義と講読演習を組み合わせながら、丁寧読み解いていきたい。それぞれのテキストは、カント以後の近代哲学の問題状況を背景にしており、その哲学史的文脈にも適宜触れたい。読み込んだ内容について受講者同士で議論を交わし、自身の生のあり方を新たな視座から捉え直す機会としてほしい。取り上げるテキスト（日本語訳）の候補としては、キェルケゴール『死に至る病』、ニーチェ『悦ばしき知識』『道徳の系譜学』『ツァラトゥストラはこう言った』、ハイデガー『存在と時間』『形而上学とは何か』などを考えている。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		演習授業における発表あるいは期末レポートによる。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51375	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	西村 明	文学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		宗教研究のアプローチと資料 宗教研究には人文・社会科学諸分野にまたがる多様なアプローチがあり、また比較という王道の手法から認知科学やデジタル人文学など新たな研究手法も登場している。論を展開する上で依拠する資料もアプローチに応じて、あるいは解明すべき問いに応じて実にさまざまである。この授業では、日本宗教学会の『宗教研究』に掲載された論文をテキストとして用い、そのアプローチと資料のヴァリエーションについて検討していく。				
成績評価方法		発表や発言の積極度に基づく平常点で評価する。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50237	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	大塚 修	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		史料から読み解く中東イスラーム地域の歴史 中東イスラーム地域の歴史や文化に関心のある学生を対象とした、英語文献を精読するゼミナールです。この地域の歴史を研究するためには、アラビア文字を使用するアラビア語、ペルシア語、チャガタイ・トルコ語、オスマン・トルコ語といった言語で書かれた史料を分析する必要があります（有名なものでは、タバリー著『預言者たちと諸王の歴史』やラシード・アッディーン著『集史』）。このゼミナールでは、そういったアラビア文字文献の名著の「英語訳」を精読する作業を通じて、研究の技法を身につけるとともに、中東地域の歴史や文化を学びます。講読文献は、履修希望者の興味や関心に応じて決定します。講読文献は英語ですので、興味がある学生であれば、どなたでも歓迎します。履修者が 20 名を超えた場合は、選考を行いますので、初回授業には必ず出席してください。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常点と期末課題から総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51058	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	渡辺 美季	歴史学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		食文化から見た琉球・沖縄の歴史 琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジアの一王国として存続し、独自の文化的特徴を発展させた。本講義では、周辺諸国との交流の中で、琉球王国がいかにしてその文化的固有性を育んだのか、また沖縄県となった後、日本やアメリカとの関わりの中で、その文化がどのように継承され変容したのかを、「食文化」を切り口に多角的に考察する。歴史学研究の主流とは言いがたい「食文化」を敢えて切り口とすることで、従来の歴史学を相対化しつつ、新たな視点・考え方を養うことを目指したい。 ゼミ形式で行うため、20 名を超える場合は、選考を行う可能性がある。その場合、A4、1 枚程度のレポートを課す予定である。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常点（5 割）と研究報告および最終レポート（5 割） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50238	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	中村 沙絵	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		研究入門——民族誌精読 本授業では、一冊の民族誌がどのようなフィールドワークを経て書かれたのかをたどりながら、人類学の特徴的な研究方法であるフィールドワークと、そこで得られた経験を民族誌として表現する営みについて学びます。 テキストには、スリランカを舞台とするモノグラフ『響応する身体—スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌』を用います。完成した書物だけでなく、講師のフィールドノートや写真、推敲の過程、執筆後に新たに考えたことなども適宜紹介しながら、一つの経験がどのように民族誌へと形づくられていくのかを一緒に考えます。 授業では、民族誌を読むだけでなく、受講者自身も短い文章を書いたり、さまざまな表現を試みたりする実践に取り組みます。そうした実践を通して、経験を手がかりに書きながら問いを見つけ育てていくという、人類学ならではの研究の生のプロセスの一端に触れることを目指します。				
成績評価方法 教科書		授業中の発表（40％）とディスカッションへの貢献度（60％）で評価を行います。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中村沙絵 響応する身体：スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌 オープンアクセス版を受講者に共有する。				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50239	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	小田 博宗	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		言語科学入門：生成統語論（統辞論） 言語は人間にとって最も身近なものの一つであり、人間から切り離すことのできないものである。それゆえに言語について考える際は主観的・観念的になってしまうことが多く、言語について客観的・科学的に考えるためには、相応の訓練を積まなければならない。 この授業では、言語データを客観的に観察し、分析する手法を学ぶことで、言語を科学的に研究する思考・技術を身につける。取り上げるのは統語論（もしくは統辞論、英語で syntax ）と呼ばれる分野で、これは言語の文法を研究する分野である。ここでの「文法」とは、一般的にイメージされる語学の際に学ぶような（ともすれば暗記事項と思われがちな）個別具体的な項目ではなく、「人間言語の一般法則」のことを指す（もちろん語学においても言語の法則性として文法を考えることは有用である）。まず「言語」とは何か、そして「言語」はどこからやってくるのか、といった根源的な問いから始め、そうした問いに正面から向き合う生成文法理論と呼ばれる言語理論を学び、反証可能性、必要十分条件といった基本的な概念を踏まえながら言語データに対する客観的・科学的分析を積み上げていく。 「言語学」と聞くといわゆる文系、特に人文系の学問分野であると思われがちだが、言語を扱う人間が形成する社会のレベル（社会科学）、自然界における生物種としての人類やそこに関わる物理法則というレベル（生命・自然科学）、また近年話題の生成 AI などの機械実装のレベル（機械工学）など、実は広範な学問分野と交わる分野である。これらを結びつけるのは、「合理主義」と「経験主義」という、古代ギリシアの哲学以来の人間（や生物）の「知識・能力」についての重要な問題意識である。よって、言語学や人文(科)学に興味がある学生のみならず、社会科学、生命科学、自然科学、機械工学など、多様な関心を持つ学生の受講を歓迎する。一方で、いずれにも関心はないがとりあえず受けてみようというような学生も等しく歓迎する。大学での学問は意外な出会いがあるから面白いのであり、肩肘を張らず気軽に受講してもらいたい。				
成績評価方法 教科書		毎週の課題および期末試験を踏まえて、総合的に判断する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋将一 データとともに学ぶ生成文法の基礎 開拓社 978-4-7589-2419-1				
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50909	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	心理・教育学	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学統計法―統計的思考と因果推論の基礎― 今日注目を集めているデータサイエンスという分野において重要なことは、物事を客観的に判断するために証拠となるデータを集め、的確に分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL 上で動く HAD を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。基礎統計の授業などで学んだ理論を実際のデータを自分の手で分析することによって理解を確実なものにすることを目的とする。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。 受講者数が収容人数（30 名程度）を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。				
成績評価方法		平常点、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 平常点 20%、課題点 80%				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50240	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	アルヴィ なほ子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	詩とは何かー外国語、日本語、翻訳、生成 AI をめぐって 履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20 名程度に受講を許可します。受講許可は第 2 回までに UTOL のこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。「課題」は google form です。g.ecc のアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。 https://forms.gle/iyLGm8hownjMLnCs7 以下の 2 つの google forms に 1 回目の授業までに回答してください。 https://forms.gle/a7RpKLCy3ghxEcSy5 https://forms.gle/pCq2JGLC3w4ysJh98 目標) 英語で書かれた文学テキストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テキストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。文学テキストを研究する場合に生成 AI をどのように活用・利用できる(できない)かを検討する。 1) 文学テキスト、特に詩(韻文)を読むとはどういうことかを理解する。 2) 文学テキストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外部——同時代のコンテクスト、現代の理論など——などを考察しながら、1 つの作品(テキスト)を精読していくやり方を学ぶ。 3) 一次資料の扱い方、OED などの使い方に慣れる。Bibliography (Book history) の初歩を学ぶ。 概要) ことばが文学テキスト、特に「詩」となって花開くとき、何が起きているのか、文学テキストの生成と想像力の関係、そのテキストが生み出される文化との関係、固有の文化、時間を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。 授業に関連するアクティビティ(口頭発表、ディスカッションへの参加、コメントなどの課題など) 60%、 期末試験 40%					
成績評価方法	授業に関連するアクティビティ(口頭発表、ディスカッションへの参加、コメントなどの課題など) 60%、 期末試験 40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ed., Marc R. Plamondon. Representative Poetry Online (https://rpo.library.utoronto.ca/) University of Toronto					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50654	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	沖本 幸子	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	伝統芸能研究入門 日本の伝統芸能の魅力をどのようにひもといていけるのか。雅楽、能狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃といった舞台芸術から、民謡、盆踊り、祭の芸能などの民俗芸能まで、伝統芸能に関心のある人達が、自分の抱えているテーマを掘りさげて研究につなげていけるように、一緒に考え、議論していきたい。 ゼミ形式で行うため、あまりにも多人数の場合は、選考を行う可能性がある。その場合、A4、1 枚程度のレポートを課す予定。					
成績評価方法	平常点(4 割)と最終レポート(6 割)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50916	A	人文科学ゼミナール (ことばと文化)	村上 克尚	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	大江健三郎『懐かしい年への手紙』を読む 大江健三郎の長編小説『懐かしい年への手紙』(1987 年)を通読します。本書は、大江の自伝的な性格を持ちますが、同時に「ギー兄さん」という架空の対話者を設定し、ダンテの『神曲』の読解を複層的に響かせるなどといった企みにも満ちています。本書を読むことを通じて、大江にとっての「戦後」の軌跡を振り返るとともに、大江が考える「自伝」とはいったいどのような営みだったのかについて考えてみたいと思っています。					
成績評価方法	平常点と、期末レポートの両方で評価します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大江健三郎 懐かしい年への手紙 講談社文芸文庫					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50150	A	自然科学ゼミナール (身体運動科学)	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アドバンスト・フィットネス 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。受講希望者が 25 名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第 1 回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第 2 回講義前までに UTOL に掲載する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51114	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	長谷部 政治	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		～生体脳は培養できるのか？～昆虫脳をモデルにした組織培養とその定量的評価 SF の物語などで「ガラスケース内で脳を培養している」といったシーンが出てくることはありますが、実際に「生体脳」をどの程度培養することが可能なのでしょうか？ 本講義では実習形式で、履修者自身の手で昆虫を実験モデル実際に脳組織摘出と培養を行い、組織培養の基礎にふれてもらいたいと思います。更に、その脳組織中の細胞が培養しても正常に「生きている」のかを、遺伝子発現解析・死細胞標識を行うことで定量的に評価します。これら一連の実習を通して、組織培養・定量解析技術の獲得を目標とする講義となっています。 本講義は実習（午後半日:3 コマ分×4 回）＋まとめ（1 コマ分）で構成されております。 実習パートの概要として、昆虫を実験モデルに用いて組織摘出と培養、遺伝子発現解析（リアルタイム PCR）と死細胞標識を以下のような予定で行います（詳細は授業計画も参照してください）。 第 1 回：実習内容のガイダンス、昆虫解剖・脳摘出の練習 第 2 回：昆虫脳の摘出と培養液への移行、摘出直後の脳の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 3 回：培養後の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 4 回：培養前後の脳の遺伝子発現の定量的解析（リアルタイム PCR 法） 「自然科学ゼミナール（生命科学）」は、実習形式での実施のため受講可能人数・日程が限られているため、受講希望調査票を提出してもらい、受講希望者が多数の場合には、この調査票をもとに受講者を選別します（受講選抜者：最大 3-4 名程度を予定しています）。 履修希望者は 10 月 4 日（日）までに、以下の Google form（東京大学アカウント：ECCS メールアカウントからのみ回答可能）から申し込みを行ってください。 https://forms.gle/j9ymzmJUFMqmhajn6 選抜結果は、10 月 7 日（水）までに通知します。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		実習への参加度と実習内容をまとめたレポートにより評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51115	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	池田 啓、土 畑 重人	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	自然史生物学：生物のマクロ的な現象に関する探究 生物の進化や生態に関連する研究の初歩的な実験や解析を通して、生物学におけるマクロ的な現象を論理的に考える力を身につけることを目標とする。 担当教員の専門分野に関連する課題を個人またはグループごとに設定し、実験やデータベースから入手したデータなどを用いた解析をもとに、生物のマクロ的な現象に関する研究プロセスを学ぶ。また、課題に対する成果をプレゼンテーションすることを通じて、科学的な思考を学ぶ。 実習及びディスカッションを円滑に行うため、受講希望者を選抜する。選抜にあたっては、興味のある生物現象や取り組みたい課題、本講義に期待することに関するレポートを用いる。選抜については、UTOL に記載するとともに、ガイダンスの際に改めて連絡する。選抜結果は、10 月 9 日（金）までに通知する予定。あらかじめ複数名のグループで 1 つの課題に取り組みたいと考えている場合には、グループに含まれる学生の氏名と学籍番号をレポートに記入すること。 ＜担当教員の研究キーワードと主なトピックス＞ 土畑（社会性昆虫の進化、昆虫の行動生態学、数理生態学） 生物の種内社会関係を遺伝子配列情報に基づき推定する 昆虫の集団行動を定量的に観察し、相互作用規則を探索する 数理モデルを用いて生物のマクロ的な現象とその進化を理解する 池田（植物の種分化、系統地理学、高山植物、進化生理学） 生物の個体群動態や分布変遷をゲノム情報に基づき推定する 植物の光応答性に見られる多様性を生理学実験や遺伝子配列をもとに探索する 生物の分布情報や生理学実験をもとに種分化の生態的要因を探索する					
成績評価方法	実習・ゼミナールにおける課題への取り組み状況と成果発表会におけるプレゼンテーションの内容、ディスカッションへの取り組み状況に基づきに評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50241	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	化学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	有機反応機構を考える 本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈に至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者はできるだけ第 1 回目の講義に出席してください。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して 15 名程度履修しています)。					
成績評価方法	平常点および期末試験により評価を行います。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	オンラインで行う場合は、ITC-LMS を通して資料を提供します。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	関口 英子	数学	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	群と表現論 「リー群と表現論」(小林俊行--大島利雄著、岩波書店)を参照しつつ、いくつかの大切なトピックを学んでいく予定である。 「自然科学ゼミナール(数理科学「群と対称性」),」では、線型代数等の予備知識を必要とすることから選抜テストを実施する。履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第 3 回講義前までに掲示する。					
成績評価方法	試験により評価する。セミナーとして発表した場合はそれも含めて評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50655	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	高木 俊輔	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『代数曲線入門』輪講 宮西正宜・増田佳代著『代数曲線入門』を輪講することにより、可換環論、代数幾何、特異点論の初歩を学ぶことを目標とする。また、数学の専門書を読んで理解し、その内容を他の参加者に対して発表し、討論することを通じて、ゼミナール形式による数学の学び方を経験することも目標とする。 この科目では、履修希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を行う。履修希望者は、本講義の受講を希望する理由を A4 用紙 1 枚程度に記載し、pdf ファイルとして第 1 回講義開始日の 15:00 までに UTOL に提出すること。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。				
成績評価方法 教科書		平常点および発表内容により総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 宮西正宜・増田佳代 代数曲線入門 共立出版 9784320111448				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51414	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		児童生徒・学生と社会人のための「AI リテラシー検定」設計 数年来この枠では「AI 時代の教育を考える」といったタイトルでゼミナールを持ってきたが、シラバスにいくら書いても履修希望者のなかにはかならず「AI を使う教育」という強固な誤謬があった。私達は、AI が社会普及して以降の子供たちが、システムに振り回されないためにどのような算数や国語、英語などの基礎学力を身に着け、またそれを応用できるか、を問うている。そこで今学期は学内外で協力しつつ進めている「東大 AI リテラシー検定」の問題作りや出題の基本姿勢などを、ゼミで陽に扱ってみようと思う。 YouTube を開けば「ゆっくり解説」などの合成音声で、完全に誤った日本語の音読を聞かされない日がない。我々はそれを「誤読」と弁えているが、幼児や小中学生なら「家族」を「イエゾク」と読むような「それも日本語」と誤解してしまいかねない。すでに東大生を含む 10 代 20 代の電子メールなどの日本語は相当乱れている。こうした傾向に歯止めをかける「東大 AI リテラシー検定」を考えたい。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席 提出物 レポートなど ただし 理由の明確でない欠席者にレポートだけで救済単位などは出さない 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

[illegible]

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50242	A	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	三輪 健太郎	先進融合	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		四コママンガ再発見 四コママンガは、そのフォーマットのコンパクトや、古今の多様なメディアへの浸透ぶりからすれば、ある意味で最も身近なマンガのサブジャンルといえますが、しかし従来のマンガをめぐる批評や研究のなかでは必ずしも盛んに分析されてきたとは言い難い分野でもあります。この授業では、わずか四コマという定型のなかにどのような表現の可能性が見出せるかを、既存の四コママンガを分析したり、受講者自身に四コママンガを制作してもらったりしながら実践的に探究します。四コママンガの制作といっても、参加者のひらめきに期待して大喜利大会を毎週やるのが目的ではありませんから、たとえば既存の作品を再構成してみたり、偶然性を利用してアイデアを得たりといった実験的な試行錯誤をしながら進めていきます。したがって目標となるのは、「面白い四コママンガ」を描けるようになることよりも、「四コママンガの面白さ」を考え、言語化できるようになることです。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50917	A	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	三輪 健太郎	先進融合	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		マンガにとってコマ割りとは何か この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐる、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。なお、受講者の作成物は、授業内で共有した上でフィードバックを行います。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51436	A 1	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	檜垣 万里子	生産技術研究所	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		観察スケッチから学ぶデザイン 本授業はデザインに興味を持つ学生を対象としたスケッチの基礎トレーニングとプロダクトデザインの要素を学ぶ入門授業である。デザインの工夫は見た目の良さだけでなく使いやすさや製造のしやすさなど多岐に渡る。身の回りにある製品をよく観察し、スケッチすることにより、デザイン要素を発見・分析・共有する力を身につける。7回の授業と課題を通して、プロダクトデザインを見る眼とそれを伝える手段を習得することが期待される。 履修希望者が 20 名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回までに掲示によって告知する。				
成績評価方法 教科書		出欠：30%、毎週の課題：30%、最終課題：40% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 檜垣万里子 気になるモノを描いて楽しむ 観察スケッチ ホビージャパン 978-4798619187				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60239	A 2	文理融合ゼミナール (認知と芸術)	野老 朝雄、 舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		個と群 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。 美術家の野老朝雄氏をお招きし、本学で「かたち」について研究者している舘知宏と協働しながら、集中講義で制作を行う実技の授業です。野老氏の制作のプロセスを受講者が実際に手を動かしながら一緒に実践します。 野老は、図形的操作や幾何学の原理に基づき、単純なピースを組み合わせることで、平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出しています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたりますが、野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼んでいます。 本科目では、受講者は実際に手を動かしながら、「個と群」による表現のアクティビティを実践します。 さらに授業中の講評・講義では、「かたち」を通して、幾何学、アルゴリズム、生物、建築などを横断した学問のつながりをたどります。例えば、「個と群」の原理は古今東西の紋様、建築や宇宙構造物、セル材料、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、自然現象や人工物に普遍的にあらわれる考え方です。 本授業では、つくることを通して科学・数理の現象を理解したり、美術の背後にある数理を解き明かすことにつながり、時々研究論文も生まれます。興味ある人は次の学期に「研究入門」の履修も検討ください。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	中井 悠	先進融合	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 ※詳細は UTAS をご確認ください。 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス						

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60240	A 2	文理融合ゼミナール (身体と芸術)	中島 さち子、 舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		数学と音楽 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いため留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込みが高いため、履修にあたっては十分に注意すること。 集中講義で創作活動を実践する。音楽家かつ数学研究者・STEAM 教育者の中島さち子と本学研究者の舘知宏とが協働し担当する。各自の興味に基づいて「数学と音楽」による新たな表現を模索する。各自のプロジェクトを進め、毎回進捗共有とフィードバックのサイクルの後、最終回にプレゼンテーション、演奏、ライブなどを行う。途中、中島の周囲の音楽家もゲストに呼び込み、サクソやドラム、ベースなども一緒に演奏を交えて、探求を深める。 制作の実践とフィードバックのサイクルの中に、理論的・実践的なレクチャーが織り込まれる。音楽と数学の関係について、例えばバッハなどに見られる対称的構造、ハーモニーや音律と数比の関係、コードの変化と群、リズムと円の分割、さまざまな音色とフーリエ解析などに基づき、さまざまな音楽の背後に潜む数学について解説を行う。また、簡単に Processing ないし p5.js を用いて多様な形で音の視覚化や AI と絡める方法を示唆し、創作に生かせるようにする。バッハやモーツァルト、ベートーベン、ドビュッシー、コルトレーン、中島や他音楽家の楽曲の特徴を司る数学的特徴や時代背景と数比の関係などを多岐にわたって紹介する。振動現象、共鳴などについての物理的な考察と、楽器作りなどもテーマとする。数学 x 音楽に、さらに身体性の視点も導入し、五感のアートの事例を紹介する。音楽やアートの未来と数学・技術・ものづくりとの協働の可能性を探る。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50850	A	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	金井 学	先進融合	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		メディア=都市空間への介入と漂流、あるいはその換骨奪胎 この授業では、私たちの生活世界を構成している都市空間をメディアとしてとらえ、そのメディアの裏をかくことで私たちの可感的領野（の外側）を探求します。 私たちが、日常の生活の中で私たちを取り巻く世界を感覚する時、そこには常に世界と私たちの感覚との媒（なかだち）となるもの＝メディアが存在しているはずです。従って「私たちが何を感覚するか？」は、そのメディアのあり方に拘束されており、それゆえ「私たちは何を感覚することができる（ようになるの）か？」という可能性もまたメディアと私たちとの関わりのあり方に存するとも言えるのかもしれませんが。 このような問題意識に基づき、本授業では、東京を代表する都市の一つであり、また駒場キャンパスに隣接する「渋谷」という街を一つの巨大なメディアとして捉え、20 世紀フランスの前衛芸術運動体であるシチュアシオニスト・インターナショナル（1957-1972）の芸術活動とその方法論の一つの手引としながら、この渋谷＝メディアのあり方を探索します。渋谷＝メディアでの漂流や批判的介入の実践を通して、そのメディアが生み出す感性的拘束を換骨奪胎し、作り変えることを試みます。具体的には、都市フィールドワークの形式をとりながら、遊歩を通じた音声、写真、スケッチ、その他の採取・収集に取り組むとともに、それらを教室に持ち帰って観察とディスカッションやリフレクションを行うことで、このような「メディアの残滓」から新たな感性的対象への手がかりを探索し、そこで得られた発見に基づいて、そのような新たな感性的対象を結晶化する事物＝芸術の制作に挑戦します。				
成績評価方法		出席、参加度や積極性、制作物などから総合的に評価します。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51059	A	文理融合ゼミナール (メディアと芸術)	斉田 一樹	先進融合	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		電子楽器制作入門 初歩的なプログラミング・電子工作を通じて音の仕組みを学びながら、自分の手で電子楽器を作ります。アナログ/デジタルの電子回路やマイクロコントローラ、ソフトウェア等、現代の電子楽器で使われている諸技術を使い、簡易的な音が出るものを作ります。 その過程で、音を出す仕組みや、音を使った表現について学びます。東京大学での他の講義科目や学術分野についても紹介します。授業の最後では、自作の楽器で簡単な演奏を行います。毎回、簡単な制作作業を実施します。 専攻不問です。興味があれば未経験者も歓迎します。 ※ 受講者多数の場合、記述式の課題を提出していただき、選抜を実施します。課題は初回オリエンテーション時にお知らせします。内容は電子楽器制作の専門性を問うものではありません。選抜結果は2回目の授業までにお知らせします。 ※ 受講人数は講師によるハンズオン授業のため、最大でも20名程度を予定しています。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業の進捗により判断（各自の制作と発表の時間が別にとれば、発表内容で判断） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	中井 悠	先進融合	月 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		※詳細はUTASをご確認ください。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50547	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	工藤 和俊	先進融合	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		身体パフォーマンスの熟達化 スポーツ、ダンス、音楽などのパフォーマンス時における動作、筋活動、心拍、呼吸等の生体情報計測、映像解析、および文献調査等を用いてアート・パフォーマンス熟達者の身体技法やパフォーマンスの熟達プロセスを明かにし、研究発表を行います。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		研究への取り組みや成果を総合して評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51060	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	金井 学	先進融合	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		超・現・在 文理融合ゼミナール「研究入門」は、学芸技術の連携により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指す授業です。 この研究入門「超・現・在」では、履修する学生各自の興味関心に基づき芸術創造の実践=制作を行うとともに、＜present(ation)＞を鍵語としながら、同時にそれらを「いま」「ここ」に存在させる形式も一体的に作り出すことについて実践的な取り組みを通して学びます。よりイメージしやすい言い方をすれば、「展覧会」や「出版物（ZINE）」等の企画制作という創造的实践の中で芸術に関連するトピックを探究する授業ということになりますが、しかしこの授業で扱う問いの中心は「展覧会」や「出版物」といった出来合いの形式を疑い、あなたが創造する芸術が要求してくる「現れ出方」（一定程度あらわれ出るための時間、あるいは空間のあり方と、それが「いま」あるいは「ここ」を作り変える（＝超出する）可能性を探究するところにあります。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業への取り組み方、成果等を総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51118	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		つながるかたち 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。 初回ガイダンスは10/5の18:45開始を予定しています。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		研究活動への取り組み、対外発表等への取り組みなどを総合して評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行く。／Will conduct guidance at another time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51416	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	伊東 乾	情報学環	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		「教程を作ってみる」 このコマは2018年、俳人の金子兜太さんと映画監督の高畑勲さんと、かつての東大生は「辞世の句」など、ものを「創る」ということが当たり前だったのに、21世紀に入ってすっかり退潮になっている懸念がある、と話したことが動機となって、「何か創ってみよう」というざっくりした／ゆるい設定で続けてきた。 ところが、毎年ヒマネタ化していたこのコマが2026年の前期は非常に充実し、うれしい驚きであった。そこで今期は前期を踏まえ「子供に何かを教えるもの」を作ってみるという緩やかな枠を設けることとした。例外があっても構わないが、まずもって何らかの「教程」を新たに作ってみることに挑戦する人を歓迎する。 前期でよかったもの：中学数学の因数分解を図形教材で体感させる／新しい「そろばん」教育の可能性 などなど。 担当者は理学系研究科物理学専攻の修士2年次、3年生の必修実験「真空技術」のTAとして、教程をほぼすべて新たに作り直し、たんに忍の一字であった「真空ポンプを引くだけの実習」を、目で見え、手で触れてわかる統計力学実験に作り替えさせてもらった経験がある。それから20年ほど経過した2011年、福島に放射線の可視化実験を宅配するので久しぶりに物理学科を訪ねたところ、M2の僕が作った教程がそのまま踏襲されているのを知り、いたく感動した経験がある。もう20歳もすぎれば大人であるから、立派に通用する教程を作成可能だが、黒板におしりを向けて立つ人はいちばんよく準備しなければならない。そういう経験をしてもらうと よいように、自分自身の学生時代も振り返って思うのである。 また「研究入門」としたのは、本学の3、4年や大学院での指導などを見るにつけ、どうも「研究入門」的な指導をする若い先生が減っているのではないかと いう懸念があることが第一。 さらに「教える」システムを作る際には まず「教える人」教師側への指導書などが第一に先行し、プリンシパルを立てる必要があるため、下手な「研究入門カリキュラム」以上に、入念にクリエイティヴな研究に取り組むマナーに慣れ親しむことになるからである。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席と提出物（レポートを含む） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51438	A	文理融合ゼミナール (研究入門)	本間 健太郎、 檜垣 万里子	生産技術研究所	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	プロジェクト・プロトタイピング 「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 ***** 「プロジェクト・プロトタイピング」では、生産技術研究所価値創造デザイン推進基盤の協力のもと、受講生が各自の問題意識にもとづいてデザイン実践に取り組みます。A1・A2 タームを通じて、新たなプロダクト、建築や空間、メディアアートや UI、電子的デバイス、web サービスなどを企画・制作します。 制作物には、何らかの学術テーマに基づいていることを求めますが、それ以外は各自の自由な発想を尊重します。受講にあたっては、制作対象と学術テーマが明確になっている、あるいはおおむね定まっていることが望まれます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	成果のクオリティや、活動への積極性などを総合して評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

英語中級（クラス指定ターム型）火3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50329	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	単語使用力の増強とそれを生かす読解					
授業の目標概要	学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。					
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。					
教科書	期末レポートとして、読解テキストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テキストの両方から出題する予定。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7					
	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50330	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践					
授業の目標概要	英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 ・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する ・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する ・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる ・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる					
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する					
教科書	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50331	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	加太 康孝	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する ◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 A1 ターム。過ごしやすくなっていく気候に喜びつつも、昼がどんどんと短くなっていくのが気になってまいります。そうしてあっという間に過ぎていく 7 週間。読書の秋とも言われるこの時季に毎週ちびちびと味わう英語作品と言え ば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella） は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モ ダニズム文学」などとして高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、とにかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を 適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、 まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程 で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導 いてくれるではありませんか！ もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テキスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心 を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。 ‘The Dead’ は 20 世紀初頭 のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどこに属していたのか、と問うことはやはり必要です。しか しながらやはり、文学テキストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそそのものですから、「正しく英語を 読む」ことと「文学作品として読む」こととの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実 にたくさんあるので、基礎を大切にしていきたいと思います。 ※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立 った段階で方針を確定する予定です。 平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10% 授業内提出物 30% 小テスト 60% ※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重 要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画を ご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。					
成績評価方法						
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50332	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新し い文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべ てを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じた意味をじっくり考え たりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50333	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アガサ・クリスティの短篇小説を読む 英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。 授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ 短篇集 成美堂 9784791900046 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50334	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダ ン	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models. Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50335	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	Technology and Cognition					
授業の目標概要	For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of • some of the effects of recent technologies on people • interactions with and through machines • alignment problems 2. Use English to practice • reading skills, and • discussion skills					
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: • 45 hours of study • including attendance of at least five lectures. References: • The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en • In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51476	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 3	1 年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目	Intermediate English: Comparative Education					
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.					
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60092	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目	Technology and Cognition					
授業の目標概要	For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of • some of the effects of recent technologies on people • interactions with and through machines • alignment problems 2. Use English to practice • reading skills, and • discussion skills					
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: • 45 hours of study • including attendance of at least five lectures. References: • The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en • In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60093	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践					
授業の目標概要	英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 • 英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する • 英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する • 発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる • 理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる					
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60094	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目	単語使用力の増強とそれを生かす読解					
授業の目標概要	学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。					
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テキストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テキストの両方から出題する予定。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60095	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30%					
教科書	Individual Assignments: 70%					
ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60096	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	アガサ・クリスティの短篇小説を読む 英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。					
成績評価方法	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ 短篇集 成美堂 9784791900046					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60097	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60098	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	加太 康孝	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する ◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 A2 ターム。冬至を挟み、寒くて暗い。人はそんなときに集い、宴を催します。食べて飲んで、年越し。未来に向かって気持ちを新たにする時季でありながら、これまでを振り返る機会も多い。そうこうしているうちにあっという間に過ぎて行くターム。ああ、こうして今年度も終わっていくのか…… こんな学期を有意義に過ごすための英語作品と言えば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella）は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モダニズム文学」などとして高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導いてくれるではありませんか。 もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テキスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。‘The Dead’ は 20 世紀初頭のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどこに属していたのか、と問うことはやはり必要です。しかしながらやはり、文学テキストの読解というものの結局は英語がきちんと読めてこそのもので、正しく英語を読む」とこと「文学作品として読む」とことの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にしたいと思っています。 ※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立った段階で方針を確定する予定です。 平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10% 授業内提出物 30% 小テスト 60% ※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画をご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。					
成績評価方法	教科書 ガイドス					
教科書 ガイドス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60246	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27)文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)
講義題目 授業の目標概要	Intermediate English: Comparative Education This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.					
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%					
教科書 ガイドス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型）火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50393	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Zane Mackin	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Form in Poetry. A workshop.					
授業の目標概要	This class uses poetry as a way to understand the deep connection between poetic language and everyday language in English. What poets and poems are important for understanding English? What lines from poetry are so famous that they have become a part of everyday speech? And in what ways does poetic language signify as “poetry” distinct from ordinary speech? On the other hand, do the mechanics of poetry (e.g. meter, rhyme) ever affect how we talk today, and if so, how? (The answer here is yes, all the time.) Does studying those mechanics help us to get a more natural feel for the logic and flow of the English language? (The answer is yes here too.)					
成績評価方法	This course will cover a few of the major authors and movements in the history of lyric poetry in the English language. It is not an exhaustive overview, but it will at least provide a general framework for understanding the history of poetry in English. Class time will be spent mostly on close reading. We will get deep into the grammatical/syntactic structure, we will explore word choice, and we will uncover how meter and rhyme contribute to the construction of meaning. In addition to reading, students will have several assignments outside of class. 1) As a way to get intimate with poetic form and the aesthetic concerns proper to poetry, they will write and workshop their own poems imitating the voice/style of specific authors. 2) As a way to see how the specifics of language come to bear on poetry, they will translate poems from one language into another. 3) As a way to become intimate with the cadences of poetic language, students will memorize and recite a poem of their choice in their a final project.					
教科書 ガイダンス	Attendance/participation (20%) Five imitative poems (50%) One recitation (15%) One translation (15%) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50394	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	Technology and Cognition					
授業の目標概要	For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition.					
成績評価方法	Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills					
教科書 ガイダンス	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・ The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・ In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50395	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Visual Analysis: Reading Print Advertisements This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.				
成績評価方法		Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50396	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	三原 芳秋	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		百年前の英国学校生活を有名作家のことばで読む Reading Famous British Authors on Their Old Schools 100 Years Back この授業では、1900 年前後に生まれ、第一次世界大戦とその戦後に英国で中等教育を受け、その後有名になった作家たちが自らの学校生活を回顧して書いたエッセイを複数講読します。小説家のグレアム・グリーン（Graham Greene）が編集した『The Old School: Essays by Divers Hands』（OUP, 1984）には、日本でもよく知られる詩人 W. H. オーデン（W. H. Auden）、小説家エリザベス・ボウエン（Elizabeth Bowen）、外交官ハロルド・ニコルソン（Harold Nicolson）、小説家アントニー・ボウエル（Anthony Powell）、そして本学とも縁の深いウィリアム・ブルーマー（William Plomer）といった著述家たちが Eton, Rugby, Wellington, Downe House といったそれぞれの母校での生活をふりかえるエッセイが収められています。そこから数編を選び、エッセイ全体の多読と部分の精読とを組み合わせることで百年前の英語の文章をしっかりと理解することが主要な目標ですが、そこに留まらず当時の文化的背景や教育現場の実態などについて自分たちの経験とも照らし合わせながら自由闊達なディスカッションもしていきたいと思っています。なにぶん百年前の、しかも英国の全寮制男子／女子校の話が主なので、耳慣れない単語や風習が頻出しますが、受講者全員で協力してがんばりましょう。 事前の予習（UTOL 投稿）、授業内でのグループワークと発表、教員による解説、小テスト（複数回）の組み合わせを基本として授業を組み立てます。事前・事後も含め積極的な授業参加が求められますので、説明を聴くだけで良い、というわけにはいきません。とはいえ、英国の文学や文化にかんする予備知識はまったく必要ありませんので、ちょうど自分たちの百年ほど前にあちらの島国で生まれた男女がどんな中高生活を送っていたのか興味半分で読んでみたい、という軽い気持ちで受講してくれるみなさんを歓迎します。 ※初回から教室での対面授業です。				
成績評価方法		UTOL を通じた授業前提出物（30%）、教室内グループワーク＋発表（30%）、小テスト（40%）、を目安として、総合的に成績評価します。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50397	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		単語使用力の増強とそれを生かす読解 学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。				
成績評価方法		出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テキストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。 期末試験は教科書と読解テキストの両方から出題する予定。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

英語中級（クラス指定ターム型）火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50398	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じたの意味をじっくり考えたりする訓練をします。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50399	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		アガサ・クリスティの短篇小説を読む 英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ短篇集 成美堂 9784791900046 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50400	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要		Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.				
成績評価方法		The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.				
教科書		Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%				
ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

英語中級（クラス指定ターム型）火 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51477	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	Intermediate English: Comparative Education This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.					
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60132	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	佐藤 光	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	アガサ・クリスティの短篇小説を読む 英語圏の読者が読む英語の小説を通して、研究論文や概説書や英語一列の教材とは異なる日常生活に密着した英語表現を学びます。アガサ・クリスティは人物造形の名手です。会話と状況説明を丁寧に読むことによって、登場人物の性格、人間関係、場面を正確に把握することを目指します。推理小説、英文学、イギリス文化、エルキュール・ポアロという強烈な個性に関心のある方を歓迎します。					
成績評価方法 教科書	授業時の質問への応答、UTOL での応答、授業冒頭小テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook クリスティ 短篇集 成美堂 9784791900046					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60133	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Visual Analysis: Reading Print Advertisements This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.					
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60134	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60135	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	三原 芳秋	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	百年前の英国学校生活を有名作家のことで読む Reading Famous British Authors on Their Old Schools 100 Years Back この授業では、1900 年前後に生まれ、第一次世界大戦とその戦後に英国で中等教育を受け、その後有名になった作家たちが自らの学校生活を回顧して書いたエッセイを複数講読します。小説家のグレアム・グリーン（Graham Greene）が編集した『The Old School: Essays by Divers Hands』（OUP, 1984）には、日本でもよく知られる詩人 W. H. オーデン（W. H. Auden）、小説家エリザベス・ボウエン（Elizabeth Bowen）、外交官ハロルド・ニコルソン（Harold Nicolson）、小説家アントニー・パウエル（Anthony Powell）、そして本学とも縁の深いウィリアム・ブルーマー（William Plomer）といった著述家たちが Eton, Rugby, Wellington, Downe House といったそれぞれの母校での生活をふりかえるエッセイが収められています。そこから数編を選び、エッセイ全体の多読と部分の精読とを組み合わせることで百年前の英語の文章をしっかりと理解することが主要な目標ですが、そこに留まらず当時の文化的背景や教育現場の実態などについて自分たちの経験とも照らし合わせながら自由闊達なディスカッションもしていきたいと思います。なにぶん百年前の、しかも英国の全寮制男子／女子校の話が主なので、耳慣れない単語や風習が頻出しますが、受講者全員で協力してがんばりましょう。 事前の予習（UTOL 投稿）、授業内でのグループワークと発表、教員による解説、小テスト（複数回）の組み合わせを基本として授業を組み立てます。事前・事後も含め積極的な授業参加が求められますので、説明を聴くだけで良い、というわけにはいきません。とはいえ、英国の文学や文化にかんする予備知識はまったく必要ありませんので、ちょうど自分たちの百年ほど前にあちらの島国で生まれた男女がどんな中高生活を送っていたのか興味半分で読んでみたい、という軽い気持ちで受講してくれるみなさんを歓迎します。					
成績評価方法	※初回から教室での対面授業です。 UTOL を通じた授業前提出物（30%）、教室内グループワーク＋発表（30%）、小テスト（40%）、を目安として、総合的に成績評価します。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60136	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	橋川 健竜	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	単語使用力の増強とそれを生かす読解 学術的な英文の文体や単語を身近なものにするとともに、自分の英作文力・会話力にそうした文体や単語を取り入れる。 また学術的な単語を豊富に含む読みやすい文章の例として、学術各分野の英語の入門書を抜粋で読み、単語を活用する力を高める。					
成績評価方法	出席、毎週の小テスト、授業での報告と議論、期末レポート、期末テストを総合する。 期末レポートとして、読解テキストを材料に、自分版の『東大英単』を作ることを求める予定。					
教科書	期末試験は教科書と読解テキストの両方から出題する予定。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部英語部会（編） 東大英単 東京大学出版会 978-4-13-082140-7					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60137	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	田尻 芳樹	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、20 世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。					
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（7 回目＝最終回）。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60138	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要	Technology and Cognition For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills					
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・ The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・ In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型）火4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60139	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Zane Mackin	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目	Form in Poetry. A workshop. This class uses poetry as a way to understand the deep connection between poetic language and everyday language in English. What poets and poems are important for understanding English? What lines from poetry are so famous that they have become a part of everyday speech? And in what ways does poetic language signify as “poetry” distinct from ordinary speech? On the other hand, do the mechanics of poetry (e.g. meter, rhyme) ever affect how we talk today, and if so, how? (The answer here is yes, all the time.) Does studying those mechanics help us to get a more natural feel for the logic and flow of the English language? (The answer is yes here too.)					
授業の目標概要	This course will cover a few of the major authors and movements in the history of lyric poetry in the English language. It is not an exhaustive overview, but it will at least provide a general framework for understanding the history of poetry in English. Class time will be spent mostly on close reading. We will get deep into the grammatical/syntactic structure, we will explore word choice, and we will uncover how meter and rhyme contribute to the construction of meaning. In addition to reading, students will have several assignments outside of class. 1) As a way to get intimate with poetic form and the aesthetic concerns proper to poetry, they will write and workshop their own poems imitating the voice/style of specific authors. 2) As a way to see how the specifics of language come to bear on poetry, they will translate poems from one language into another. 3) As a way to become intimate with the cadences of poetic language, students will memorize and recite a poem of their choice in their a final project.					
成績評価方法	Attendance/participation (20%) Five imitative poems (50%) One recitation (15%) One translation (15%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60247	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	Wang Qiu	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)
講義題目	Intermediate English: Comparative Education					
授業の目標概要	This course introduces several issues in comparative education through the study of educational systems and alternative forms of schooling in Japan and other countries. Students will develop academic English skills by reading research articles, discussing educational issues, comparing different educational models, and giving group presentations.					
成績評価方法	Reflective journal: 20% Class participation:10% Group discussion: 20% Final presentation: 50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型）水2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50525	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1) 自分の意見を英語で言う、2) 英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3) 他の人の意見を積極的に聞く、そして 4) 英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する				
成績評価方法		授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等を行わない）				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50526	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要		Technology and Cognition For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of ・ some of the effects of recent technologies on people ・ interactions with and through machines ・ alignment problems 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills				
成績評価方法		There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: ・ 45 hours of study ・ including attendance of at least five lectures. References: ・ The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en ・ In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

英語中級（クラス指定ターム型）水 2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50527	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	Visual Analysis: Reading Print Advertisements This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.					
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50528	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践 英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 ・英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する ・英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する ・発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる ・理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる					
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50529	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50530	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Art and Design in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。 プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50531	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English. - participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%) プリントを配布する。／Will distribute handouts Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60155	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する 授業のディスカッションのノート 40％ 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40％ 授業への積極的な参加 20％ （期末テスト等は行わない） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60156	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	宮本 エジソン 正	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	Technology and Cognition					
授業の目標概要	For over 2,000 years people have argued about the impact of new technologies. This course covers some recent topics in technology and cognition. Goals 1. Attain a basic understanding of • some of the effects of recent technologies on people • interactions with and through machines • alignment problems 2. Use English to practice • reading skills, and • discussion skills					
成績評価方法	There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only. Following MEXT (文部科学省) guidelines, this course requires: • 45 hours of study • including attendance of at least five lectures. References: • The official English translation of Article 21 at: https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/3793/en • In Japanese: https://www.mext.go.jp/mext_02036.html If you would like a waiver for a class you must miss for reasons beyond your control: send an email to the instructor with a relevant attachment (e.g., a doctor's statement) justifying your request.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60157	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	Visual Analysis: Reading Print Advertisements					
授業の目標概要	This course will help students learn how to build visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing ways visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will practice both skills over the course of the term and demonstrate their acquisition of them in the final session by writing an in-class analysis of an advertisement provided by the instructor.					
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions (30%) and an in-class written analysis (70%) of an advertisement selected by the instructor.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60158	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	平山 真奈美	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	英語音声学を用いた英語発音の理解と実践					
授業の目標概要	英語の発音は、大人になってから、聞いただけでできるようになるのは難しい。本授業では、英語の発音を音声学的に学び、以下を目標とする。 • 英語の発音を、音声学的観点から、特に、どのような器官をどう動かして発音するのか（調音音声学）理解する • 英語の発音のルールを、日本語との違いも意識しながら理解する • 発音記号の仕組みを理解し、発音記号を使えるようになる • 理論を理解するのみならず、実践も行うことにより、実際に発音ができるようになる					
成績評価方法	授業への参加（発言、その他の取り組み）、宿題、テストを総合的に評価する					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型）水2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60159	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60160	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書	Art and Design in English 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。 プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60161	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English. - participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%) 授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定ターム型）水3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50557	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。 授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50558	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50559	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の4点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する 授業のディスカッションのノート 40％ 各授業のリスニングミニテスト 6回 40％ 授業への積極的な参加 20％ （期末テスト等は行わない） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	アルヴィ なほ子	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	英語のテキストを読むプロセスにおける発見（と愉しみ）について 目標）テキストの読解を通して、英語の表現を学ぶとともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要）講義タイトルの隠れた主語は、「学生＝(学ぶ) 人間が」です。生成 AI が日常生活の一部となりつつある現代において、外国語（英語）の学習を主体的に行うとはどのようなことかを、New York Times の記事を中心に考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。英語のテキストを深く読み、調べ、考え、感じることで、テキストから多くの発見をしてください。その過程で、身体を持つ人間が行う読解と機械が行う読解の違いにも目を向け、人間が主体的にテキストの中の世界、テキストの外の自分を取り巻く世界に向き合い、理解するということはどういうことか考えてください。そうすることが他者の書いたテキストを読む力を鍛えると同時に、自身のテキストを紡ぎ出す力を鍛えることになります。					
成績評価方法	1)授業中の活動（グループ発表、グループワーク、ディスカッションへの参加等）と授業の準備、復習のために行うコメント、小課題などの提出物：70%、 2）期末試験：30%。					
教科書	1) と 2) を基本として、総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook New York Times, 関連資料					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	Dynamic Presentations: Skills, Structure, and Performance 英語プレゼンの基本と実践 本授業では、英語プレゼンテーションを英語コミュニケーションの中核的实践として位置づけ、基礎的な技術の習得から応用的な実践までを段階的に行います。 プレゼンテーションは英語に限らず、日本語や他言語においても、学業・研究・ビジネス・公共的場面など多様な局面で求められる重要なスキルです。本授業では、英語を媒介としながらも、言語を越えて応用可能なプレゼンテーション能力の基盤形成を目指します。 授業では、朗読や自己紹介、短いスピーチから始め、実例を参照しつつ、発声・声量・間の取り方、姿勢や視線、ジェスチャーといった身体的要素、さらにスライドの構成や視覚情報の効果的な使い方など、プレゼンテーションの基本技術を体系的に学びます。あわせて、聴衆を意識した構成、説得力のあるストーリーテリング、明確で簡潔な英語表現についても検討していきます。 とくに後半では、各自の関心や目的に応じたテーマを設定し、学んだ技術を活かした英語プレゼンテーションを実践します。最終的には、自分自身の強みや個性を踏まえた自分なりのプレゼンテーション・スタイルを確立し、今後さまざまな場面で応用可能な発信力を身につけることを目標とします。					
成績評価方法	授業への出席・態度（75%）、最終英語プレゼンテーション（25%）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	ROLAND Douglas	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要	Exploring Cognitive Science in English Students will be able to improve their reading, listening, speaking, and presentation ability while learning about how the mind works. We will read various newspaper and magazine articles, and watch videos covering topics related to the field of cognitive science. We will discuss the readings and videos in class. In addition, students will give group and individual presentations related to the topics discussed in class.					
成績評価方法	Quizzes 20% Class participation 30% Assignments 50%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities.				
成績評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.				
教科書 ガイダンス		The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50564	A 1	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.				
成績評価方法		- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60178	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	鈴木 成典	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Language and Linguistics: Discussion-Based Explorations This course introduces students to key questions in linguistics through short, accessible essays from The Five-Minute Linguist. Topics include dialects, bilingualism, language change, and language in the digital age. Through group discussions and presentations, students will develop the ability to think critically about language and to communicate their ideas in English.					
成績評価方法	- participation (20%) - reflection (20%) - group discussion (40%) - final report or presentation (20%)					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Caroline Myrick and Walt Wolfram The Five-Minute Linguist Equinox Publishing 978-1-78179-855-3					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60179	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Fortean Geographies: critical engagements with supernatural spaces This short comprehension-based course will introduce students to a series of examples of strange and supernatural geographies. Each week students will examine a different instance of the Fortean, a term developed from the writings of Charles Fort (1874-1932), who published a number of popular works on the supernatural. From crop circles and UFOs to ghosts and telepathy, you will analyse the ways in which the supernatural has had a continued influence on our understanding of the world around us. You will be required to think critically about the relationship between paranormal phenomena and the specific geographies in which they are encountered, considering what role such beliefs might play in the development of the geographic imagination. What do strange encounters with the environment tell us about contemporary belief in the supernatural? Why are certain types of place still commonly believed to be cursed, haunted or magical? A number of short English-language readings will provide opportunities for class discussion and develop comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts, articles and short stories in English on a weekly basis in preparation for in-class activities.					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.					
教科書	The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade. 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60180	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	ROLAND Douglas	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	Exploring Cognitive Science in English Students will be able to improve their reading, listening, speaking, and presentation ability while learning about how the mind works. We will read various newspaper and magazine articles, and watch videos covering topics related to the field of cognitive science. We will discuss the readings and videos in class. In addition, students will give group and individual presentations related to the topics discussed in class.					
成績評価方法	Quizzes 20% Class participation 30% Assignments 50%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60181	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	大石 和欣	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目		Dynamic Presentations: Skills, Structure, and Performance 英語プレゼンの基本と実践				
授業の目標概要		本授業では、英語プレゼンテーションを英語コミュニケーションの中核的実践として位置づけ、基礎的な技術の習得から応用的な実践までを段階的に行います。 プレゼンテーションは英語に限らず、日本語や他言語においても、学業・研究・ビジネス・公共的場面など多様な局面で求められる重要なスキルです。本授業では、英語を媒介としながらも、言語を越えて応用可能なプレゼンテーション能力の基盤形成を目指します。 授業では、朗読や自己紹介、短いスピーチから始め、実例を参照しつつ、発声・声量・間の取り方、姿勢や視線、ジェスチャーといった身体的要素、さらにスライドの構成や視覚情報の効果的な使い方など、プレゼンテーションの基本技術を体系的に学びます。あわせて、聴衆を意識した構成、説得力のあるストーリーテリング、明確で簡潔な英語表現についても検討していきます。 とくに後半では、各自の関心や目的に応じたテーマを設定し、学んだ技術を活かした英語プレゼンテーションを実践します。最終的には、自分自身の強みや個性を踏まえた自分なりのプレゼンテーション・スタイルを確立し、今後さまざまな場面で応用可能な発信力を身につけることを目標とします。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業への出席・態度（75%）、最終英語プレゼンテーション（25%） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60182	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	アルヴィ なほ子	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語のテキストを読むプロセスにおける発見（と愉しみ）について 目標）テキストの読解を通して、英語の表現を学ぶとともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要) 講義タイトルの隠れた主語は、「学生＝(学ぶ) 人間が」です。生成 AI が日常生活の一部となりつつある現代において、外国語（英語）の学習を主体的に行うとはどのようなことかを、New York Times の記事を中心にして考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。英語のテキストを深く読み、調べ、考え、感じることで、テキストから多くの発見をしてください。その過程で、身体を持つ人間が行う読解と機械が行う読解の違いにも目を向け、人間が主体的にテキストの中の世界、テキストの外の自分を取り巻く世界に向き合い、理解するということはどういうことか考えてください。そうすることが他者の書いたテキストを読む力を鍛えると同時に、自身のテキストを紡ぎ出す力を鍛えることになります。					
成績評価方法	1)授業中の活動（グループ発表、グループワーク、ディスカッションへの参加等）と授業の準備、復習のために行うコメント、小課題などの提出物：70%、 2）期末試験：30%。					
教科書	1) と 2) を基本として、総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook New York Times, 関連資料					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60183	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語動画を素材に英語で Discussion 身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する					
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40％ 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40％ 授業への積極的な参加 20％ （期末テスト等は行わない）					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60184	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	牛村 圭	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					
成績評価方法	複数回の発表を含めた平常点と学期末の筆記課題（または筆記試験）による。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60185	A 2	英語中級（クラス指定ターム型）	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要	英語で読み解く現代社会 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。					
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）月2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore . Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.					
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50014	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Barnett Tanya Nicole	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	Cultures of Adventure, Exploration, and Travel in Modern Japan Setting our sights on the textual, visual, and historical horizons, this course will embark on a quest to explore the culture of adventure, exploration, and travel in modern Japan. Often considered a galvanizing force in the culture of empire, we will chart the course of the spirit of adventure and its emergence in congruence with the advent of science, exploration, and the age of imperial expansion. In this course, we will approach the genre of adventure through the lens of different cultural trends and sociopolitical issues and in the context of Japanese history. Throughout the course, we will engage with translated short-stories, essays, visual media, manga, and film that are expressly classified as ‘adventure’ – or contain elements of adventure involving encounters (sometimes dangerous) with the unknown and the exotic. While we will be reading Japanese literature in translation, students are also free to engage with the original Japanese and incorporate the issue of translation into our class discussions. The course is designed to develop critical thinking, reading skills, and discussion, so students will be asked to prepare by reading the assigned texts in advance and play an active role in class discussion.					
成績評価方法	Participation: 30%, In-class Assignments: 25%, Weekly Forum Post: 25%, Final Project: 20%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	M2 Visual Communication and Persuasion The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored. We will study famous posters and paintings, influential photographs, advertising campaigns, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. Topics covered will include: - The mechanics of seeing - Poster Design - Introduction to Typography - Print Advertisements Design - Visual and Linguistic Landscape By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society.					
成績評価方法	30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study (or an alternate task is Field Study attendance is not possible) 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	英語中級（クラス指定セメス ター型）	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	国家と民族に関わる国際関係論の基礎的知見を英語で読む 本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている国家（state）や民族（nation）に関連した諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 （１）移民・難民と国家との関係、さらには紛争終結後における国家建設の問題など、国際政治における国家・民族・ナショナリズムに関する様々なテーマに関して、国際関係論（International Relations: IR）の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 （２）国際政治上の基礎的な単位とされてきた国家や民族について、現代におけるその限界や問題点を理解し、グローバル化とデジタル化の進む時代にふさわしい新しい国際政治のあり方を考察していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 （３）国際政治や国際関係に関しての様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：第６回（１１月９日）と第１０回（１２月２１日）の授業冒頭に１５分程度を使って「小テスト」を実施し、それら２回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出題される。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１８日）に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50017	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	Gender, sexuality and society in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50018	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	古典古代の美の礎—Marcus B. Huish, Greek Terra-Cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マークス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 N.B. このテキストは本年度前期の授業でも扱いました。このクラスで読むのは、その続きの部分となります。ですが、既読部分については授業開始時に内容を解説しますので、事前に読んでいただく必要はありません。 このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストが、どの時代の、どんな分野のものだろうと同じです—現代英語だろうと、100 年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、1000 年前の修道院文書だろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%）、および学期末レポート（70%：3～4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの）。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
教科書	その他。／Other					
ガイダンス	下記「履修上の注意」に詳細があります。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	落合 一樹	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アフリカンアメリカン作家の短篇を読む 20 世紀アメリカ合衆国で活躍した黒人作家の短篇小説を数篇読みます。前提知識は必要ありません。扱う作品は、ジェイムズ・ボールドウィンの "Sonny's Blues"、アリス・ウォーカーの "Everyday's Use"、トニ・ケイド・バンバーラの "The Lesson" などになる予定です。 学期末試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加状況および授業への取り組み（40%）を総合評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50020	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine poems by poets who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Louise Gluck, Joy Harjo, N. Scott Momaday, Li-Young Li, and Hyejung Kook. Each lesson will focus on some aspect of poetry, such as metaphor, symbolism, and meter. Students will examine in close reading how poets use language and how they interact with each other's works. Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50021	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Christopher D. Hammond	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Education and Society What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education's role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education's role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion. Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51475	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Gio Miole	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19)文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要	Games, Memes and Meaning By the end of the course, students will be able to: 1. Identify the main ideas, supporting details, organization, and purpose of English texts; 2. Use context clues and other reading strategies to understand unfamiliar vocabulary and expressions; 3. Summarize, compare, and respond to texts using their own words; 4. Express and support opinions during pair, group, and class discussions; and 5. Produce original English responses that demonstrate comprehension and personal engagement with the course materials.					
成績評価方法	Class Participation – 30% 100-word Post-Class Weekly Response (Tweets) – 35% Final Project – 35%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）月3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50085	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	様々なグローバル・イシューに関する国際関係論の基礎的知見を英語で読む 本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている多種多様な Global Issues についての諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 (1) 国際医療・人権・地球環境・宗教といった現代国際社会が直面している様々な Global Issues に関し、国際関係論 (International Relations: IR) の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 (2) 国境を越えての感染症の拡大や世界各地で頻発している多種多様な人権侵害、温暖化をはじめ深刻化する一方の地球環境破壊、さらには国際紛争の火種となりがちな宗教対立といった問題について、その解決や解消を模索しより良き未来を展望していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 (3) 国際政治や国際関係に関する様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点 (10点満点): 授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト (30点満点): 第6回 (11月9日) と第10回 (12月21日) の授業冒頭に15分程度を使って「小テスト」を実施し、それら2回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出題される。 (3) 学期末試験 (60点満点): 最終授業回の第13回 (1月18日) に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50086	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Christopher D. Hammond	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	Education and Society What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.					
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50087	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	落合 一樹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アフリカンアメリカン作家の短篇を読む 20 世紀アメリカ合衆国で活躍した黒人作家の短篇小説を数篇読みます。前提知識は必要ありません。扱う作品は、ジェイムズ・ボールドウィンの "Sonny's Blues"、アリス・ウォーカーの "Everyday's Use"、トニ・ケイド・バンバーラの "The Lesson" などになる予定です。 学期末試験（40％）、小テスト（20％）、授業参加状況および授業への取り組み（40％）を総合評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50088	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class その他。／Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc). 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50089	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	古典古代の美の礎—Marcus B. Huish, Greek Terra-Cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味 ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったも のに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した 人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退し つつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このク ラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マー カス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 N.B. このテキストは本年度前期の授業でも扱いました。このクラスで読むのは、その続きの部分となります。ですが、 既読部分については授業開始時に内容を解説しますので、事前に読んでいただく必要はありません。 このクラスでもつばら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代 人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分 からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそ うなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法—科学的 テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストが、どの時代の、どんな分 野のものだろうと同じです—現代英語だろうと、100 年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、1000 年前の修道院文書だろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業 です。					
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%）、および学期末レポート（70%：3～4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの）。学 期末レポートは UTOL で配布・回収します。					
教科書	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50090	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Barnett Tanya Nicole	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	Cultures of Adventure, Exploration, and Travel in Modern Japan Setting our sights on the textual, visual, and historical horizons, this course will embark on a quest to explore the culture of adventure, exploration, and travel in modern Japan. Often considered a galvanizing force in the culture of empire, we will chart the course of the spirit of adventure and its emergence in congruence with the advent of science, exploration, and the age of imperial expansion. In this course, we will approach the genre of adventure through the lens of different cultural trends and sociopolitical issues and in the context of Japanese history. Throughout the course, we will engage with translated short-stories, essays, visual media, manga, and film that are expressly classified as ‘adventure’ – or contain elements of adventure involving encounters (sometimes dangerous) with the unknown and the exotic. While we will be reading Japanese literature in translation, students are also free to engage with the original Japanese and incorporate the issue of translation into our class discussions. The course is designed to develop critical thinking, reading skills, and discussion, so students will be asked to prepare by reading the assigned texts in advance and play an active role in class discussion. Participation: 30%, In-class Assignments: 25%, Weekly Forum Post: 25%, Final Project: 20%					
成績評価方法	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51479	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Gio Miole	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要	Games, Memes and Meaning By the end of the course, students will be able to: 1. Identify the main ideas, supporting details, organization, and purpose of English texts; 2. Use context clues and other reading strategies to understand unfamiliar vocabulary and expressions; 3. Summarize, compare, and respond to texts using their own words; 4. Express and support opinions during pair, group, and class discussions; and 5. Produce original English responses that demonstrate comprehension and personal engagement with the course materials.					
成績評価方法	Class Participation – 30% 100-word Post-Class Weekly Response (Tweets) – 35% Final Project – 35%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）月4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50136	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目	優れた短編小説を深く味わう					
授業の目標概要	Conan Doyle, Truman Capote、Paul Auster の作品を検討している 社会的・文化的背景を学びながら作品世界の理解を深め、その魅力を多角的に味わうことを目的とする。作品の時代的風潮、社会通念、文化表象についての知識を深めつつ、作品の世界観を批評的に読み解いていく。風景描写や会話表現における英語の用法、助動詞や冠詞の選択、文体、時制表現に込められた意図にも注目する。また、登場人物の言語表現に表れる階級意識やジェンダー観、ヨーロッパ的世界観と米国的世界観の相違、テクノロジー観などについても、参考資料の読解を通して知識を体系的に習得していく。					
成績評価方法	テスト（中間試験＋期末試験） 60％ 小テスト 20％ 平常点（グループワーク時、授業時における自主的な発言などの積極性、課題への取り組みなど総体的判断） 20％ なお、出席しただけで付与される点数はありません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50137	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry					
授業の目標概要	Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine poems by poets who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Louise Gluck, Joy Harjo, N. Scott Momaday, Li-Young Li, and Hyejung Kook. Each lesson will focus on some aspect of poetry, such as metaphor, symbolism, and meter. Students will examine in close reading how poets use language and how they interact with each other's works.					
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50138	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10％ 課題：15％ 小テスト：15％ 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60％					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50139	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	様々なグローバル・イシューに関する国際関係論の基礎的知見を英語で読む 本コースは、Richard Devetak and Daniel R. McCarthy (eds), An Introduction to International Relations (Cambridge University Press, 2024), fourth edition の中に収められている多種多様な Global Issues に関しての諸章を教材として用い、その読解を行なっていく「英語リーディング」を主眼としたコースである。このリーディングを通じ、本コースの受講者は、以下のことができるようになる。 (1) 国際医療・人権・地球環境・宗教といった現代国際社会が直面している様々な Global Issues に関し、国際関係論 (International Relations: IR) の中で語られてきた理論的知見ならびに各種論点についての基礎的な知識を身に付けることができる。 (2) 国境を越えての感染症の拡大や世界各地で頻発している多種多様な人権侵害、温暖化をはじめ深刻化する一方の地球環境破壊、さらには国際紛争の火種となりがちな宗教対立といった問題について、その解決や解消を模索しより良き未来を展望していくために必要となる知的基礎を築くことができる。 (3) 国際政治や国際関係に関しての様々なテーマ・問題について、英語にて記されたニュース報道・報告書・研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					
成績評価方法	本コースでは、以下の3項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点 (10点満点): 授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト (30点満点): 第6回 (11月9日) と第10回 (12月21日) の授業冒頭に15分程度を使って「小テスト」を実施し、それら2回の合計獲得点数をもとに、本項目の配点は行なわれる。なお各「小テスト」では、それまでの授業回でリーディングを行なった教材の中で用いられている英単語・英語表現などが、主に出题される。 (3) 学期末試験 (60点満点): 最終授業回の第13回 (1月18日) に行なわれる学期末試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容すべてに関連したものとなる。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50140	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要	M4 Visual Communication and Persuasion The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored. We will study famous posters and paintings, influential photographs, advertising campaigns, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. Topics covered will include: - The mechanics of seeing - Poster Design - Introduction to Typography - Print Advertisements Design - Visual and Linguistic Landscape					
成績評価方法	By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society. 30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study (or an alternate task is Field Study attendance is not possible) 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）火 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50191	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	逆井 聡人	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目	英語圏から読む現代日本——メディア・文学・翻訳 / Reading Contemporary Japan from the Anglophone World: Media, Literature, and Translation					
授業の目標概要	概要： 現代日本は、英語圏の新聞、雑誌、ウェブメディア、書評などにおいて、どのように語られているのか。本授業では、現代日本を扱った英語記事を読み、その題材の選び方や語り方を検討する。あわせて、村田沙耶香、柳美里、柚木麻子など、海外で高く評価されている現代日本文学を取り上げ、メディアが提示する日本像と文学作品の描く社会や個人の経験とを比較する。 授業の後半では、学生によるグループ発表を中心に進める。文学作品、英語記事、書評、作家インタビューなどを組み合わせ、自ら問いを設定し、調査と分析の成果を発表する。 目標： 1. 現代日本を扱った英語圏のメディアを批判的に読めるようになる。 2. 文学作品とメディア資料を比較し、両者の語り方の違いを分析できるようになる。 3. 複数の資料を用いて問いを立て、根拠のある議論を構成できるようになる。 4. グループ発表や討論を通じて、自分の考えを他者に伝える力を身につける。					
成績評価方法	グループ発表：40％ 毎回のコメントシート：35％ 授業内での討論・活動への参加：25％					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Christopher D. Hammond	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目	Education and Society					
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.					
成績評価方法	Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	Contemporary Short Stories in English 現代の英語圏の作家による短篇小説を読みます。 以下の作品を扱う予定です（変更の可能性あり）。 Kazuo Ishiguro, "A Family Supper" (1980) Ali Smith, "May" (2003) A. S. Byatt, “Medusa’s Ankles” (1993) Salman Rushdie, "The Prophet's Hair" (1981) 特に共通する主題はありませんが、いずれも 20 世紀後半から 21 世紀を代表する英語作家がその個性を存分に発揮した作品なので、日ごろ文学作品に親しんでいない方でも原文で味わう価値は十分にあります。 こう書くとクラシカルな名作をイメージするかもしれませんが、仄かな殺意、樹木との恋愛、ヘアサロンで狂乱する中年女性、聖なる宝が引き起こす混乱と悲劇など、娯楽作品としても楽しめるものばかりです。 親子、性、老い、信仰など、誰でも避けて通れない主題を扱っている点も、必修の英語授業で扱うに相応しいと思います。 精読することで、英語という言語の特徴と可能性を発見する機会にもなるでしょう。					
成績評価方法	平常授業への貢献度：50% 最終授業での期末試験：50% *「平常授業への貢献度」とは、授業内で当てられたときの解答の仕方や授業時の質問など、円滑な授業の進行や授業内容の改善への貢献を評価するものです。出席だけで点数をつけるわけではありません。 *授業への欠席・遅刻が多い場合、個別に理由の説明を求めることがあります。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	土屋 和代	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	ブラック・フェミニズムの歴史—アンジェラ・Y・デイヴィスを読む 哲学者として、活動家として、ブラック・フェミニズムの歴史を切り拓いてきたアンジェラ・Y・デイヴィスの論考を読む。デイヴィスはアメリカの黒人自由闘争史、刑罰国家の歴史、ジェンダー史、グローバルな連帯について多数の著書を執筆しており、アメリカ内外の知識人に大きな影響を与えてきた。デイヴィスの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリーを視聴し、背景となる 20 世紀アメリカ合衆国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。					
成績評価方法 教科書	授業への貢献 30%、期末試験 50%、映像資料へのコメント 20% プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	Davis, Angela Y. Women, Race & Class Random House, 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50195	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要	American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. 追加登録など、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。					
成績評価方法	Grade evaluation depends on the quiz, the short essay, and the final exam.					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）火 5

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50437	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中川 映里	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要	翻訳で学ぶ英語 この授業では、①日本語から英語に翻訳された作品を読む、②英語から日本語へ翻訳する、という二つの活動をつうじて、英語力を向上させるとともに、翻訳について学びます。 日本語で創作された作品の英語訳を読み、日本語に逆翻訳し、英語訳・逆翻訳・日本語原文を比較することで、英語・日本語双方についての理解を深めます。翻訳をするために英語表現とじっくり向き合うことで英語の読解力を高め、日本語原文との比較によって英語と日本語の表現作法の違いを学びます。同時に、英語の日常的な表現を日本語との対応関係を確認しながら習得することを目指します。 また、英語訳と日本語原文の比較検討および翻訳実践をつうじて翻訳がいかなる営みかについて理解を深め、翻訳について学術的な議論をするための基礎知識を身につけます。授業後半に実施する「翻訳プロジェクト」では、自分の選んだテキストを翻訳し、翻訳することの楽しさを体験してもらいたいです。					
成績評価方法	平常点（40%） ・予習・課題への取り組み ・授業への積極的な参加・貢献 ・小テスト 翻訳プロジェクト（30%） ・発表 ・まとめレポート提出 期末テスト（30%）					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50438	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要	はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。					
成績評価方法 教科書	出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles et al. (eds) British News Update 7 金星堂					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50439	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要	English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.					
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% W While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）水 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Cultural Geography This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..				
成績評価方法		Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class. The use of AI (chatbots and AI translation) is strictly forbidden and will result in a failing grade.				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Christopher D. Hammond	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		Education and Society What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education’s role in society - Debating the “grand challenges” of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education’s role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.				
成績評価方法		Weekly written assignments: 70%, Active participation in class: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50472	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	吉国 浩哉	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	American Short Stories Believe it or not, there is such a thing as literature in America, and the purpose of this course is to familiarize students with this strange thing called American literature, which is usually considered a “minor” literature from the viewpoint of the history of civilization in the world. In the process to pursue this purpose, students will find themselves in a situation in which they cannot avoid reading more in English than they did in high schools. As a result, it is not totally unlikely that students might be able to develop their “reading skills” (whatever this phrase means). At least, it is very likely that students will become “used to” reading a considerable amount of texts written in English. As an English language course, there will be lectures on grammar and syntax that are used in the texts, but overall comprehension of the story and active interpretation on the side of the reader will receive more emphasis. This course will be taught in Japanese. Because this is not an “easy” course, those who see the English courses as nothing other than a means to earn credits should not take this course. If you are not confident enough about your command of English but willing to learn something new and different, there will be help for you. 追加登録など、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。					
成績評価方法	Grade evaluation depends on the quiz, the short essay, and the final exam.					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50473	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	キハラハント 愛	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	Discussion on the United Nations human rights mechanisms 国連人権機関についてのディスカッション This course aims at building students' capacity to engage in discussion. The topic of discussion in this course is the effectiveness of human rights mechanisms at the United Nations この授業では、履修学生さんの英語でのディスカッションの能力を高めることを目標とする。ディスカッションのトピックとして、国連人権機関がどれだけ効果的に機能しているかを扱う。 ／Japanese 国際法、国際人権法、人権 英語用 ／English international law, international human rights law, human rights, the United Nations					
成績評価方法	授業計画 Active class participation (including discussion and activities) 40% Reaction papers (2-3 times) 30% Final report 30% 出席とディスカッションやアクティビティへの積極的な参加 40% リアクションペーパー（2－3 回を予定） 30% 最終課題 30%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50474	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	波戸本 涼子	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要	基礎からの The New York Times (等) で学ぶ科学ニュース 本クラスは、今後の留学や研究生活を見据え、英語でのディスカッションや発表に慣れることを目的としたクラスです。 授業内では受講生が実際に英語を話す時間を多く設ける、ワークショップ形式の活動を基本とします。グループワーク、ポスターセッション、プレゼンテーションなどの活動を中心に進めます。					
成績評価方法	題材として The New York Times などの科学記事（またはニュース映像）を扱い、基礎的な語彙と内容を理解した上で、それをベースに教室でのグループワークや意見交換を行います。 本コースは、英語での発話に苦手意識や不安があり、「これから英語を上達させたい」と考えている学生を対象としています。そのため、授業内容は英語の「基礎」を重視して進行します。すでに英語が非常に堪能な学生にとっては、物足りなく感じられる可能性がある点をご了承ください。なお、英語が得意な学生が受講される場合は、グループワーク等においてリーダーシップを発揮したり、他の受講生をサポートしたりする役割を担っていただくことを期待します。					
教科書 ガイダンス	Warm-up 10% Mini-test 20% グループプレゼンテーション 30% ポスターセッション 30% ボランティアプレゼンテーション 10% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）木2

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50700	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	金 信栄	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目	This course examines contemporary topics in language learning, multilingualism, and language use through short readings and videos. Class sessions are structured around discussion in English, in which students analyze these topics, compare differing perspectives, and connect course material to their own language-learning experiences. No background in linguistics is expected; materials are selected for their accessibility to a general audience.					
授業の目標概要	The goal of this course is to build students' confidence and fluency in discussing everyday topics in English. Materials are a starting point for conversation, not a subject of specialist study. By the end of the course, students will be able to explain and support an opinion in English, respond to others' viewpoints, and lead a short discussion on a topic of their choice.					
成績評価方法	Class Participation 20% Group activities 20% Weekly Reflection 20% Presentations 40%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要	The Secret Life of Walter Mitty Ben Stiller 監督、主演の 2013 年アメリカ映画 The Secret Life of Walter Mitty（邦題：LIFE!/ライフ）を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。					
成績評価方法	毎週の授業参加と小テスト（ディクテーション、T/F テスト）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目 授業の目標概要	英語発音演習—発音力から聴解力へ— この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。					
成績評価方法 教科書	学期末試験、提出物、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）木3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50772	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		The Secret Life of Walter Mitty Ben Stiller 監督、主演の 2013 年アメリカ映画 The Secret Life of Walter Mitty（邦題：LIFE!/ライフ）を教材とする。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。				
成績評価方法		毎週の授業参加と小テスト（ディクテーション、T/F テスト）、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50773	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				
成績評価方法 教科書		学期末試験、提出物、平常点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50774	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		アカデミックリーディング演習―アメリカ史を題材に 【概要】 英文を丹念に読む作業を通じて分野を問わず学術で通用する読解力（およびそれに基づくライティング力）の強化を目指します。授業で扱う英文は、アメリカの歴史、思想、社会等に関する論説記事、書籍、論文から選びます。				
成績評価方法		【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と論点を知ることによってアメリカについての理解を深める。 期末試験（60％）小テスト(20％) 発表（レジュメ含む）（20％） 上記を基準に、態度・貢献度（出欠状況含む）を加減して最終評価を決定する。 欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定不可とします。個人の過失によらない原因（交通機関遅延含む）による遅刻・欠席であっても、程度と頻度によっては単位認定のために追加課題が課されます。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50775	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	那谷 洋太郎	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary American Society This is an introductory sociology course, with a focus on Reading in English. The aim of the course is to provide a general overview of American society, and strengthen the English abilities of students comprehensively. This will be accomplished through (a) reading assignments, (b) writing exercises, (c) discussion, (d) presentations, and (e) the completion of a research project. During the semester, we will explore the following themes: (1) capitalism and the market economy; (2) race, gender, and class inequality; (3) politics and the crisis of American democracy. Cumulatively, studying these topics will help us understand why the United States today is such a divided society. Through the close reading of texts and discussion in class, we will think about what it means to live in a democratic-capitalist society and the challenges confronting America today. 本講座は社会学の入門科目であり、英語の文献購読（リーディング）に重点を置いています。本講義の目的は、アメリカ社会全般の概要を把握すると同時に、学生の英語能力を総合的に向上させることです。具体的には、以下の学習活動を通じて目標を達成します：(a) 読解課題；(b) ライティング演習；(c) ディスカッション				
成績評価方法 教科書		Participation and Exercises (25%); Exam (25%); Research Paper (30%); Presentation (20%) 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Erik Olin Wright & Joel Rogers American Society: How it Really Works (3rd Edition) W. W. Norton & Company, Inc. 978-1-324-03329-5				
ガイダンス		All texts will be provided by the instructor. Students do not have to purchase the book. 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50776	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	金 信栄	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		This course examines contemporary topics in language learning, multilingualism, and language use through short readings and videos. Class sessions are structured around discussion in English, in which students analyze these topics, compare differing perspectives, and connect course material to their own language-learning experiences. No background in linguistics is expected; materials are selected for their accessibility to a general audience. The goal of this course is to build students' confidence and fluency in discussing everyday topics in English. Materials are a starting point for conversation, not a subject of specialist study. By the end of the course, students will be able to explain and support an opinion in English, respond to others' viewpoints, and lead a short discussion on a topic of their choice.				
成績評価方法		Class Participation 20% Group activities 20% Weekly Reflection 20% Presentations 40%				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50777	A	英語中級（クラス指定セメ スター型）	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		"Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む 本授業では青少年を主人公とする現代アメリカの中編小説を読みます。読解力を中心に総合的な英語力を養うことを第一の目的としますが、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使い方や様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を持てるようにすることも本授業のねらいです。主人公の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカの社会や文化にも興味を持って学習してください。				
成績評価方法 教科書		授業参加・発表 20%、小テスト 20%、中間課題 10%、学期末試験 50% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Michael Larson 著、日本英文学会（関東支部）編 "Notes on Brotherhood" 『兄と弟の記録』 朝日出版社 9784255157030				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

英語中級（クラス指定セメスター型）金 1

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50890	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目	アメリカ合衆国の短編小説を読む Reading Contemporary American Short Stories					
授業の目標概要	1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、ジュンパ・ラヒリ（Jhumpa Lahiri）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげます（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」[“A Small, Good Thing,” 1983]、「地獄／天国」[“Hell-Heaven,” 2004]、「アメリカ人」[“The Americans,” 2010]、「鳩を育てた少女」[“The Girl Who Raised Pigeons,” 1992] を予定）。一部の作家・作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、アメリカ合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。					
成績評価方法	多読と部分的なパッセージの精読とを組み合わせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページ前後のペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。					
教科書 ガイダンス	※初回から教室での対面授業です。 予習やディスカッションへの参加度、発表担当を含む平常点（30%）、毎回提出のレスポンス・ペーパー（10%）、学期中の 3 回の小テスト（30% [それぞれ 10%]）、学期末課題（30%）を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当と学期末課題の提出の両方をこなしていることは単位認定のための必須条件とします。 予習をしていない場合、議論に積極的に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情、およびそれについての教員への連絡がないまま 4 回以上欠席した場合は不可とします。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50891	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	榊原 知樹	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目	エッセイを読む					
授業の目標概要	この授業では、英語エッセイの名作を精選したアンソロジー Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes から数篇を取り上げ、精読します。人生、記憶、心の動きといった普遍的なテーマを扱うエッセイを読みながら、英語という言葉を通して人間の経験や思考がどのように表現されているかを考えます。 個性豊かな名エッセイストたちの文章を丁寧に読み解くことで、良質な英語に触れながら、英語ならではの表現の豊かさや文の運び方、比喩や構成の工夫を学び、表層的な理解にとどまらない「深く読む力」と、自らの読解や考察を言葉で表現する力を養います。					
成績評価方法	学期末試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況および授業への取り組み（予習状況、発言、ディスカッションへの取り組み等）（30%）を総合評価します。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50892	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の 2 大英文法書を中心に 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない (にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる) 文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めること を第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の 2 大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language. を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。					
成績評価方法	毎回の小テスト（30％）と授業最終日の学期末試験（70％）					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50893	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目 授業の目標概要	Gender, sexuality and society in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）金 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	朝岡 浩美	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。					
成績評価方法	期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	Gender, sexuality and society in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.					
成績評価方法	Homework assignments 25% Weekly quizzes or Class Participation 25% In-class Presentations and Media Projects 50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	英語で書かれた現代の短編小説を読む この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献、諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、（クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む） 5 0 %；授業後の Reflection 提出状況、 5 0 %					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	英語中級（クラス指定セメスター型）	井上 博之	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	アメリカ合衆国の短編小説を読む Reading Contemporary American Short Stories 1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、ジュンパ・ラヒリ（Jhumpa Lahiri）、ヴィエト・タン・ウエン（Viet Thanh Nguyen）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげます（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」[“A Small, Good Thing,” 1983]、「地獄／天国」[“Hell-Heaven,” 2004]、「アメリカ人」[“The Americans,” 2010]、「鳩を育てた少女」[“The Girl Who Raised Pigeons,” 1992] を予定）。一部の作家・作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、アメリカ合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。					
成績評価方法	多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり文学作品を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページ前後のペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。					
教科書 ガイダンス	※初回から教室での対面授業です。 予習やディスカッションへの参加度、発表担当を含む平常点（30%）、毎回提出のレスポンス・ペーパー（10%）、学期中の 3 回の小テスト（30% [それぞれ 10%]）、学期末課題（30%）を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当と学期末課題の提出の両方をこなしていることは単位認定のための必須条件とします。 予習をしていない場合、議論に積極的に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情、およびそれについての教員への連絡がないまま 4 回以上欠席した場合は不可とします。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）金 3

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50973	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)
講義題目 授業の目標概要	ニュース・リスニングと英文学 授業の目標は2つです（統一感がありませんが、入試後にちょうど良い内容を選んでいるつもりです）。 1つ目は、リスニング力の向上と学習法の確立を目指します。BBC ニュースのテキストを使用します（すでに十分なリスニング力がある学生さんには易しいかもしれません）。 2つ目は、教養としての英文学作品の一部に原文で触れます。文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんを想定しています（関心のある学生さんもちろん歓迎です）。受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。文学作品は学生さんがお互いに紹介してもらいます。					
成績評価方法	・授業内での発表：30%（原則 1 名 1 回 15 分程度） ・授業内テスト：30%（最終回に実施） ・コメント提出（等）：30%（授業出席を前提に、毎回提出） ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles ほか British News Update Kinseido (金星堂) 9784764742413					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級（クラス指定セメスター型）金 4

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51017	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.				
成績評価方法		Homework assignments 25% Weekly quizzes or Class Participation 25% In-class Presentations and Media Projects 50%				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51018	A	英語中級（クラス指定セメ スター型）	朝岡 浩美	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目 授業の目標概要		英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。 本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。				
成績評価方法		期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51019	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life					
授業の目標概要	この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier (邦題は『ハーバードの人生を変える授業』) を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」(特に要約の技法) の実践を試みます。					
成績評価方法	また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力(即興の会話ではなく、事前に準備をした上で臨むプレゼンテーション) に重点を置きます。					
	授業は教科書を軸にして進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。授業の到達目標は、以下の通りです。					
	・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。 ・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。 ・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語るすることができる。 ・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。					
教科書	授業参加 50% 期末テスト 50% ※成績評価方法の詳細については、初回授業で説明します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Tal Ben-Shahar Even happier: A gratitude journal for daily joy and lasting fulfillment McGraw Hill 978-0071638036					
ガイダンス	紙媒体のものは品切れ状態ですので、各自、Amazon などで電子版 (Kindle) の購入をお願いします。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51020	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	このコースではビジネスコンテキストで使われる英語(海外に進出する日系企業の例など) を中心に学習していく。					
授業の目標概要	In this course, we will focus on learning English as used in business contexts, in particular Japanese companies expanding overseas. グローバルな視野を持つリーダーになるためには、英語力だけでなく異文化に関する知識や専門知識、リーダーシップなどにも習得することが不可欠です。このコースではマーケティングミックスや海外ビジネスにおけるマーケティングローカライゼーションについてケーススタディーを通じて学ぶだけでなく、グループディスカッションを通じてそれらの課題に対する理解をさらに深めていきます。					
成績評価方法	To become a globally-minded leader it is essential to develop not only English language proficiency but also global knowledge, leadership skills and more. In this course will you will explore the marketing mix, international marketing and localization through case studies and deepen your understanding of the topics through the group ,					
	平常点評価 30% (提出物、授業内での発言など)					
	授業内での発表 30% 期末テスト 30 %					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Nakatani, Y. & Smithers, R. (2024) Global Business Case Studies (3rd Edition) Seibido 978-4-7919-7266-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51021	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	ニュース・リスニングと英文学					
授業の目標概要	授業の目標は2つです（統一感がありませんが、入試後にちょうど良い内容を選んでいるつもりです）。 1つ目は、リスニング力の向上と学習法の確立を目指します。BBC ニュースのテキストを使用します（すでに十分なリスニング力がある学生さんには易しいかもしれません）。 2つ目は、教養としての英文学作品の一部に原文で触れます。文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんを想定しています（関心のある学生さんもちろん歓迎です）。受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。文学作品は学生さんがお互いに紹介してもらいます。					
成績評価方法	・授業内での発表：30%（原則1名1回15分程度） ・授業内テスト：30%（最終回に実施） ・コメント提出（等）：30%（授業出席を前提に、毎回提出） ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles ほか British News Update Kinseido (金星堂) 9784764742413					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51022	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	英語で書かれた現代の短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献、諸課題への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、（クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む） 5 0%；授業後の Reflection 提出状況、 5 0%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

英語中級・上級

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	英語中級	西川 杉子	英語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		History Today を読む イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているので、参考にとよい。 また、テーマに関連した DVDなどを視聴することもある。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の小テストおよび授業への参加度。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50164	A	英語中級	野口 大斗	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。				
成績評価方法		積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	英語中級	松本 和子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		はじめてのニュース英語 ニュース英語を通じて、リスニングによる理解力を伸ばすことを目指す。具体的には、イギリスの国営放送 BBC のニュースを通じ、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さに慣れることを目指す。はじめて英語のニュースを聞くような学生を対象としているため、すでにニュースを英語で聞いて問題なく理解できる学生はネイティブの先生の授業を履修することをすすめる。				
成績評価方法 教科書		出席・参加・シャドイング・単語テスト・期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Timothy Knowles et al. (eds) British News Update 7 金星堂				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50643	A	英語中級	牛村 圭	英語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることを目指したい。				
成績評価方法 教科書		担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記課題による（予定）。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Scarcity and Excess ニューヨークタイムズ社会点描 英宝社				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50656	A	英語中級	高橋 和子	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Pronunciation and Listening 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけでは自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。(1) 英語音声进行正しく理解し、発音できるようになる。(2) 日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。(3) 専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。(4) 英語リスニング力を向上させる。					
成績評価方法	・個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（出席、プレゼンテーションを含む）20% を総合して評価する予定である。 ・個別発音テストにおいては、44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 ・感染症対策など、状況によっては評価方法を多少変更しなくてはならない場合もあるが、個別発音テストに一番大きなウエートが置かれることは変わらない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鷲見由理 DVD&CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 ナツメ社 13: 978-4816344640					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	英語中級	野口 大斗	英語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50851	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法	Final Report: 40%, Written assignments (including Midterm Report): 30%, In-class assignments and Participation: 30%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50918	A	英語中級	小野 五弥子	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Gender, sexuality and society in Japan The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles in English on gender-related issues. In class, students will discuss minority issues in Japan, particularly gender equality, LGBTQ+ issues, sexual harassment and migrant workers, and compare how these issues are understood in Japan and other countries. By the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings and/or interviews or surveys, and write a report based on their findings. この授業では、日本におけるマイノリティに関する英語の学術文献を読み、内容を批判的に検討します。扱う主なテーマは、ジェンダー平等、同性婚、セクシュアル・ハラスメント、外国人労働者などです。これらの問題について、日本と諸外国がどのように捉えているかを比較し、議論します。さらに、授業で取り上げたテーマの中から関心のある題材を選び、文献調査および／またはインタビューやアンケート等によってデータを収集し、最終レポートとしてまとめます。					
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research question (5%) Research report (28%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51478	A	英語上級	Zane Mackin	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	“What is my motivation?”: Screenplay Study Group and Dramatic Workshop, This class will be exploring films and their screenplays as a way to better understand how English works in speaking situations. These films are acknowledged as masterpieces especially for their dialogue, and as such the language the use is often more clever, eloquent, and funny than the kind of things that people say in ordinary situations. However dramatic dialogue has to sound real and natural before anything else, so we can still trust the language in these films as good models for the following questions: What kind of words do people deploy in which speech registers/contexts? How are collocations used in natural language? What is the cadence and the music of natural English? Digging more deeply, we will look into the psychology behind dramatic language: What motivates people to speak? Why do people say one thing when they mean something else? How to people use language when they need to get someone else to do something for them? The course is composed of five units of two weeks each. Each unit is dedicated to a single film. For every unit students will view a film outside of class time (hopefully more than once), and also study the screenplay. In independent reading and in class discussion, attention will be paid primarily to how dialogue is written to sound “real” or “natural.” Coming to understand what “simply sounds good” is an important step towards gaining authentic, deep, fluency.					
成績評価方法	This course is not just theoretical; it is a workshop. In every class we will read through scenes aloud, and perform them in front of others, as a way to get familiar with the feeling of speaking natural English. Most of this work will be be graded only on participation, but there will be a final graded performance of a script, which students must memorize and rehearse beforehand. This is not a test of how good an actor you are, but rather a way to show your preparation and efforts to diligently and creatively make sense of the dialogue you are given. This class will likely appeal to lovers of film and theater, but there is no requirement to be a good actor, or know a lot about movies. All that is needed is a desire to study and understand these scripts and a willingness to play and experiment with language in the presence of others. Attendance (50%) In class exercises (25%) Final performance (25%)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50919	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	20th Century American Sci-Fi In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51061	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Crime Fiction Crime fiction is an important subset of speculative fiction that focuses on solving a mystery. Classic crime fiction focuses on detectives and the mechanics of the crime committed, while later iterations of the genre focus on character studies and character types, atmosphere and suspense, and the motives of the criminal. Crime fiction may also include depictions of legal processes and prominent figures such as judge (and jury), witnesses, and police. The genre continues to evolve today , crossing over into various other areas of speculative fiction, such as horror and sci-fi. This course will provide an overview to several of the major subsets of crime fiction. In addition to literary fiction, students will be introduced to historical contexts, social criticism, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand legal, psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments: 30% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gesprächsübungen durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird.		
成績評価方法	一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。		
教科書	出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。		
関連ホームページ	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook		
ISBN		書名	
http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		ドイツ語共通教科書『Einblicke』	
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること		著者（訳者）	
		東京大学教養学部ドイツ語部会編	
		出版社	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50026	月 2	ファイファー マティアス	1 年 文一二(21)
50534	水 2	EINS Wieland	1 年 文三(16)
50815	木 4	ヤン シュトラースハイム	1 年 文一二(20)
50978	金 3	フランク ゴーデ	1 年 文一二(22)
51024	金 4	ヤン シュトラースハイム	1 年 文三(15)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	ドイツ語初級（演習） [高度]	斉藤 渉	ドイツ語	火 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50852	A	ドイツ語初級（演習）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（演習） 一列・二列の授業で学修した文法知識の定着を図り、今後のドイツ語学習に向けた基礎固めをする。各自の関心に沿ったドイツ語テキスト読解にチャレンジする。					
成績評価方法	毎回の単語確認テスト、授業内での積極的な発言や貢献、学期末の提出課題により総合的に成績評価を行う。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51069	A	ドイツ語初級（演習） [高度]	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	ドイツ語初級（演習）② [高度]	斉藤 渉	ドイツ語	火 2	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51071	A	ドイツ語初級（演習）② [高度]	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51062	A	ドイツ語初級（会話）	フランク ゴーデ	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.				
成績評価方法		平常点（授業への参加・宿題・出席率）・期末試験を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die mündliche Mitarbeit im Unterricht, Hausaufgaben, Anwesenheit und die Abschlussprüfung werden zusammen verrechnet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50244	A	ドイツ語初級（作文）	板倉 歌	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（作文） S セメスターにドイツ語文法の基礎を学んでいる学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。				
成績評価方法		テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50920	A	ドイツ語初級（作文）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語初級（作文） S セメスターにドイツ語文法の基礎を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。A セメスターに必修クラスで学習する文法の進度も考慮しながら、授業を進めます。				
成績評価方法		テストと平常点によって評価します。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Friedrich Clamer / Erhard G. Heilmann Übungsgrammatik für die Grundstufe Verlag Liebaug-Dartmann 978-3-922989-70-7				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51063	A	ドイツ語初級（表現練習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（表現練習）					
授業の目標概要	Deutsch für Anfänger:innen: Redemittelübungen 授業は文法の基礎知識がある初心者を対象とし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの 4 技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit grammatischen Grundkenntnissen. Geübt werden grundlegende Ausdrucksfähigkeiten in alltäglichen Szenen. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel auf dem Sprachniveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens für Sprachen (CEFR). Der Unterricht umfasst praktische Übungen für die vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）と期末試験で総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50165	A	ドイツ語初級 （インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Intensivkurs Deutsch für Anfänger:innen 授業は文法の基礎知識（A1-1 レベルぐらい）がある初心者を対象とし、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1-2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit leichten Vorkenntnissen (ca. Niveau A1.1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1. und 2. Reihe Deutsch lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1.2 an. Die Teilnehmenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe-Zertifikats A1.2.					
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Evans et al. Momente A1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50171	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） [高度]	フランク ゴーデ	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.					
教科書	授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50853	A	ドイツ語初級 （インテンシヴ）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Intensivkurs Deutsch für Anfänger:innen 授業は文法の基礎知識（A1-1 レベルぐらい）がある初心者を対象とし、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A1 レベルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A1-2 レベルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs richtet sich an Anfänger:innen mit leichten Vorkenntnissen (ca. Niveau A1.1) der deutschen Sprache, die zeitgleich in den Kursen der 1. und 2. Reihe Deutsch lernen. In Ergänzung dazu wird in diesem Kurs das grammatische Wissen durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben in der Praxis gefestigt. Der Kurs zielt das Niveau A1.2 an. Die Teilnehmenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe-Zertifikats A1.2.					
成績評価方法	授業への参加と宿題、場合によっては小テストが評価の基礎となる。特に、授業への積極的な参加を高く評価する。定期的な出席が必要である。 Die Teilnahme am Unterricht, Hausaufgaben und Tests bilden die Grundlage für die Bewertung. Aktive Teilnahme am Unterricht und regelmäßige Anwesenheit werden vorausgesetzt.					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Evans et al. Momente A1 Kursbuch Hueber Verlag 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） [高度]	Ruben Kuklinski	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） [高度]	フランク ゴーデ	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（高度ドイツ語指定科目） In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一系列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレベルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51070	A	ドイツ語初級（インテンシヴ） [高度]	Ruben Kuklinski	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目） Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab.					
成績評価方法	この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一系列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。					
教科書	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。					
ガイダンス	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	ドイツ語初級（第三外国語）	フランク ゴーデ	ドイツ語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ドイツ語初級（第三外国語・通年） この授業は、ドイツ語を学んだことがなく、第三外国語としてドイツ語を学びたい学生を対象としています。1 年間かけてドイツ語の基礎を学びます。					
成績評価方法	Dieser zweisemestrige Kurs richtet sich an Studierende, die noch über keine Deutschkenntnisse verfügen und Deutsch als dritte Fremdsprache lernen wollen. 平常点（授業への参加・課題・出席率）を 5 0 % で、期末試験を 5 0 % で総合的に評価する。累積欠席回数が 5 回に達した場合、不可とする。					
教科書	Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei fünfmaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A1, Kursbuch plus interaktive Version Hueber 978-3-19-501791-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	ドイツ語初級（第三外国語）	高橋 亮介	ドイツ語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書	ドイツ語初級（第三外国語）／German Language (Introductory) 1 学期で入門レベルのドイツ語文法を扱う。やさしい文章を読み解く力と初歩的な表現力の習得を目指す。 中間試験、授業期間を利用した期末試験、出席状況などの基準に基づき、総合的に成績評価を行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋亮介・川名真矢 新・アブライゼ 伝え合うドイツ語 朝日出版社 978-4-255-25473-9					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50166	A	ドイツ語中級（演習）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ドイツ語中級（演習） ドイツ語の初等文法を復習しながら、ドイツ文学の作品をドイツ語原文で読んでいきます。 平常点（出席、宿題、演習への参加等）および試験によっておこないます。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50921	A	ドイツ語中級（演習）	林 志津江	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ドイツ語テキストを読み、考え、楽しむ （目標）ドイツ語のテキストを読む楽しさや奥深さを共有しつつ、ドイツ語テキストを自力で読む力の習得とともに、資料を精読する意味や、文献研究に対する理解を深めていきます。 （概要）文学・歴史・法律など、複数のジャンルのドイツ語テキスト（詩、短編、エッセイ、法文、文化論的記述など）の精読を通じて、ドイツ語初級文法の復習と中級文法の導入を行います。ドイツ語初級文法の知識があることを前提としますが、1年生（S セメスターのみ既習）の履修者にも配慮する形で、文法事項の学習も適宜補足します。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業への積極的な参加・貢献および学期末課題の得点をあわせ、総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50836	A	ドイツ語中級（会話）	Ruben Kuklinski	ドイツ語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Konversationskurs Deutsch (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話） Der Kurs richtet sich an Studierende etwa auf dem Niveau A2 (CEFR). Ziel ist es, in der Fremdsprache Deutsch über aktuelle Themen aus dem Alltag zu lernen, zu recherchieren und zu sprechen. Die Themen richten sich nach dem Interesse der Teilnehmenden und nach aktuellen Entwicklungen. Im Vordergrund stehen transnationale Vergleiche zwischen Japan und dem deutschsprachigen Raum (DACHL). Der Kurs ist ein "shared course" mit den Kursen: "Language-Global Liberal Arts (Advanced German)" und "Konversation Deutsch (30)". A1 レベルを終えた、A2 レベル（CEFR）を学びたい学習者向けのコースである。目標は、日常生活における時事的なテーマについてドイツ語を使って学び、調査し、議論し、発表することによって、外国語であるドイツ語を実践的に活用することである。 テーマは、参加者の関心や最新の動向に基づいて決定される。特に、日本とドイツ語圏との国際比較に重点が置かれる。このコースは、「グローバル教養言語科目（ドイツ語上級）」及び「共通ドイツ語（30）（会話）」との共有コースである。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, der Hausaufgaben und Präsentationen. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 成績評価は平常点によって行う。授業への参加、宿題、小さな発表などが総合的に評価される。積極的な参加が前提となる。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50151	A	ドイツ語中級（作文）	フランク ゴーデ	ドイツ語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger:innen (Mittelstufe) Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を1年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテキスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar sowie der Hausaufgaben. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Ein Test findet nicht statt. 成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献と宿題の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。小テスト・期末試験は行わない。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	ドイツ語上級（演習）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Deutsch für Fortgeschrittene (Oberstufe) ドイツ語上級（演習） Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse (Niveau B1～) verfügen und ihre Deutschkenntnisse erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle gesellschaftliche Themen sowie wissenschaftliche Fragen in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、現在の社会問題及び学問の問いを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。					
成績評価方法	評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und den gestellten Aufgaben.					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51043	A	ドイツ語上級（会話）	Ruben Kuklinski	ドイツ語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Deutsch-Konversation für Fortgeschrittene (Oberstufe)					
授業の目標概要	ドイツ語上級（会話） Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse (Niveau B1～) verfügen und diese erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle Themen in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Die Themenauswahl richtet sich nach den Interessen der Teilnehmenden und der aktuellen Tageslage. Im Vordergrund stehen transnationale Vergleiche zwischen dem deutschsprachigen Raum (DACHL) und Japan. Der methodische Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. Der Kurs ist ein "shared course" mit dem Kurs: "Konversation Deutsch (31)". 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、現在トピックを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。テーマは、参加者の関心や最新の動向に基づいて決定される。特に、日本とドイツ語圏との国際比較に重点が置かれる。練習の重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。 このコースは、「共通ドイツ語（31）（会話）」との共有コースである。					
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und an den gestellten Aufgaben. 評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50245	A	ドイツ語上級（読解）	桑山 裕喜子	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Lektürekurs Deutsch für Fortgeschrittene					
授業の目標概要	中級文法を習得済みの受講者を対象とした科目です。文法と語彙の知識を増やし、短いテキストや抜粋を使って総合的な読解力の向上を目指します。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits Grammatikkurse der Mittelstufe belegt haben. Ziel ist es, bestehende Deutschkenntnisse mit Blick auf das Leseverständnis zu erweitern. Bestehendes Wissen zu Grammatik und Wortschatz soll dabei anhand kurzer Texte oder Textauszüge erweitert, angewandt, abgewandelt und verfeinert werden.					
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を 50 %で、期末課題（レポート）を 50 %で総合的に評価する。理由の申し出のない欠席が 4 回以上あった場合、単位取得が不可となることがあります。 Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht mehr bescheinigt werden.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L フランス語

フランス語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要			
一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。			
この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。			
成績評価方法			
平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。			
教科書			
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook			
書名			
著者（訳者）			
出版社			
ISBN			
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50124	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50404	火 4	CAPEL Mathieu	1 年 文一二(24)
50532	水 2	BELOUAD CHRIS	1 年 文一二(27)
50533	水 2	ファイフ ペアトリクス	1 年 文一二(28)
50596	水 3	ファイフ ペアトリクス	1 年 文一二(25)
50625	水 4	Steve Corbeil	1 年 文三(20)
50888	金 1	マニゴ ヴァンサン	1 年 文一二(23)
50989	金 3	BELOUAD CHRIS	1 年 文三(17)
50990	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(19)
51026	金 4	プヨ バティスト	1 年 文三(18)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	フランス語初級（演習） [高度]	プヨ バティスト	仏語・伊語	火 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） 一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）[高度]、そしてフランス語初級（インテンシヴ）[高度] を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する				
成績評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	フランス語初級（演習）② [高度]	プヨ バティスト	仏語・伊語	火 2	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要		フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） 一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）[高度]、そしてフランス語初級（インテンシヴ）[高度] を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する				
成績評価方法 教科書		参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	フランス語初級（会話）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語での会話 この授業では、初級レベルの学生（学習歴 6 ヶ月から 1 年）が会話の練習を行い、大学でのフランス語学習を通じて習得した語彙や文法の知識を実践的に活用することになります。				
成績評価方法		評価は、最終成績の 10% を占める継続的な評価（宿題）と、学期末に行われる、教員が指定したテーマについて学生同士で行う 10 分間の会話試験によって行われます。この口頭試験は、最終成績の 90% を占めます。 本授業では、通常の宿題の代わりに、有料の e ラーニングサイト「Furago.io」を活用した課題を実施します（受講料：1 学期あたり 990 円）。授業外の学習活動として、このプラットフォーム上で指定されたエクササイズを行っていただきます。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50855	A	フランス語初級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		Compréhension orale et écrite, production orale et écrite en français フランス語の聴解・読解、および口頭・書面による表現力 Nous partirons d'exercices simples sur les formes actives et passives, puis nous travaillerons sur le récit d'un événement récent (l'incendie de Notre-Dame-de-Paris). Nous travaillerons ensuite sur la transformation des sites industriels désaffectés en sites culturels (Orsay, La Villette). Et nous finirons sur un cas japonais (Inujima). Les supports seront divers: photographies, documentaires, sites web. Les étudiants seront évalués sur deux travaux: l'un sous la forme d'un exposé oral, l'autre sous la forme d'un examen écrit. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50657	A	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		この授業では必修の「フランス語初級（演習）」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習）」の復習をしながら理解を更に深め「フランス語初級（演習）」のA+を狙いましょう。 講義に関する宿題が 50%、毎回のレッスン課終了毎に行う小テストが 50%（期末テスト無し） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50490	A	フランス語初級（読解）	赤羽 悠	仏語・伊語	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		フランス語の新聞記事を読む 比較的平易なフランス語の新聞記事を丁寧に読んでいきます。フランス語の読解力を向上させると同時に、実際のフランス語がある程度読める、という手ごたえをつかんでもらうことを目指します。 なお、まだ初級文法を学習途中の 1 年生でも無理なくついてこられるような授業にするつもりです。文法事項の先取りになってしまう箇所も多々ありますが、そのような箇所は特に丁寧に説明していきます。まだ初級文法が学び終わっていないくても、実際のフランス語に触れてみたい、あるいは文法の学習をどんどん先に進めたいという意欲のある学生は歓迎します。 平常点（授業への参加）、学期末試験等により総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	フランス語初級（インテンシヴ） [高度]	Julien Agaesse	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） 一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）[高度]、そしてフランス語初級（インテンシヴ）[高度] を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。					
成績評価方法	秋学期の目的：DELFL のレベル A2 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。					
教科書	We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin ／TitleL’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50167	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 なお、正当な理由のない欠席 1 回につき、最終評価から 1 点を減点する。					
教科書	また、最終評価の 10% は、e ラーニングサイト（ https://furago.io/ ）上での学習・課題の取り組み状況を評価対象とする。 本サイトの利用には、各学期ごとに個人ライセンス（990 円）の購入が必要である。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Debot, Catherine Lavoye Klose, Véronique Rigaud, Anne Guilaïne André Prêt-à-parler 1 A1 Maison des langues 978-8411570039					
ガイダンス	開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50658	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス語初級（インテンシヴコース） このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。					
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 なお、正当な理由のない欠席 1 回につき、最終評価から 1 点を減点する。					
教科書	また、最終評価の 10% は、e ラーニングサイト（ https://furago.io/ ）上での学習・課題の取り組み状況を評価対象とする。 本サイトの利用には、各学期ごとに個人ライセンス（990 円）の購入が必要である。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sandra Debot, Catherine Lavoye Klose, Véronique Rigaud, Anne Guilaïne André Prêt-à-parler 1 A1 Maison des langues 978-8411570039					
ガイダンス	開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	フランス語初級（インテンシヴ） [高度]	Julien Agaesse	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次） 一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）[高度]、そしてフランス語初級（インテンシヴ）[高度] を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する 参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50247	A	フランス語初級（第三外国語）	富成 信	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	フランス語初修 フランス語文法および講読の基礎を固める。 平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook S.D.F.G （学習院フランス語教育研究会） グラメール・フランセーズ 朝日出版 978-4-255-35280-0 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	フランス語初級（第三外国語）	原 和之	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	※詳細は UTAS をご確認ください。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50922	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		フランス語初級（第三外国語） フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。 平常点（授業への積極的参加、予習状況、課題等）および学期末試験によって、総合的に判断する。				
成績評価方法 教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 太田浩一、前田保、渡辺仁 新・フランス語文法の＜基礎＞ 駿河台出版社 978-4-411-00775-9				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50052	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Communication orale en français – Niveau intermédiaire L'objectif principal est de développer les compétences de communication orale des étudiants à travers des interactions spontanées et régulières avec leurs camarades de classe (jeux de rôle, simulations et activités de substitution). Le travail sur le manuel sera régulièrement enrichi par des documents complémentaires (photocopies) fournis par l'enseignant. Le cours comprend également la préparation et la présentation d'exposés oraux (durée indicative : 2 à 3 minutes) devant la classe, afin de renforcer l'aisance à l'oral et la confiance en soi. Note sur la progression : La progression dans le manuel est donnée à titre indicatif. Le rythme pourra être accéléré, allégé ou adapté en fonction du niveau réel de la classe et de la progression des étudiants.				
成績評価方法		Participation active et interactions orales en classe : 40 %				
教科書		Jeux de rôle thématiques et exposés oraux : 60 % 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Yamina AOKI-LAIEB, Françoise FUJII, Jean-François GRAZIANI, Noriyuki NISHIYAMA Sur le pont 2e édition フランス語コミュニケーション入門 朝日出版社 978-4-255-35340-1				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50743	A	フランス語中級（会話）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	【中上級・上級】 Compréhension orale et interaction Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français oral. Nous travaillerons la compréhension orale (écoute) et la production orale (prises de parole, présentations et discussions). Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - 共通フランス語（４）（会話） : pour les étudiants de 3e et 4e années. - フランス語中級（会話） : pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（４）（会話）. Les étudiants inscrits en 1re et 2e années sont donc invités à posséder un niveau de français suffisamment avancé (par exemple avoir étudié le français avant d’avoir intégré l’université). Dans la grille du CECR/CEFR, ce cours correspondrait principalement à un cours de niveau intermédiaire-avancé (B1-B2). Il reste ouvert à des étudiants de niveau plus avancé (B2 confirmé et C1-C2) souhaitant continuer à pratiquer et améliorer leur français. À chaque fois, nous prendrons quelques semaines pour traiter chaque thème. Pour préparer chaque thème, nous commencerons par lire de courts textes, écouter des extraits d’émissions de radio ou regarder de courtes vidéos ensemble. Les étudiants participeront ensuite à différentes activités orales sur ce sujet : présentations de différents types, discussions, jeux de rôle, etc. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne. ※ Les cours de printemps et d’automne suivent la même structure (et donc le même syllabus) mais les contenus sont différents.					
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et exercices en classe) 2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe 3) Contrôle final (en fonction du nombre d’étudiants)					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50923	A	フランス語中級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	【中上級】 Écriture de la vie quotidienne Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français écrit, et plus particulièrement à l’écriture de la vie quotidienne : écrire un message, décrire une photographie ou une œuvre d’art, imaginer la suite d’une histoire, etc. Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - 共通フランス語（８）（作文） : pour les étudiants de 3e et 4e années. - フランス語中級（作文） : pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（８）（作文）. Les étudiants inscrits en 1re et 2e années sont donc invités à posséder un niveau de français suffisamment avancé (par exemple avoir étudié le français avant d’avoir intégré l’université). Dans la grille du CECR/CEFR, ce cours correspondrait principalement à un cours de niveau intermédiaire au sens large (A2/B1/B2). Il reste ouvert à des étudiants de niveau plus avancé (B2 confirmé et C1-C2) souhaitant continuer à pratiquer et améliorer leur français. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne.					
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe) 2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe 3) Contrôle final (en fonction du nombre d’étudiants)					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	Non. Les documents nécessaires seront communiqués en classe au fur et à mesure. 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50800	A	フランス語中級（表現練習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		中級レベルの口頭・筆記表現講座 このコースは、すでに少なくとも 1 年間フランス語を学んだことのある学生を対象としています。これは、書く・話す・読む・聞くという 4 つの主要な言語技能を向上させたいと考える学生のための、中級レベルのフランス語コースです。 期末評価は、学期中に学習した言語内容に関する筆記試験と口頭試験で構成されます。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50248	A	フランス語中級（読解）	谷口 奈々恵	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		フランス語圏の文化と社会 初級文法を一通り学習した方を対象に、中級レベルのフランス語の文章を正確に読解する力を養うことを目的とします。 扱うテキストは受講者の関心や文法レベルに応じて決めますが、主として、フランス語圏の文化・芸術、ジェンダーやフェミニズム等に関する時事問題や歴史のテーマを扱う予定です。 新聞・雑誌・Web メディアの記事を中心としつつ、映画・ドラマの口頭表現や小説など、可能な範囲でいろいろな性質のテキストに触れ、語彙・文法・表現の運用力を高めていくことを目指します。 平常点、期末試験等（受講者数等に応じて決定します） 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50249	A	フランス語上級（演習）	Julien Agaesse	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		Préparation intensive au DELF/DALF : Cours individuel et collaboratif pour maîtriser les compétences linguistiques (compréhension orale/écrite, expression orale/écrite) et les stratégies d'examen. Adapté à tous les niveaux (A1 à C2), avec focus sur les attentes spécifiques du CECRL et les critères d'évaluation. Acquérir les compétences clés pour réussir l'examen (compréhension, expression, interaction). Alternance de travail individuel (exercices ciblés, simulations) et d'échanges entre apprenants (débat, corrections collectives). Approche personnalisée selon le niveau et les besoins de chacun. Réussite à l'examen DELF/DALF** : Résultat obtenu . Présence et participation : Assiduité aux séances et implication active lors des échanges. Engagement dans les travaux préparatoires : Qualité et régularité des exercices à la maison, participation aux échanges Devoirs et projets : Rendus ponctuels, respect des consignes, et progression visible entre les productions. 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50837	A	フランス語上級（演習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		Cours d'expressions orale et écrite de niveau avancé (B1-B2) Ce cours est destiné aux étudiants ayant déjà étudié le français pendant au moins deux à trois ans. Il s'agit d'un cours de français de niveau avancé destiné aux étudiants désireux de progresser dans les quatre grandes compétences langagières : productions écrite et orale, compréhensions écrite et orale. L'évaluation finale comportera un examen écrit et un examen oral portant sur les contenus linguistiques travaillés durant le semestre. プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51044	A	フランス語上級（演習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		本授業は、フランス語能力が A2～B1 レベルの学生を対象とし、主に日仏翻訳において生じる特有の困難点を扱う。とりわけ、日本語に厳密な対応表現を持たないフランス語の慣用表現や定型表現の翻訳に焦点を当てる。				
授業の目標概要		Perfectionnement linguistique et discrimination sémantique 本演習の目的は、学生の言語運用能力を継続的に育成するとともに、対象言語における表現の文化的・意味的側面に重点を置いて理解を深めることである。				
成績評価方法		翻訳課題およびマッチング形式の問題から成る期末試験。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50209	A	フランス語上級（会話）	Julien Agaesse	仏語・伊語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		フランス語上級（会話）／French Language (Advanced) Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus)				
授業の目標概要		Argumenter de manière structurée (oral/écrit) : thèse + arguments + exemples + contre-arguments. Produire des textes cohérents (essais, synthèses) avec des connecteurs logiques variés. S’exprimer avec fluidité, en structurant ses idées Élargir son lexique dans des domaines spécifiques Produire des textes cohérents avec des connecteurs logiques variés. Découvrir des jeux français et francophones, travail sur la francophonie.				
成績評価方法		Présentations, autoévaluation, contrôle continu, rapports, attitude et participation en classe.				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51045	A	フランス語上級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 【フランス研究コース・卒業論文執筆準備演習】 Formation à l'écriture universitaire						
授業の目標概要 Ce cours est une formation à l'écriture universitaire en français. Il vise à développer chez les étudiants les compétences nécessaires à la rédaction de textes académiques (argumentation, structuration, citation, distinction des registres, formulation d'opinions) dans un cadre universitaire francophone. Le cours s'adresse principalement aux étudiants de la section française en 2e, 3e et 4e années. Il peut être suivi par les étudiants d'autres sections qui ont un niveau suffisant de français. Ce cours nécessite un travail régulier : lecture de longs textes (5 à 10 pages), présentations orales sur ces textes, devoirs écrits à rendre régulièrement. Il n'est donc pas adapté aux auditeurs libres. Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - 共通フランス語（２２）（論文）：pour les étudiants de 3e et 4e années. - フランス語上級（作文）：pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. Notez cependant que le cours de référence est 共通フランス語（２２）（論文）. Les étudiants de 1re et 2e années sont toutefois invités à ne s'inscrire que s'ils remplissent l'une des conditions suivantes : 1. ils prévoient d'intégrer la section française en troisième année ; 2. ils possèdent déjà un niveau avancé en français écrit (par exemple après une scolarité ou un séjour prolongé dans un pays francophone). ※ En fonction du nombre d'inscriptions, le nombre de participants pourra être limité afin de préserver un bon environnement de travail. ※ En fonction du niveau de français des étudiants inscrits, le professeur pourra recommander le choix d'un autre enseignement plus adapté. Si cela s'avère nécessaire au bon déroulement du cours, certaines inscriptions pourront être refusées. ※ Les étudiants ayant des profils ou des objectifs ne correspondant pas à ceux décrits dans le syllabus sont invités à consulter le professeur avant le début des inscriptions (voir adresse électronique ci-dessous), ou à envisager d'autres cours communs de français si cela est plus adapté à leurs besoins. 本授業は、フランス語によるアカデミック・ライティング能力の習得を目的とする。議論の構成、論証の方法、引用の仕方、文体・レジスターの区別、意見の表現など、フランス語圏の大学教育において求められるアカデミック・ライティングの基礎的能力を養う。 本授業は主にフランス研究コースの２・３・４年生を対象とするが、十分なフランス語能力を有する他コースの学生も履修することができる。授業では、５～１０ ページ程度の長文読解、読解内容に関する口頭発表、定期的な作文課題など、継続的な学習が求められる。そのため、聴講のみを希望する者の受講には適さない。 本授業は合同授業である。 - 共通フランス語（２２）（論文）：３・４年生対象 - フランス語上級（作文）：２年生、および大学入学前にフランス語を学習した１年生対象 ただし、本授業の基準となる科目は「共通フランス語（２２）（論文）」である。したがって、１・２年生は、次のいずれかの条件を満たす場合に履修することが望ましい。 1. ３年次にフランス研究コースへ進学する予定であること。 2. すでに高度なフランス語の文章読解・作文能力を有していること（例えば、フランス語圏での就学経験や長期滞在経験がある場合など）。 ※ 受講者数によっては、授業運営上の理由から受講人数が制限される場合がある。 ※ 受講者のフランス語能力によっては、担当教員がより適した科目の履修を勧める場合がある。また、授業運営上必要と判断される場合には、受講を認めないことがある。 ※ 上記に示した履修条件と異なる場合には、履修登録前に担当教員へ相談することが望ましい（連絡先については、以下を参照すること）。学習背景や履修目的によっては、他の共通フランス語科目（「会話」や「作文」など）の履修を検討すること。						
成績評価方法 1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe) 2) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe 3) Contrôle final (en fonction du nombre d'étudiants)						
教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook Non. Les documents nécessaires seront communiqués en classe au fur et à mesure.						
ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50548	A	フランス語上級（読解）	中尾 沙季子	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		フランス語で読む〈アフリカ〉 現代フランス語圏作家の作品を読むためのフランス語力を身につける 授業への参加の度合い、および、最終授業時におこなう試験で評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

総合科目 L 中国語

中国語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。	
成績評価方法		注意事項 ★クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。 ★「高度」科目を選択の場合は上記の限りではない。「初級演習（高度）②」（担当：鄧芳先生もしくは白春花先生）を履修すること。	
教科書		定期試験を行わず繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 著者（訳者） 毛 興華 出版社 白帝社 ISBN	
関連ホームページ		中国語部会連絡掲示板 https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/chinese	
※講義の詳細・受講する		クラスについては、UTAS を参照すること	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50326	火 3	林 立梅	1 年 文一二(16)
50339	火 3	郭 馳洋	1 年 文三(13)
50402	火 4	林 立梅	1 年 文一二(14)
50403	火 4	喬 志航	1 年 文一二(19)
50523	水 2	毛 興華	1 年 文一二(12)
50623	水 4	王 牧	1 年 文三(14)
50722	木 2	毛 興華	1 年 文三(12)
50782	木 3	錢 俊華	1 年 文三(11)
50812	木 4	錢 俊華	1 年 文一二(13)
50886	金 1	齊 金英	1 年 文一二(17)
50887	金 1	王 英輝	1 年 文一二(18)
50976	金 3	張 玉萍	1 年 文一二(15)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50173	A	中国語初級（演習）[高度]	Fang Deng	中国語	月 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③を、各一科目選択してください。 ① 初級演習 月 5 鄧芳先生 初級演習 金 2 白春花先生 ② 初級インテンシヴ 1 月 1 鄧芳先生 初級インテンシヴ 1 火 2 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ 2 火 2 白春花先生 初級インテンシヴ 2 木 1 白春花先生 「中国語初級[高度]」は、所定の 3 科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」2 科目および「中国語初級（演習）[高度]」1 科目）をセットで履修することを原則とします。 2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。 履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 特に行わない。／Will not conduct guidance					
成績評価方法 教科書						
ガイダンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50924	A	中国語初級（演習）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 1 年生理系生のみを対象とした授業です。					
成績評価方法 教科書	一回目の授業で詳しく説明する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 白帝社 978-4-86398-555-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	中国語初級（演習）[高度]	Chunhua Bai	中国語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は、「グローバルリーダー養成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に付け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目指します。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度] 2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ 1 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ 2 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（1 クラス定員を 1 5 名まで計 3 0 名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。					
成績評価方法 教科書	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50172	A	中国語初級（演習）② [高度]	Fang Deng	中国語	月 5	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。【3/30 修正】一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③を、各一科目選択してください。 ① 初級演習 月 5 鄧芳先生 初級演習 金 2 白春花先生 ② 初級インテンシヴ 1 月 1 鄧芳先生 初級インテンシヴ 1 火 2 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ 2 火 2 白春花先生 初級インテンシヴ 2 木 1 白春花先生 「中国語初級[高度]」は、所定の 3 科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」2 科目および「中国語初級（演習）[高度]」1 科目）をセットで履修することを原則とします。 2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。 履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。					
成績評価方法 教科書	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	中国語初級（演習）② [高度]	Chunhua Bai	中国語	金 2	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は、「グローバルリーダー養成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目指します。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ1 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ2 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（1 クラス定員を 15 名まで計 30 名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 成績評価方法 定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50925	A	中国語初級（作文）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級作文 この授業は半年から一年程度で中国語を履修した学生を対象とした授業である。自分のことや日常生活などで必要なことを中国語で表現する能力を養成するのが目的である。中国語の文法事項や重要な構文を学習した上、短文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身に付けていきます。					
成績評価方法 教科書	授業の予習、復習、トレーニングの完成度、授業の参加度、試験によって総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 井田みずほ・小園瑞恵 初中級 中国語作文トレーニング 白帝社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	中国語初級（インテンシヴ）[高度]	Fang Deng	中国語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度] 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度] 2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ① 初級演習 月 5 鄧芳先生 初級演習 金 2 白春花先生 ② 初級インテンシヴ 1 月 1 鄧芳先生 初級インテンシヴ 1 火 2 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ 2 火 2 白春花先生 初級インテンシヴ 2 木 1 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆S セメスターに履修した学生を優先します。 「中国語初級[高度]」は、所定の 3 科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」 2 科目および「中国語初級（演習）[高度]」 1 科目）をセットで履修することを原則とします。 2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。 履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。 成績評価方法 教科書 小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 牧	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは 2 クラス開講し、各クラス定員を 2 0 名までとする。 定員を超えた場合、S セメスターに履修した受講者を優先する。 A クラス：火 2 王牧 先生 金 2 毛興華 ☆A クラスは必ず金 2（担当教員：毛興華 先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とし、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。 成績評価方法 教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 978-4-255-45377-4 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	中国語初級（インテンシヴ）[高度]	Fang Deng	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度] 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度] 2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ① 初級演習 月 5 鄧芳先生 初級演習 金 2 白春花先生 ② 初級インテンシヴ 1 月 1 鄧芳先生 初級インテンシヴ 1 火 2 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ 2 火 2 白春花先生 初級インテンシヴ 2 木 1 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆S セメスターに履修した学生を優先します。 「中国語初級[高度]」は、所定の 3 科目（「中国語初級（インテンシヴ）[高度]」 2 科目および「中国語初級（演習）[高度]」 1 科目）をセットで履修することを原則とします。 2026 年度 A セメスターに限り、履修希望者が定員を超えた場合であっても、抽選等の選抜は行わず、希望者全員の履修を認めます。 履修を希望する学生は、第 1 回の授業から出席してください。					
成績評価方法 教科書	小テスト、期末試験など 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	中国語初級（インテンシヴ）[高度]	Chunhua Bai	中国語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2コマと初級演習[高度]の計3コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ1 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ2 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（1クラス定員を15名まで計30名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。【3/30 修正】 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 『聞いて話す 初級中国語インテンシヴ』 白帝社 ガイドンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					
成績評価方法 教科書						
ガイドンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週2回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは2クラス開講し、各クラス定員を20名までとする。 S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 B クラス：木1 賈黎黎先生 金2 王英輝先生 ☆B クラスは必ず金2（担当教員：王英輝先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティブ、ニアネイティブの受講は認めない。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社 978-4-86398-454-7 ガイドンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					
成績評価方法 教科書						
ガイドンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	中国語初級（インテンシヴ）[高度]	Chunhua Bai	中国語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の基礎を固めるトレーニング 高度科目は「グローバルリーダー育成プログラムⅡ」の単位認定科目です（関連ホームページ参照）。1，2 年生で高度な中国語運用能力を身に着け、学部進学後にプログラムが提供する更に高度な授業を受講できることを目標としています。一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行います。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用します。 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、少人数という恵まれた環境で更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]2 コマと初級演習[高度]の計 3 コマをセットで履修することを義務付けています。文系生で初級演習[高度]を履修する学生は、指定クラスの初級演習を履修する必要がありません。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ①初級演習 鄧芳先生・白春花先生 ②初級インテンシヴ1 鄧芳先生 ③初級インテンシヴ2 白春花先生 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆セット履修ができない場合には履修を認めません。 ☆実践訓練を行うため人数制限をします。（1 クラス定員を 15 名まで計 30 名） 【注意事項】 ☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティブ、ニアネイティブの受講は認めません。 ☆原則辞退を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。【3/30 修正】 ☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。1 コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。 定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 『聞いて話す 初級中国語インテンシヴ』 白帝社 ガイドンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					
成績評価方法 教科書						
ガイドンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50926	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング A 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは 2 クラス開講し、各クラス定員を 20 名までとする。 定員を超えた場合、S セメスターに履修した受講者を優先する。 A クラス：火 2 王牧 先生 金 2 毛興華 ☆A クラスは必ず火 2（担当教員：王牧 先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とし、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。 授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシヴ 白帝社 978-4-255-45377-4 ガイドンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					
成績評価方法 教科書						
ガイドンス						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50927	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語の実践能力を養うためのトレーニング B 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週 2 回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは 2 クラス開講し、各クラス定員を 2 0 名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。 B クラス：木 1 賈黎黎先生 金 2 王英輝先生 ☆B クラスは必ず木 1（担当教員：賈黎黎先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。					
成績評価方法 教科書	授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀・李佳樑 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 978－4－255－45377－4					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	中国語初級（第三外国語）	毛 興華	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級（第三外国語） この授業は、中国語学習をゼロから始める受講者を対象とし、中国語の基礎力の養成を目的として学習を進める。授業修了時には、中国語の基本的な発音を習得し、約 500 語の語彙を用いて身近な話題について簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。					
成績評価方法	授業への参加状況・授業中のパフォーマンス、小テスト、期末試験などを総合的に評価し、成績を判定する。					
教科書	評価方法の詳細については、初回授業時に説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	『読む力・書く力を鍛える初級中国語』雷桂林 賈黎黎 朝日出版社 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	中国語初級（第三外国語）	賈 黎黎	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	中国語初級（第三外国語） この授業は中国学習をゼロからスタートする学生を対象とし、中国語の基礎を身につけることに重点を置いて学習を進める。学び終わった段階で中国語の発音ができ、500 語程度の単語を運用して簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。					
成績評価方法	受講態度、発表、期末試験などによって成績を判定する。詳しいことは初回授業の時に説明する。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 『読む力・書く力を鍛える初級中国語』 雷桂林・賈黎黎					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	中国語初級（第三外国語）	菊池 真純	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語初級（第三外国語） 第二外国語を中国語以外で履修している学生向けの授業であり、0 から中国語を学ぶ。 聞く・話す・読む・書くの四技能をバランス良く身につけることを目標とする。 この授業は通年で開講となるため、通年で履修できる者の履修が望ましいため、履修者が30名を超える場合には、S セメスターでの同じ科目を履修した学生の履修を優先する。 A セメスターでも同じ教科書（後半部分）を使用する。				
成績評価方法		平常点と期末試験の点数。				
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 孫路易 中国語標準テキスト＜初級＞ 郁文堂				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50152	A	中国語中級（演習）	三村 一貴	中国語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		老舍の随筆を読む この授業では、20 世紀中国の文学者・老舍の随筆を、語彙・文法・発音など、言語そのものの特徴に注目しながら読んでゆきます。 老舍は北京語を駆使して著述を行った作家として知られていますが、北京語はいわゆる普通話とさまざまな面で異なります。老舍の操る言葉は我々が学習してきた中国語と同じなのか、異なるのか、中国語に関する我々の知識でどの程度理解できるのかを探究してゆきます。老舍の文章を言語学的観点から分析しながら読むことで、中国語の読解力を高め、中国語の文を分析する力を養います。 老舍の作品はかつての中国の生活文化をいきいきと伝えてくれるものでもあります。授業担当者は言語学的観点に重きを置いた分析を行います。歴史学的観点など、さまざまな方向からのアプローチを歓迎します。				
成績評価方法		平常点とレポート課題によって評価します。 平常点：授業での発表・議論への参加 レポート課題：授業での議論を踏まえ、発表資料を改訂したものを提出。				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50549	A	中国語中級（会話）	賈 黎黎	中国語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語中級会話 中国語中級会話の習得目標は以下の通り。 ① 聞き取りやすい発音 ② 中国語でのコミュニケーションへの慣れ ③ 待遇を含む、場面・状況・相手を考えた談話構成・談話展開 ④ 定型表現・慣用表現・オノマトペ ⑤ 研究活動で必要とされる文法知識				
成績評価方法		期末試験は行わず、受講態度、課題、口頭発表に基づいて評価する。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50928	A	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中級中国語会話 中級レベルの文法を習得しながら、中国や日本の現代文化や社会事情が織り込まれた文章に触れ、テーマごとの会話練習を通して、中国事情に対する理解を深めつつ、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。 期末試験(60 点)や授業への参加度（40 点）により総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 及川淳子 『2 年めの伝える中国語 自分のこと日本のこと』 白水社 9784891746773 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50856	A	中国語中級（作文）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	「伝わる文章」を書く技術を習得し、中国語の表現能力を高めるための実践的授業 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やししながら、「書く」能力を高めるための実践的授業である。中国語の特徴、文章表現技術についての基礎的な知識を学び、作文、評価（添削）など、一連の文章作成の過程を通して、中国語の運用能力を身に付けることを目指す。 平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	中国語中級（読解）	大橋 義武	中国語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中国語中級（読解） 1.中級レベルの文法を習得する（正確な読み/書きができる） 2.文章読解に要する語彙を習得する 3.一定の長さをもつ文章を読んで理解する力を習得する 4.中国文化に対する適切な理解ができる 授業内試験と平常点により評価する。 ※授業内試験：最終回の学期末授業内試験、および、適宜実施の小テスト。 ※平常点：授業への積極的参加と課題（宿題）提出。 【成績評価基準】 1.正確な翻訳ができているか 2.重要表現や頻出語句等を用いて適切な文を作れているか 3.まとまった文章を読み、中国の文化等について理解することができているか 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 胡金定監修 『中国文化散歩』 白帝社 9784891746773 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51046	A	中国語中級（読解）	石井 剛	中国語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	現代中国の人文学 今日の中国についてわたしたちがジャーナリズムを通じて知りうることはきわめて限られている。ソーシャルメディアには匿名の不確かな情報があふれている。ではアカデミアはどうか？ 地域研究や国際関係学の領域でデータやフィールドワークに基づく精緻な分析が多く行われている一方で、今日の中国における言論の内部に入り込んでその思想史的意義を明らかにしてくれる研究は残念ながら乏しいと言わざるを得ない。インターネットを利用すれば豊富な言論に触れることができるにもかかわらず、わたしたちはそれを文脈化しマッピングしてくれる言説に恵まれてはいない。 そうであれば、自らの手でその作業を担うほかない。 この授業では、現代中国において人文学 Humanities がどのように問題化されているのかをテキスト精読の方法によって理解する。森を俯瞰するのではなく、森の中の一本の木をクローズアップするだけでも、その木を生かしている生態系の一端を知ることができるだろう。生態系 ecosystem は開放的な共生の現場である。現代中国の思想に内包される生態系の豊かさに触れるのがこの授業の目的である。 授業参加の積極度（70%）、期末レポート（30%） 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	中国語上級（演習）	菊池 真純	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中国語上級（演習） 授課語言为汉语。这不是“学习汉语的课”，而是“用汉语学习的课”。 这门课要介绍在中国农村实施的林业政策、环境政策，以及在此政策之下的当地居民生活。 这门课的内容是关于森林保护政策和当地生活。每节课都会介绍任课教师在中国农村进行实地调查时获得的一手资料。 环境社会学、农村社会学及现代中国论的学术领域。 这门课的最终目标是让学生们从中国农村的案例中学会思考各种问题，并思考这些问题在整个中国社会中具有什么样的意义？它们跟日本有什么关系？对国际社会有什么影响？ 平时表现 60%，期末考试 40% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51014	A	中国語上級（演習）	王 牧	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	中国語上級（演習） 本授業では、一般言語学および現代中国語文法論に関する諸問題を扱い、中国語で執筆された学術論文の講読を行う。 専門的内容の正確な理解と学術的文章読解力の養成を図るとともに、言語現象の背後にある思想・文化・認知メカニズムの差異への理解を深める。あわせて、論文要約、口頭発表、レポートおよび小論文作成等の課題を通じ、アカデミック中国語運用能力の向上を目指す。 平常点（出席状況、予習状況、授業への参加態度等）、授業内での演習および発表、期末課題を総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50352	A	中国語上級（会話）	王 牧	中国語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語上級（会話） この授業では、中国語による会話能力のさらなる向上を目的とし、実際の会話場面や抽象的なテーマ、公共的・社会的な話題について、自分の意見を論理的に述べる力を養う。また、自然な発音、適切な語彙の運用、文化的背景への理解も重視し、中国語で思考し表現する態度を身につけることを目指す。				
成績評価方法		期末発表の成績、課題の提出状況、授業への参加度（出席状況、プレゼンテーションやディスカッションの参加度など）に基づき、評価を行う。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	中国語上級（読解）	張 政遠	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		香港の歴史と文学 香港の歴史と文学を読む				
成績評価方法		平常点 100%				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要		正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようになる。 成績評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。／Will distribute handouts 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN	
成績評価方法			
教科書			
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50810	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50820	木 4	GRECKO Valerij	1 年 文三(4)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50911	A	ロシア語初級（演習）[高度]	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週3 コマ（インテンシヴ2 コマ+演習1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50912	A	ロシア語初級（演習）② [高度]	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという4つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテキストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週3 コマ（インテンシヴ2 コマ+演習1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、小テスト プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	ロシア語初級（作文）	居阪 僚子	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語作文初級 ロシア語作文の練習を通じて、ロシア語能力の向上を目指します。また、ロシア関係の文学作品や映像作品、音楽作品などに触れることで、総合的なロシア語能力を強化することも目標とします。				
成績評価方法		平常点（50 点：宿題の実施状況、授業への取り組みなど）及び学期末の試験（50 点）を目安とし、総合的に判断します。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50174	A	ロシア語初級（インテンシヴ）〔高度〕	Ekaterina Gutova	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）〔高度〕 インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。2 コマセットで履修すること（月曜日 5 限と水曜日 5 限）。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。				
成績評価方法		授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	ロシア語初級（インテンシヴ）〔高度〕	Ekaterina Gutova	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）〔高度〕 インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。2 コマセットで履修すること（月曜 5 限と水曜 5 限）。 ※この授業は、2024 年度入学者までを対象に実施されていた TLP の後継プログラムである GLP-II の対象科目です。旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ（インテンシヴ 2 コマ＋演習 1 コマ）履修により、旧 TLP の時と同程度の到達度に至る事を目標とします。				
成績評価方法		授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50857	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	小手川 将	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語の初級文法をある程度習得した学生を対象に、必修クラスの内容を補足しながら、ロシア語をより実践的に読み書きする能力を伸ばしていくことを目指します。				
成績評価方法		授業への取り組みと課題等をあわせて総合的に評価します。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51064	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	Ekaterina Gutova	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目	ロシア語初級インテンシヴ					
授業の目標概要	ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。 ※「初級インテンシヴ」はかならず週 2 回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。					
成績評価方法	授業態度、宿題提出状況、小テスト、口頭試験による総合評価。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50931	A	ロシア語初級（第三外国語）	大崎 果歩	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 基礎的なロシア語文法を一通り学び、辞書を引きつつ平易な文章を読めるようになることを目標とします。 平常点（出席、宿題への取り組みなど）、小テスト、および期末テストの結果で評価します 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒田龍之助 ニューエクスプレスプラス ロシア語 白水社 9784560068472 Sセメスターと同じ教科書を使用します。 ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50644	A	ロシア語中級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（中級） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でもよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		※ロシア語を 1 年以上学習した者を対象とする。 平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50838	A	ロシア語中級（作文）	小手川 将	ロシア語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（作文） ロシア語のテキストを読み解きながら、これまでに習った基礎文法を実践的なしかたで捉えなおして、使える語彙や構文、慣用表現を増やし、読んだ内容をロシア語で書きまとめられるようになることを目指します。				
成績評価方法		授業の参加状況・課題提出状況などをもとに総合的に判断します。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50353	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	ロシア語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語論文購読 ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読む力を養うことを目標とする。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。				
成績評価方法		1. 授業への貢献度、担当箇所との和訳の完成度。 2. 学期末レポート。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50659	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	居阪 僚子	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語文章読解 ロシア語の基礎文法を学んだ受講者を対象とし、論文や文学作品などの文章をロシア語で読むことで、文法知識を実際に活用する技術を身につけていくことを目的とした授業です。必要に応じて、発展的な文法知識も解説します。				
成績評価方法		平常点（宿題の実施状況、授業への取り組みなど）を評価基準とします。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51047	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	Ekaterina Gutova	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				
成績評価方法		授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	ロシア語上級（会話）	Ekaterina Gutova	ロシア語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語上級（会話）／ Russian Language (Advanced) ネイティブ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 Занятия с преподавателем-носителем языка направлены на развитие навыков аудирования и говорения продвинутого уровня, а также на формирование способности вести беседы и дискуссии на поднятые темы. ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、ロシア語を「既習外国語」として選択した学生のみ履修できます。「初修外国語」としてロシア語を履修した学生は履修できませんので注意してください。				
成績評価方法		授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 Активное участие в занятиях и выполнение домашних заданий будут учитываться для комплексной оценки.				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50414	A	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、ロシア語を「既習外国語」として選択した学生のみ履修できます。「初修外国語」としてロシア語を履修した学生は履修できませんので注意してください。 平常点（授業中の発言、発表）、宿題、レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L スペイン語

スペイン語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要		共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。	
成績評価方法		各担当教員に任せられている。	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook	
		書名 『Brújula-スペイン語学習の羅針盤』	
		著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会	
		出版社 朝日出版社	
		ISBN 978-4-255-55111-1	
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50022	月 2	松田 葉月	1年 文一二(7)
50126	月 4	タランコ ダビド	1年 文三(10)
50308	火 3	タランコ ダビド	1年 文一二(10)
50309	火 3	松田 葉月	1年 文一二(11)
50401	火 4	タランコ ダビド	1年 文一二(9)
50509	水 2	松田 葉月	1年 文一二(8)
50597	水 3	松田 葉月	1年 文三(7)
50821	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文三(8)
50822	木 4	松田 葉月	1年 文三(9)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	スペイン語初級（演習）[高度]	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado) コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					
成績評価方法	旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。					
教科書	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.					
ガイダンス	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces. 教科書は使用しない。／Will not use textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2 (3ª edición) (総合スペイン語コース中級 三訂版) 朝日出版社 978-4-255-55177-7 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50932	A	スペイン語初級（演習）	Gregory Zambrano	スペイン語	金 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（演習） この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。					
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30%					
教科書	欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Justified absences up to 3 times. Inasistencias justificadas hasta 3 veces. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 Brújula-スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 9784255551111					
ガイダンス	大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入しておいてください。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	スペイン語初級（演習）② [高度]	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級インテンシヴ [高度] /Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado) コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.					
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30%					
教科書	欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces. 教科書は使用しない。/Will not use textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2 (3ª edición) (総合スペイン語コース中級 三訂版) 朝日出版社 978-4-255-55177-7					
ガイダンス	第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	スペイン語初級（会話）	若林 大我	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Zoom を用いたメキシコの大学生との会話 Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。					
成績評価方法	受講者は、1 月初頭までに自分の好きなテーマについて 3 分程度のスペイン語の動画を作成する。UNAM 側の受講者も日本語のビデオを作成する。東大受講者の動画は UNAM 教員が、UNAM 受講者の動画は若林がそれぞれ評価する。1 月初旬に動画を鑑賞し合う機会を設ける。動画の評点に、毎回の授業への参加状況を加えて成績をつける。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。/Will not use textbook 第一回授業日に行う。/Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50858	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語（初級会話） 練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。					
成績評価方法	その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。					
教科書	平常点（授業期間内のレポート・テストなども含む）					
ガイダンス	プリントを配布する。/Will distribute handouts 特に行わない。/Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51065	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。					
成績評価方法	スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.					
教科書	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.					
ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 東京大学教養学部スペイン語部会 “BRÚJULA. Primer curso de español” スペイン語初級 朝日出版会 978-4-255-55111-1 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50839	A	スペイン語初級（作文）	内田 兆史	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	日本語をスペイン語にする技術を磨きます。 日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語の構文、とくに日本語との相違に注意を払うことでもあります。文法をを見据えた作文の授業にしていきます。					
成績評価方法	授業前提出課題 20%、毎週の小テスト（作文） 40%、期末テスト 40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木越勉、古川亜矢 表現のためのスペイン語作文 朝日出版社 9784255550862					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50168	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	タランコ ダビド	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	スペイン語初級（会話） 必修スペイン語に加え、より集中的に学習したい学生のためにインテンシヴクラスを開講する。初学者に必要とされる基礎的な表現、文法、語彙の定着を図るとともに、会話練習を中心に個人やグループでのアクティビティを通じて実践的なコミュニケーション能力を養う。授業はネイティブスピーカーの教員が担当する。					
成績評価方法	平常点(クラス参加, グループ作業の成果等): 30% 中間試験: 30% 期末試験: 40%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50859	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	タランコ ダビド	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級（作文）					
授業の目標概要	必修スペイン語に加え、より集中的に学習したい学生のためにインテンシヴクラスを開講する。初学者に必要なとされる基礎的な表現、文法、語彙の定着を図るとともに、作文練習を中心に個人やグループでのアクティビティを通じて実践的なコミュニケーション能力を養う。授業はネイティブスピーカーの教員が担当する。					
成績評価方法	平常点(クラス参加, グループ作業の成果等): 30% 中間試験: 30% 期末試験: 40%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	スペイン語初級（インテンシヴ）[高度]	Gregory Zambrano	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)					
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.					
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30%					
教科書	欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 3º edición. ISBN 978-4-255-55177-7					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51072	A	スペイン語初級（インテンシヴ）[高度]	Gregory Zambrano	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)					
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.					
成績評価方法	小テストと期末テスト 70 点 Exámenes parciales y examen final: 70% 平常点 30 点 Participación y tareas: 30%					
教科書	欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 3º edición. ISBN 978-4-255-55177-7					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50210	A	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	1 年間で学ぶスペイン語 この授業は、これまでスペイン語を学んだことのない学生を対象とし、1 年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。S セメスターと A セメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかarだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 A セメスターの授業では、S セメスターで学んだ現在形～過去形の復習から始め、接続法までを含むひと通りのスペイン語の文法体系全体を学び終えることを目指します。 小テスト（上記授業計画の★印） 10 点×5=50 点 期末試験（最終授業日） 50 点 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	スペイン語初級（第三外国語）	石橋 純	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	スペイン語の基礎を学びます。 スペイン語文法の概要を学びながら、その運用能力の向上をはかる。 毎回の小テスト、学期末授業中に行うまとめの大テストの総合点で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 Brújula：スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50840	A	スペイン語中級（演習）	アルバロ ベラル ヒガンテ	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Conversación en español スペイン語での会話 El objetivo fundamental del curso es que los estudiantes adquieran habilidad y seguridad en la interacción oral en español y puedan tener conversaciones con un hispanohablante sobre diferentes temas. 本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、さまざまなテーマについてスペイン語話者と会話できるようになることを目指します。 Usaremos el presente, el pasado y el futuro. Esto, además, ayuda a los estudiantes a mejorar las otras competencias del idioma: la comprensión auditiva, la comprensión lectora y la expresión escrita. 現在形、過去形、未来形を使っていきます。さらに、補足的に、リスニング能力、読む能力、書く能力も身につけます。					
成績評価方法	Examen final 40% Deberes 20% Participación en clase 40% 最終試験 40% 宿題 20% 授業への参加率 40% El profesor evalúa la habilidad de las estudiantes para tener conversaciones de diferentes temas en español. Es importante la fluidez, la comprensión auditiva, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. 教員は履修者のスペイン語でのさまざまなテーマでの会話能力を評価して成績をつけます。 El profesor evalúa estos aspectos en las tareas de conversación diarias de clase. 授業における課題を通じて、履修者のこれらの能力を評価します。 El profesor también evalúa la habilidad de las estudiantes para escribir composiciones en español. Es importante la ortografía, el uso correcto de la gramática y del vocabulario. El profesor evalúa también las tareas diarias y la participación en clase. 教員は履修者のスペイン語作文能力を評価して成績をつけます。毎回の課題と、授業への参加も評価対象です。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Moyano Juan Carlos, Yoldi María, Rubio Raquel, Vivancos Josefa Entre amigos 2 Editorial Asahi					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51048	A	スペイン語中級（会話）	Gregory Zambrano	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	Curso de Español Intermedio: “El mundo hispanoamericano a través del cine”. En este curso, los estudiantes podrán conocer aspectos de la vida de América Latina a través del cine. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas hispanoamericanas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción.					
成績評価方法	También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español. Conversación y composiciones (ejercicios de escritura de reseñas): 50% Participación activa en clase: 20% Presentación y reporte final 30%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	スペイン語中級（作文）	豊田 唯	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	スペイン語を理解するための単純な文法説明と和文西訳演習					
授業の目標概要	初級・中級レベルの独学しづらい文法項目を説明し、和文西訳演習をとおして理解の定着を図ります。					
成績評価方法	小テストの点数に授業への貢献度などを加味して評価します。					
教科書	なお、受講生として不適切な言動（私語、無断退出、内職など）をとった場合には即座に素点を 0 とします。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木村琢也、中西智恵美 新訂版・スペイン語作文中級コース 同学社 978-4-8102-0437-7					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50550	A	スペイン語中級（読解）	丸山 共恵	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを教材として使用し、基本的な文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。					
授業の目標概要	ニュースを聞き取るために理解するために必要な文法(S セメスペイン語 1 列の復習から接続法)を確認し、語彙を増やし、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12 回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解力を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。					
成績評価方法	毎回の小テスト（文法と語彙中心）/出席 /課題 60% 期末テスト 40%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島聡子 著/ 佐藤佐知 著/ David Taranco ニュースで学ぶ中級スペイン語 [改訂版] 三修社 978-4-384-42021-0 C1087					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50860	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュースや曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしよう。また、短篇の最終段落や長篇の第一段落を読んでラテンアメリカの文学にも触れてみよう。					
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					
成績評価方法	リスニングを含めた課題提出 40%、予習に基づいたテキスト読解 40%、期末課題 20%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	使用しない 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50551	A	スペイン語上級（演習）	タランコ ダビド	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Español avanzado Este curso tiene dos objetivos principales: 1. Competencia lingüística: consolidar los conocimientos previos, ampliar el vocabulario y potenciar la comunicación oral y escrita. 2. Desarrollar destrezas para comprender diversos aspectos del mundo hispanohablante y establecer comparaciones con Japón.				
成績評価方法		Participación en clase: 25 % Presentaciones y redacciones de clase: 35 % Examen/presentación final: 40 %				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50801	A	スペイン語上級（会話）	松田 葉月	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Noticias sobre el mundo hispano Este curso tiene el objetivo de profundizar el conocimiento sobre la realidad actual de América Latina a través de los medios de comunicación. Ampliaremos el vocabulario y ejercitaremos diversas expresiones de opiniones y valoraciones mediante el intercambio de ideas en grupo y redactando breves composiciones.				
成績評価方法		Presentaciones: 70 % Ensayo final: 30 %				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50744	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		スペイン語による作文の授業 Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。				
成績評価方法		授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。 評価方法：授業への参加状況、授業内で作成・提出する作文の内容を総合的に評価する。				
教科書		Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Arturo Escandón Trivium. Manual de composición escrita Liberas Press 978-4-909580-02-3 書名:Trivium. Manual de composición escrita 出版社:Liberas Press ISBN: 978-4-909580-02-3				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

総合科目 L 韓国朝鮮語

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	韓国朝鮮語初級（演習）〔高度〕	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習）〔高度〕 この授業は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する過 3 コマ履修により、同程度の到達度 に至る事を目標とする。韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用 のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の 授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝 鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	★★★〔高度〕科目の履修希望者は、必ず下記の「履修上の注意事項」を読んでください。 平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 4	1 年 文一二(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習） この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さ まざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に 合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用 能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：20%、中間試験：20%、期末試験：60% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 80%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	韓国朝鮮語初級（演習）②〔高度〕	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習）〔高度〕 この授業は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する過 3 コマ履修により、同程度の到達度 に至る事を目標とする。韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用 のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の 授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝 鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	★★★〔高度〕科目の履修希望者は、必ず下記の「履修上の注意事項」を読んでください。 平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50336	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文三(5)
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（演習） この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：20%、中間試験：20%、期末試験：60% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 80%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。					
教科書 ガイダンス	プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	睦 俊秀	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力を身につける。					
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 ※活動中心の授業のため、1/3 以上の欠席は成績評価の対象外とする。					
教科書	※30 分以上の遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとする。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 李順蓮 /朴珍姫 /金菊熙 とくとく韓国語 1 朝日出版社 978-4-255-55715-1					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51126	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）[高度]	尹 恵貞	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	[高度] 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。					
成績評価方法	[高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を確認すること。 平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書 ガイダンス	授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51127	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）[高度]	尹 恵貞	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		[高度] 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 [高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を確認すること。				
成績評価方法		平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 必ず「履修上の注意」を読んだ上で受講を検討してください。				
成績評価方法 教科書		課題、小テスト、期末テスト 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島仁ほか 新・韓国語へのとびら 朝日出版社 9784255556772				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50415	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 庚 芬	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級（第三外国語） 本授業は、A セメスター始まりの授業です。初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用の基礎を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、UTOL を通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。 また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授業後の学習内容の復習を持続することをお勧めします。 https://youtube.com/playlist?list=PL0OYQWCBVXi-YUEH08O4V_F1l1BOzeBA7				
成績評価方法 教科書		受講態度・授業への取り組み 10%、小テスト＆課題：10%、期末試験（筆記・口頭）80%を目安に総合的に評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬・丁仁京 チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1 朝日出版社 9784255557021				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50416	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級 本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は、ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法（特にへヨ体の作り方）を事前に学習することが望ましい。 授業は「韓国朝鮮語のみ」で行う。					
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：35%、期末試験：35% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 李英蘭・朴天弘 63 文型で学ぶ初級韓国語 博英社 978-4-911347-09-6					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50861	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	鄭 宇鎮	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語初級（第三外国語）／ Korean Language (Introductory) 韓国朝鮮語は、語順が日本語と似ている上に、共通する漢字語も多いので、日本語母語話者や日本語学習者にとって取り組みやすい言語です。ただ、そうは言っても、手を抜かずに努力をしなければならないことは、他の言語の場合と同じです。 この授業では、(1) 文字・発音の習得に力点をおきながら、(2) 簡単な日常会話を通して、基礎的な文法事項を学びます。					
成績評価方法	毎回の小テスト、中間試験、期末試験、平常点（出席、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末の作文課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬 /丁仁京 チンチャ! チョアヘヨ!! 韓国語 1 朝日出版社 978-4-255-55702-1					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50614	A	韓国朝鮮語中級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	共通韓国朝鮮語（2） 韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展させていく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。					
成績評価方法	期末課題と平常点（課題、発表、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※活動中心の授業のため、1/3 以上の欠席は成績評価の対象外とする。 ※30 分以上の遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとする。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50552	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	河崎 啓剛	韓国朝鮮語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級 基礎を終えた受講者を対象とし、中級・上級文法を学ぶとともに、漢字音を学んで語彙力の体系的強化を行う。後半では読解やプレゼンテーションを行い、知識の運用を通じた定着を図る。				
成績評価方法 教科書		定期的な小テスト、発表、授業への取り組み等 教科書は使用しない。／Will not use textbook 伊藤英人『韓国漢字音トレーニングブック』白水社、ISBN978-4-560-09935-3 伊藤英人『コリア語中級教材』(非売品、PDF 配布)				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50417	A	韓国朝鮮語中級（読解）	月脚 達彦	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国の歴史教科書を読む 韓国の検定高等学校『韓国史』を読むことにより、平易な論説文を確実に読解する能力を身に着ける。また、日韓の歴史教育について自ら考える能力を身に着ける。				
成績評価方法 教科書		授業での貢献度、およびレポートによって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（インテンシヴ） 本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙を学んでいく。具体的には、主に中級文法の解説と練習を通じて場面に的確な表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「へヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。				
成績評価方法		平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と期末試験を総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51122	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	尹 恵貞	韓国朝鮮語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語中級（インテンシヴ） 本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙を用いて自分の考えを表現できることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「へヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。				
成績評価方法		平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50211	A	韓国朝鮮語上級（会話）	金 秀美	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語上級（会話） 中級まで習ってきた文法や表現などをさらにスキルアップして様々な場面で自由にコミュニケーションができることを目標とする。「聞く、話す、読む、書く」ことも同時に行いながら、自立したコミュニケーションがとれる人を目指す。					
成績評価方法	平常点（出席状況、授業態度）：4 0 % 課題（小テスト）や発表など ：6 0 %					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	授業の時、別途配布 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50802	A	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	韓国朝鮮語上級（作文） 本授業は、韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、韓国の社会、文化、政治、歴史など、あらゆる分野のテーマについて論理的でよく構成されている文の作成に取り組む。その上、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。					
成績評価方法	期末課題（発表）と平常点（出席、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の3分の1以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L イタリア語

イタリア語初級（演習）②		開講区分	A
授業の目標・概要		会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。	
成績評価方法		平常点と定期試験（最終授業時）。	
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time	
関連ホームページ		書名	
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること		著者（訳者）	
		出版社	
		ISBN	
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50029	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
50974	金 3	DANIELI Daniela	1 年 文一二(6)

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	イタリア語初級（演習）	USICCO Francesca	仏語・伊語	金 2	1 年 理科
講義題目		イタリア語初級演習（理科一類・二類・三類 1 年生のための演習） チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）				
授業の目標概要		本講座は、イタリア語の基礎からより実践的なコミュニケーション能力の習得まで、体系的な学習を提供します。イタリア語ネイティブ教員の指導のもと、文法知識の確実な定着と実践的運用能力の向上を目指します。 現代イタリアの日常生活や文化に関連した生きた教材を活用し、実際のコミュニケーション場面で必要となる言語スキルを総合的に育成します。ダ・ヴィンチ、ガリレオをはじめとする数多くの偉大な科学者を輩出してきたイタリアの言語を学ぶための、理科生向けの講座です。				
成績評価方法 教科書		最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		講師配布資料 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50354	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話 / Elementary Italian Conversation チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。 最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。				
成績評価方法 教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		講師配布資料 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50615	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話 / Elementary Italian Conversation チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。 最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。				
成績評価方法 教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		講師配布資料 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50645	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		イタリア語文法の基礎的な知識をつけながら、ネイティヴスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることを目指します。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				
成績評価方法		学生の評価は、学期末（最後の授業）の筆記試験だけでなく、各授業への積極的な参加状況（筆記および口頭）、出席率も考慮されます。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50841	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		イタリア語初級（作文） イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 平常点と期末試験（最終授業時に行います） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ディ・ルッソ、長神、西本 イタリア語練習問題集 白水社 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50418	A	イタリア語初級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		イタリア語初級（表現練習） 本講義では、イタリア語のライティング、リーディング、リスニング、スピーキングの四技能を総合的に磨くことを主目的とする。ネイティブスピーカーの講師による指導のもと、受講者の言語運用能力の向上を図る。また、受講者のニーズを踏まえつつ、イタリア文化をテーマとした多様な教材を用いて授業を進める。 授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50862	A	イタリア語初級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		イタリア語初級（表現練習）／ Italian Language (Introductory) イタリア語文法の基礎的な知識をつけながら、ネイティヴスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることを目指します。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。 授業中の参加と、学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	イタリア語初級（読解）	木崎 孝嘉	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		「世界文学の古典」を読みながらイタリア語を身につけることを目指します。 現代イタリア語の文法は、その知識があれば、現代語のテキストも古典的テキストも読めます。S セメスターまででに習得したイタリア語初級文法の定着をはかりつつ、テキストを丁寧に読みながら、イタリア読解能力の習得と、イタリア文化の真髄に直接ふれることを目指します。Italo Calvino の Fiabe Italiane からいくつかの短い笑い話を読みます。 平常点と学期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50660	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（インテンシヴ・コース） イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシヴコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、金曜 2 限に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。ネイティブスピーカーの教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に運用に重点を置き、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50934	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	木崎 孝嘉	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イタリア語初級（インテンシヴ） イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシブコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、水曜 5 限に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。日本人の教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に文法的な側面に注意をしながら、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。				
成績評価方法		成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。				
教科書 ガイダンス		出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50053	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		イタリア語の基本文法の理解。 基本文法の習熟と運用。 学期末試験（最終授業時） 教科書は使用しない。／Will not use textbook S セメスター時に使用した教科書の継続使用。 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50745	A	イタリア語初級（第三外国語）	横田 太郎	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級（第三外国語） 基本的な文法事項を理解すると同時に、できるかぎり多く生の言葉に触れることで、イタリア語に慣れ親しんでいきます。 出席、平常点（授業参加の姿勢）、適宜行う小テスト、最終回に行う期末テストにより総合的に判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 白水社 978-4-560-01763-0 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51066	A	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語初級（第三外国語） この授業では、イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。単なる文法知識のインプットにとどまらず、それを活用して実践的にアウトプットできる力を養います。 今学期の目標：教科書の第 5 課からスタートし、初級文法を修了すること。 対象とする受講生：第 1 課～第 4 課の初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）をすでに習得している方。独学でイタリア語を学ばれた方は、初回の授業時に教員へご相談ください。 ・平常点：（授業での積極的な質問や発言、授業後のフィードバックの提出、宿題・課題の提出） ・小テスト（各单元ごとに復習小テストを実施） ・プレゼンテーション（イタリア語でのプレゼンテーション） で総合的に判断します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 白水社 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語中級（会話） 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使い、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。 学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50646	A	イタリア語中級（会話）	Diego Martina	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語中級（会話） 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを旨します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。 学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50842	A	イタリア語中級（作文）	USICCO Francesca	仏語・伊語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語中級（作文） 文法の理解を深め、作文を通してイタリア語の運用力を高める 初級段階のイタリア語を一年間学んだ学生を対象に、中級レベルの文法と作文を学びます。作文に重点を置きながら、文法の理解を深め、さまざまな場面でイタリア語を実際に使うための運用力を高めることを目指します。辞書を活用しながら、ある程度複雑な内容のイタリア語を読み、書き、聞き取り、表現できる力を身につけることを目標とします。 成績評価は最終試験の結果のみに基づくのではなく、授業への参加状況および積極性などの平常点も総合的に考慮して行う。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50451	A	イタリア語中級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語中級（表現練習） 本講義では、イタリア語のライティング、リーディング、リスニング、スピーキングの四技能を、中級レベルにおいて総合的かつ発展的に高めることを主目的とする。 ネイティブスピーカーの講師による指導のもと、より自然で適切な表現を用いた実践的な言語運用能力の向上を図る。 また、受講者のニーズを踏まえつつ、イタリア文化をテーマとした多様な教材を用い、読解・表現・意見交換を中心とした授業を行う。 授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	イタリア語上級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語上級（演習）／ Italian Language (Advanced) すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です 授業中の参加と、学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50647	A	イタリア語上級（作文）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	イタリア語上級作文（Lingua italiana - composizione di livello avanzato） イタリア語で学術的な文章を書く訓練をするコースです。 アカデミックな文章を書くのは簡単なことではありませんが、他の言語で書くとなると、その難易度はさらに上がります。 イタリア語で作成される論文について、引用の仕方、注のつけ方などを学ぶほか、論文の中で良く用いられる決まった構文や言い回しについても学んでいきます。 授業中に提出された課題と期末テストによって評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 講師配布資料 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51049	A	アラビア語初級（第三外国語）	荏谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		アラビア語初級（第三外国語） アラビア語の基礎的な文法を解説します。今年度の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。 各課の課題と学期末に行う試験で評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 978-4-475-01838-8 2009 年 2 月刊行の第 6 版以降（誤植等訂正済み）を推奨します。 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	アラビア語中級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アラビア語中級（第三外国語）・共通アラビア語（3） 母音符号のないアラビア語を辞書を引きながら読めるようになることを目指します。 ニュース記事や、アラブ圏の教科書（小学6年～中学3年くらいまで）、比較的平易な短編小説などを扱う予定です。 最初の数回のみ母音符号付きのアラビア語を扱いますが、基本的には母音符号の付いていない読み物を講読します。 原則として初級文法を一通り終えた方が対象ですが、なるべく既習文法や語彙を確認しながら進めます。 授業内での発表などによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50935	A	アラビア語中級（第三外国語）	荻谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アラビア語中級（第三外国語） 正則アラビア語のテキストを講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短いアラビア語テキストを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。 担当となった箇所の訳読などによります。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語初級 B インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「現代標準ヒンディー語」を学びます。 現代標準ヒンディー語の基礎文法を理解し、更に学習を進めていくことができるレベルに至ることがこの授業の目標です。				
成績評価方法 教科書		試験を行い、その合計点で評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook R. Snell and S. Weightman Complete Hindi Teach Yourself Books				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50746	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヒンディー語（中級） インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。				
成績評価方法 教科書		前半は毎回の小試験によって、後半はテキストの理解度（予習・復習）によって評価を行います。 プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50803	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners) インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。				
成績評価方法 教科書		A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。 学期末テスト 教科書は使用しない。／Will not use textbook テキストは UTOL にて PDF を配布する。				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50843	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。				
成績評価方法 教科書		演習の内容により評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook プリント/PDF を配布				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50169	A	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ベトナム語入門 2 S セメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。 授業参加と課題提出および定期試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三上 直光 『ニューエクスプレス ベトナム語』 白水社 ISBN-13 : 978-4560067888 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51050	A	ベトナム語中級（第三外国語）	岩月 純一	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		ベトナム語文献講読 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。 授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50616	A	広東語初級（第三外国語）	吉川 雅之	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		香港広東語の入門と初級（Hong Kong Cantonese for Beginners） 広東語は香港と澳門（マカオ）で第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中華圏の言語の中では現代標準中国語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。 1. 期末試験、小テスト、平常点から算出します。 2. 平常点については授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 3. 小テストは随時行います。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉川雅之 香港粵語〔基礎会話〕 白帝社 978-4-86398-094-5 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50648	A	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること――すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				
成績評価方法		期末にレポートの提出を課す。				
教科書		以下「履修上の注意」「学習上のアドバイス」を参照せよ。 教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		教科書は使用しない 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50649	A	上海語初級（第三外国語）	李 佳梁	中国語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語既習者のための上海語入門 本授業では、中国語共通語をすでに学習した学生を対象に、上海語の基礎的な発音・語彙・文法・会話表現を学ぶ。上海語は呉語に属し、普通話とは音声面で大きく異なる一方、語彙や文法には普通話と共通する部分も少なくない。本授業では、普通話との共通点と相違点に注意しながら、上海語の基本的なしくみを理解し、簡単な会話文を読解・音読できるようにすることを目指す。				
成績評価方法		到達目標 ・上海語の音韻体系、声調、連続変調の基本を理解する。 ・教科書に示されたローマ字表記を見て、基本的な上海語の語句・文を音読できる。 ・普通話との対応関係を手がかりに、上海語の基本的な語彙・文法を理解する。 ・上海語と普通話の違いを、音声・語彙・文法の観点から簡単に説明できる。				
教科書		成績評価は、授業への参加状況、音読練習・応用練習への取り組み、授業内課題、小テスト、期末課題等を踏まえ、総合的に判断する。				
ガイダンス		その他。／Other 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50650	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ペルシア語テキスト講読 1) 辞書や文法書を参照しながら、中級程度のペルシア語テキスト・資料の読解方法を習得する。 2) 読解に必要な文法の習得と復習を進める。 3) 授業内でペルシア語会話を活用し、ペルシア語の文と言い回しに慣れる。 4) You Tube の対談番組を活用して、リスニングと文法練習を試みる。				
成績評価方法		授業への参加と期末試験に基づいて、総合的に評価する。				
教科書		期末試験は、辞書・文法書持ち込み可のテキスト読解（和訳）試験を予定。				
ガイダンス		その他。／Other ペル日辞書・ペル英辞書を貸出する。文法書と読解テキストは U-TOL で配布する。 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51067	A	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セルビア・クロアチア語(初級) セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能力を身につけることを目標とする。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常点による。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	ポーランド語初級（第三外国語）	福島 千穂	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポーランド語初級／Polish Language (Elementary) ポーランド語の基本文法、基本の語彙を学び、運用能力の土台をつくることを目標とする。 ポーランド語の正書法、格変化や活用は複雑であり、これらを理解し身に付けることが学習の要となる。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平素の授業への取り組み姿勢＋学期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井哲士朗、三井レナータ、阿部優子 『ニューエクスプレス+ ポーランド語』 白水社 978-4-560-08849-4 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	タイ語初級（第三外国語）	櫻田 智恵	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		タイ語／Thai language S セメスターからの継続です。原則として、S セメスターを履修した学生にのみ受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を有すると教員が判断した場合、A セメスターからの履修も認めます。事前に教員にメールで連絡し、ご相談ください。 A セメスターでは、最初に S セメスターでの学習内容を復習した上で、より実践的な表現や読解力を身につけることを目指します。最終的には、新聞の一面を、辞書を自分で引きながら長文読解ができるようになることを目指します。 タイの新聞の記事構成やホットイシューなどについても触れながら、楽しく学習をすすめましょう。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		宿題 20%、各小テスト／中間試験 20%、期末試験 60%。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ポルトガル語の基礎 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、UTOL で配布します。 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50844	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ポルトガル語の基礎 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。なお、ポルトガル語既修者の受講がない場合は初心者への受講も可能です。 出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 教員が PDF もしくは PowerPoint 形式で用意し、UTOL で配布します。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	台湾語初級（第三外国語）	多田 恵	中国語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	台湾語初級／ Taiwanese (Fukienese) Language (Introductory) 「台湾語」とはこの 400 年の間、福建南部からの移民により台湾に伝えられ、現在台湾で約 1600 万人の母語話者人口を持つとされる重要な言語である。東南アジアにも起源を同じくする言語ないし語彙が広がっている。台湾の複雑な歴史と社会を反映して日本語や中国語からの影響が混ざり合い、社会言語学的に興味深い。民主化を進めてきた台湾では現在歴史を見直す機運が高まっている。そのような文脈で台湾語にも関心が集まっている。 この授業は、台湾語入門の修了者もしくは同等の能力を持つ者を対象とし、台湾語の談話の構造、また、文と文を組み合わせて複雑な内容を伝え・理解する能力を習得することを目指す。 課題 30% 試験 70% 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 陳麗君・蔡承維・林虹瑛・三尾裕子 『台湾語入門 平成 2 4 年度言語研修 台湾語研修テキスト 1』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 978-4-86337-118-7 オンラインで無料入手可：https://www.aa.tufs.ac.jp/projects/training/ilc/20121/ 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50938	A	モンゴル語初級（第三外国語）	谷川 春菜	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	モンゴル語 本授業は、前学期履修者を前提とした授業です。 モンゴル語は、モンゴル国や中国の内モンゴル自治区のほか、ユーラシア大陸の広い地域で話されている言語です。表記や発音などには地域差があり、例えば表記については、モンゴル国では主に横書きのキリル文字、内モンゴルでは縦書きのモンゴル文字が使われています。 本授業は、キリル文字およびモンゴル文字で書かれたモンゴル語の初歩的な読解能力を身につけることを目標とします。具体的には、【第 2～5 回】前学期に学んだ文法事項や辞書の引き方を復習しながら、キリル文字で書かれた短いニュース記事の読解に取り組み、【第 6～9 回】モンゴル文字の書き方を習得したうえで、【第 10～12 回】モンゴル文字で書かれた短いニュース記事の講読に取り組む予定です。記事の内容に関連して、モンゴルの文化についても紹介します。 受講姿勢：50% 教場試験：50% プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50355	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	現代トルコ語初級文法入門2 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。 教科書練習問題による課題の提出と、学期末に課される試験の成績をもとに評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 東京外国語大学生生活協同組合出版部 978-4-903386-18-8 一般書店では市販されていないので生協書籍部で購入すること 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50419	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	トルコ語中級文献講読2 文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。 学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき） 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。 平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水谷智洋 『古典ギリシア語初歩』 岩波書店 4000008293 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語初級（後半） Elementary Greek (second half)					
授業の目標概要	※当授業は S セメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：私の担当する「古典語初級（ギリシア語）Ⅰ」）の続きである。これを履修していない場合、その内容を自習しておく必要がある。A セメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている。S セメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと。S セメスターで使用したテキストは、UTOL 上に当授業のコマが設定され次第載せるので、A セメスターからの受講者は確認しておくこと。					
成績評価方法	I. 目標 初級文法を一年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた文章を、辞書と文法書を使えば読めるようにする。					
	II. 概要 A セメスターの授業の主な内容は次の三つである。 A. 動詞の活用を覚える。 B. 単文の主要な構文を覚える。 C. 複文の主要な構文を覚える。					
教科書 ガイダンス	I. 概要 練習問題・原典講読の発表状況（70 点） 小テスト（30 点） S セメスターとは異なり、学期末試験は実施しない。練習問題・原典講読のうち、授業時間内に扱えなかったものはレポートとして提出してもらい、UTOL 上でフィードバックを行うことがある。その場合の配点は練習問題・原典講読の発表状況のうちに含める。					
	II. 採点基準 おおむね次のようになるように採点を行う予定である。 50 点：形態をある程度理解しており、練習問題を解いてきている。 65 点：形態をだいたい理解しており、練習問題を解く際にそれを用いている。 80 点：形態をほぼ理解しており、構文や語法に注意して練習問題を解いてきている。 90 点：形態や構文、語法をほぼ正しく理解しており、自分の言葉で正しく説明できる。 練習問題を解く際は、単語の形態（名詞なら性・数・格、動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき、また構文や語法については教材のどの項目に説明があるかを調べておくこと上達が早い。すなわちそのようにすれば、練習問題をよく理解して解くことができ、ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる。単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ。逆に和訳がぎこちなかったとしても、形態や構文等について教材の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる。 III. 小テスト 小テストの内容は主に変化表の単なる暗記であり、90 分授業の時間外（105 分授業との差分）に各自で実施する形式である。そのため公平性を確保した上で厳密に採点することが難しい。したがって採点の際にはその点を考慮する。ただし小テストで扱う内容はいずれも暗記しているものとして授業を進めるので、その点に注意して取り組むこと。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50747	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典ギリシア語散文講読					
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。					
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	A	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語初級（Ⅰ）－名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。				
成績評価方法 教科書		平常点と試験。最後の授業で対面の試験を行う可能性を検討しています。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Hans H. Ørberg LINGVA LATINA PER SE ILLUSTRATA. PARS I: FAMILIA ROMANA; 別冊：LINGVA LATINA PER SE ILLUSTRATA. EXERCIT				
ガイダンス		複数の出版社があり、いずれのエディションも使えます。ネットで調べてください。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語初級 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。				
成績評価方法 教科書		最終日に行う期末テストに基づいて評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』白水社 ISBN978-4-560-01761-6				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50054	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ラテン語散文講読 初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業ではアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第4巻途中から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。				
成績評価方法 教科書		平常点に基づいて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6 プリントを配布する。				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	古典語初級（サンスクリット語）Ⅱ	加藤 隆宏	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	サンスクリット初級文法 (II) 古典サンスクリット語の初級文法を体系的に学び、平易なサンスクリット文を読解するための基礎的運用力を養成することを目的とする。A セメスターでは、動詞の活用および複合語を中心とする文法後半部を扱う。 サンスクリット語は、古代・中世インドにおいて宗教文献や学術文献の主要な言語として用いられ、仏教をはじめとする思想・文化を通じてアジア各地に大きな影響を与えてきた。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語と並ぶ重要な位置を占めている。サンスクリット語の学習は、古典教養の基礎を身につけることにもつながる。 授業は、文法事項の解説と練習問題による演習を組み合わせる。					
成績評価方法 教科書	授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook J.ゴンダ サンスクリット語初等文法 春秋社					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	語学としての漢文 中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。 この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。 この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的の一つとするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。					
成績評価方法 教科書	最終回の授業で行う持ち込みなしの確認テストと、丁寧に辞書を引いて作成するレポート（指定された文献の訳注）との、両方によって評価する。片方のみでは単位は出ない。さらに、通常の授業で行う小テスト等の状況を加味する。 その他。／Other 教材はプリントを配布する。漢和辞典を準備すること。これから準備するのであれば、『漢辞海』（三省堂）か『新字源』（角川書店）を勧める。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50170	A 1	日本語上級	大久保 雅子、本林 響子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A 1	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	口頭表現のアカデミック・スキルI（プレゼンテーション・ディスカッション）					
授業の目標概要	<授業の到達目標> ・事実や、根拠に基づいた意見を論理的に説明できる。 ・質疑応答や議論に積極的に参加し、協働して結論を導く。 ・収集、分析した資料や他者の意見によって視野を広げ、多角的な見方ができる。 ・コミュニケーション上の誤解がないよう相手や場に配慮しながら適切に表現できる。 <授業の概要> 日本語非母語話者である留学生を対象に、プレゼンテーション、ディスカッションにおけるアカデミック・スキルを伸ばすことを目的とする。テーマについて各自資料を収集し、考えを深め、授業では受講生同士による意見交換などの協働作業によって多角的な視点を持てるようにし、実践練習、まとめの発表、ふり返りを重ねる。文章構成や効果的な文型・語彙、日本語のコミュニケーションにおける適切な配慮を確認し、論理的で説得力ある表現力を習得する。"					
成績評価方法	最終プレゼンテーション 20%、プレゼンレポート 20%、ディスカッション 30%、ふり返りシート 10%、授業参加度（積極性など） 20%					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A 1	日本語上級	木村 政樹、本林 響子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その6					
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ること、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A 1	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ケーススタディの場面から学ぶ日本語の待遇表現(1)					
授業の目標概要	Formal Japanese Expressions through Case Study Contexts (1) 【授業の概要】 この授業は、あらたまった場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。モデル会話を中心に典型的な敬語表現や上級文型、慣用表現などに注目しながら授業を進める。具体的には、大学生活において求められる待遇表現を適切に用いることに加え、就職活動やビジネスなどの対人関係で今後必要となる敬語表現を身につける。特に、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学ぶ。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、敬語表現を積極的に用いることで会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。各場面における機能別のモデル会話を習得し、そのうえで状況に応じて即時的に対応するタスクやロールプレイ、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。必要に応じて、メール、口頭発表、研究調査に関する依頼文など、書き言葉における待遇表現についても指導、添削を行う。 【授業の到達目標】 ・日本社会で必要とされる敬語表現を、場面や関係性に応じて適切に使用することができる。 ・相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた敬語表現が理解できる。 ・学術的な場面だけでなく、就職活用やビジネス場面においても適切で円滑なコミュニケーションができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。					
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A 1	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・ライティングIーレポートを書くー					
授業の目標概要	この授業では、アカデミック・ライティングに必要な知識や技術を習得し、論理的な文章を書く力を向上させることを目標とします。 授業では、語彙、文体、表記、表現、構成など、大学でのレポートや論文を書くための知識を学び、論理的に相手に説明する表現法をペアワーク等も取り入れながら練習します。					
成績評価方法	最終レポート 40 %、授業時の課題 40 %、グループワークでの活動 20 %					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 大学生・留学生のための論文ワークブック くろしお出版 4-87424-127-1					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50910	A 1	日本語上級	奥川 育子、本林 響子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミックプレゼンテーションとディスカッション					
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。 学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。					
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、クイズ、発表					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特になし 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51068	A 1	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	ロールプレイで学ぶ待遇表現: 社会的関係を調整するコミュニケーション(1) Formal Expressions through Role-Play: Managing Social Relationships (1)					
授業の目標概要	【授業の概要】 この授業は、アカデミックな場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。特に、将来日本語を使用し仕事をしようと思っている、あるいはこれまでに日本語を使った仕事を経験した人を想定し、ロールプレイを中心に授業を進める。具体的には、あらたまった場面で必要とされる自然な敬語の言い回しに着目し、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学び、ビジネス日本語能力、社会人基礎力、社会的関係の調整能力の養成をめざす。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、待遇表現を用いることにより会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。あらかじめ準備された会話の再現ではなく、その場の状況に応じて即時的に対応するタスクや、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。履修者の希望に応じて、調査研究の協力依頼、学会発表と質疑応答など、学術的な場面での待遇表現も扱う。 【授業の到達目標】 ・敬語を単なる文法規則としてではなく、相手の立場、距離、役割、力関係といった社会的な関係性を調整する言語として理解し、具体的な場面に即してコミュニケーションを図ることができる。 ・場面や文脈に応じて適切な待遇表現を選択することができ、方略的に運用することができる。 ・アカデミック、ビジネスなどのあらたまった場面において、状況の変化や相手との関係性を踏まえ、適切な待遇表現を選択し、口頭と文章の両面で適切に運用することができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。 ・日本社会での人間関係の構築や調整の在り方を考察し、日本語の社会文化的特徴や疑問点、納得のできない点などについて自身の見解を述べ、他者と議論することができる。					
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ループリックを授業内で示す。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60005	A 2	日本語上級	大久保 雅子、本林 響子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation					
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。					
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60006	A 2	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	口頭表現のアカデミック・スキルII（ディベート） ＜授業の到達目標＞ ・資料、根拠に基づいた意見を論理的に説明できる。 ・他者の意見を的確に聞き、多角的な視点から分析、判断できる。 ・わかりやすく論理的に、かつコミュニケーション上の誤解がないよう相手や場に配慮しながら適切に表現できる。 ＜授業の概要＞ 多角的な視点に立って論理的に相手を説得できるようなディベートができることを目指す。テーマについて各自資料を収集して意見をまとめ、授業では受講生同士の意見交換や実践練習を行う。また、効果的な文型・語彙、日本語コミュニケーションにおける適切な配慮を確認する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	ディベート 60%、ふり返しシート 20%、授業参加度（積極性など）20% 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60072	A 2	日本語上級	木村 政樹、本林 響子	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代日本の童話を読む： その2 授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテキストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60073	A 2	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ケーススタディの場面から学ぶ日本語の待遇表現(2) Formal Japanese Expressions through Case Studies (2) 【授業の概要】 この授業は、あらたまった場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。モデル会話を中心に典型的な敬語表現や上級文型、慣用表現などに注目しながら授業を進める。具体的には、大学生活において求められる待遇表現を適切に用いることに加え、就職活動やビジネスなどの対人関係で今後必要となる敬語表現を身につける、特に、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学ぶ。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、敬語表現を積極的に用いることで会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。各場面における機能別のモデル会話を身につけ、そのうえで状況に応じて即時的に対応するタスクやロールプレイ、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。必要に応じて、メール、口頭発表、研究調査に関する依頼文など、書き言葉における待遇表現についても指導、添削を行う。 【授業の到達目標】 ・日本社会で必要とされる敬語表現を、場面や関係性に応じて適切に使用することができる。 ・相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた敬語表現が理解できる。 ・学術的な場面だけでなく、就職活用やビジネス場面においても適切で円滑なコミュニケーションができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。					
成績評価方法	積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ルーブリックを授業内で示す。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60078	A 2	日本語上級	大野 敬代、本林 響子	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アカデミック・ライティングII－説得力あるレポートを書く－ この授業では、アカデミック・ライティングに必要な知識や技術を高め、説得力のある論理的なレポートが書けるようになることを目標とします。授業では、構成ごとに書き進めたレポートを口頭発表し、最終レポートを仕上げます。 最終レポート 5 0 %、発表 2 0 %、グループワークでの活動 2 0 %、授業時の課題 1 0 % 授業中に指示をする。／Will specify at class time 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 大学生・留学生のための論文ワークブック くろしお出版 4-87424-127-1 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60079	A 2	日本語上級	奥川 育子、本林 響子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆 この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に付ける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査・分析・発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。 出席、授業参加度、課題、発表、レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 教科書は使用しない。 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60084	A 2	日本語上級	串田 紀代美、本林 響子	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	ロールプレイで学ぶ待遇表現: 社会的関係を調整するコミュニケーション(2) Formal Expressions through Role-Play: Managing Social Relationships (2) 【授業の概要】 この授業は、アカデミックな場面における口頭表現の運用能力を高めることを目的とする。特に、将来日本語を使用し仕事をしようと思っている、あるいはこれまでに日本語を使った仕事を経験した人を想定し、ロールプレイを中心に授業を進める。具体的には、具体的なビジネス場面が必要とされる自然な敬語の言い回しに着目し、相手との関係性、相手にかかる負担のレベル、話し手自身の立場や状況を踏まえた方略的な会話の進め方を学び、ビジネス日本語能力、社会人基礎力、社会的関係の調整能力の養成をめざす。授業では、敬語の「正しさ」や「正確さ」そのものよりも、待遇表現を用いることにより会話の目的を達成し、上下関係を含む相手との位置づけや心理的距離を調整する力の操法を重視する。あらかじめ準備された会話の再現ではなく、具体的な場面に応じて即時的に対応するタスクや、履修者が抱く疑問の解消につながる意見交換の機会を積極的に設ける。履修者の希望に応じて、調査研究の協力依頼、学会発表と質疑応答など、学術的な場面での待遇表現も扱う。 【授業の到達目標】 ・敬語を単なる文法規則としてではなく、相手の立場、距離、役割、力関係といった社会的な関係性を調整する言語として理解し、具体的な場面に即してコミュニケーションを図ることができる。 ・場面や文脈に応じて適切な待遇表現を選択することができ、方略的に運用することができる。 ・アカデミック、ビジネスなどのあらたまった場面において、状況の変化や相手との関係性を踏まえ、適切な待遇表現を選択し、口頭と文章の両面で適切に運用することができる。 ・待遇表現を通して日本語の社会文化的特徴を批判的にとらえることができる。 ・日本社会での人間関係の構築や調整の在り方を考察し、日本語の社会文化的特徴や疑問点、納得のできない点などについて自身の見解を述べ、他者と議論することができる。 積極的に授業に取り組む姿勢を最重視する。加えて、討論の参加姿勢と口頭パフォーマンスの成果、即興対応と方略的判断、書き言葉による待遇コミュニケーションを総合的に評価する。学期末には短いロールプレイテストなどを実施する。評価基準については、ループリックを授業内で示す。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	言語比較論	小野 秀樹	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	言語学の各分野から見る中国語・日本語（・英語）の対照研究に関する諸問題 現代中国語を主たる対象とする対照言語学（主として日中対照だが一部英語も含む）に関するトピックを、音韻論・形態論・語彙論・統語論・意味論・語用論の各分野からピックアップし、言語学に関する基礎的知識を習得しながら、各トピックにおける問題点や課題を検討しつつ、分析と考察を行なう。 平常点（毎回の授業時のリアクションペーパー）および期末試験の成績で評価する。 詳細については授業で説明する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook UTOL を使用して、資料やレジメをファイル形式で配布する（印刷したものは配布しない）。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	言語応用論	吉川 雅之	言語情報科学専攻	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	漢字音（中国語音）表記史概論 中国語を記す文字である漢字は表語文字であり、字形から（声調も含め）発音を窺い知ることは困難です。しかし、古代や近代に於いて漢字音を表記する方法が無かったわけではありません。また、近代以降はラテン文字をはじめとする表音文字を用いた発音表記方法が中国国内外で数多く考案されました。ラテン文字による表記の中には、その機能が漢字音の音写という次元を超越したものもあります。 この授業では漢字音を表記する方法の歴史を概観し、本学の学生として相応しい知識と思考力を身につけてもらうことを目標とします。蔵書目録や文献検索システムで目にするラテン文字表記がどの表記方法であるかを見極める力はその一つです。 尚、この授業で扱う漢字音は基本的に中国語のものです。但し、比較対象として中国語に隣接する言語のために考案された表記体系も取り上げることで、物事を相対化して考察する能力を身につけることを目指します。 以下のものにに基づきます。 ① 期末試験の評点、 ② 平常点（授業に対する積極性、授業中の課題に反映した習熟度・理解度）。 期末試験は本試験（試験期間中）実施を予定しています。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	批評理論	益 敏郎	言語情報科学専攻	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	批評理論の系譜学 この授業は批評理論入門講義である。 しかしさまざまな理論を通時的に確認する方法はあえて取らない。 むしろ、批評とは何か、文学とは何か、という問いを歴史的、制度的、概念的観点から紐解いて、批評理論がどのように生まれ、大学のカリキュラムに組み込まれるようなディシプリンとなりえたのかを検討し、これを通じて批評理論ならびに批評行為そのものの出発点を準備する。これが本授業の目標である。 その際に以下の二つの仮説を出発点とする。 （１）批評理論は、国民国家時代における世界の認識論的編成を説明する「文学史」に代わって台頭したディシプリンである。 （２）批評理論は、20 世紀以降の人文学の展開をもっともクリアに把握することのできる枠組みである。 この二つの仮説を検証しながら、批評理論が生まれた歴史的前提と展開を明らかにしつつ、同時に現代思想の大まかな地図を手に入れることを目指す。 参加者の人数に応じて調整するが、授業に対するコメントの内容、期末課題などを総合して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	文化横断論	小林 宜子	言語情報科学専攻	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史 時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12 世紀以降の 8 世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様を詳細に観察し、分析します。					
成績評価方法	グループ・ディスカッションへの取り組みと全体討議への参加の度合い、学期末試験の成績を評価対象とし、それらを含めて総合的に判断します。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook カズオ ・ イングロ（土屋政雄 ） 忘れられた巨人（ハヤカワ epi 文庫） 早川書房 978-4151200915					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	テキスト文化論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、ブロンテ、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フローベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが）、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました）。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読みたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（10月8日 授業形態は UTOL で連絡予定）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第2回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第2回の授業に突然来ても参加は認められない。参加型の授業なので傍観者をご勘弁。 発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席4回以上で期末レポートを提出する権利を失う。発表をしないことについても同様である。					
成績評価方法	発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席4回以上で期末レポートを提出する権利を失う。発表をしないことについても同様である。					
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	現代哲学	齋藤 幸平	哲学・科学史	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		2 1 世紀のマルクス主義 近年再評価が進んでいるマルクスやマルクス主義の思想について、多角的な観点から、その内容を検討していく。合わせて、資本主義についての理解を深めることを目指す。				
成績評価方法 教科書		リアクションペーパー（30%）、期末試験（70%） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook マルチェロ・ムスト（編） 『マルクス・リヴァイバル』 地平社				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	科学哲学	工藤 怜之	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学哲学入門 概要 いわゆる「英米系／分析系」の科学哲学の入門講義を行う。特に、科学は我々に知識を与えてくれるのか（それはいかなる意味においてか）という問題意識を動機を中心に据えて、科学哲学分野における基本的な概念や論点を学んでいく。 科学は人類に対してすばらしい知識をもたらしてきた、ように思われる。現代社会は、「科学的知識」なるものに特別な権威を認め、様々な実践においてそれを参照している。しかし、科学が知識をもたらしている、というのはいかなる意味においてか？あるいは、そう考える根拠を問われたら、どう答えたらよいだろうか？ 例えば、科学は実験や観察で得られた事実を基礎として、厳密な論理（あるいは数学）に従って理論を構築していると思うかもしれない。しかし、他方で、科学理論とは結局のところ「仮説」に過ぎない、ともよく言われる。既知の事実と科学理論との間には、常にある種の論理的飛躍があるからである。では、この飛躍は、論理的だとか、厳密だとか、客観的だとか言えるものののだろうか？ あるいは、科学は確固たる事実を基礎にしていると考えてよいのだろうか？科学理論の真偽は、実験・観察事実に基づいて白黒つけるべき問題であり、自説が事実と矛盾するのにその誤りを認めないのは科学的態度とは呼べない、と思うかもしれない。しかし、他方で、ある仮説と実験結果が矛盾するよう見えときでも、実験のほうに何か不具合があった可能性を考えるのは、ごくありふれた態度である（学生実験の場面を考えてみよ）。科学理論とそれが基づくとされる事実との関係は、それほど単純ではないのではないか？ さらに、科学の歴史を溯って考えてみると、ある時期に広く受け容れられていた理論が、後に他の理論に取って代わられるということが繰り返されてきたように思われる。科学史上にこのような断絶が見られるとしたら、科学は着実に人類の知識を蓄積させてきた、とは言えないことになる。さらに、現在の科学理論すら、後に別のものに取って代わられるという可能性は心配しなくてもよいのだろうか？ 以上で触れたような疑問をめぐって、科学哲学がどんな議論を行ってきたかを学んでいく。				
成績評価方法		目標 科学哲学の基本的な概念および論点を理解すること（自分の言葉で概念を説明したり、論証を構成したりできること）を目標とする。そのためには、言葉の使い方や主張の根拠を明確にすることに注意深くなる必要がある。 また、科学哲学者が（科学者にとっては必ずしも興味をひかないような）ある問題を立てるのはなぜなのか、といったことも理解してほしい（最終的にその価値観に同意することを求めるものではもちろんないが）。 科学哲学を学ぶことで、同時に、哲学とはどんなものかを、具体的トピックを通して知ることにもなるはずである。 学期末の筆記試験に基づいて評価する予定だが、履修者数が少ない場合はレポート試験に替えることもありうる。後者に替える場合は学期開始後の早い段階で決定し、説明する。				
教科書		UTOL を利用して、リアクションペーパーに相当するものも回収できるようにするつもりだが、提出は任意とする。提出しなくても成績評価にネガティブな影響はないが、提出すればポジティブに考慮する可能性がある。				
ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	現代思想	星野 太	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代思想（2001-2025） この授業では、およそ 2001 年から 2025 年までの現代思想の概説を行なう。 21 世紀に入っすでに四半世紀が経過した。この間に生まれた新たな思想は、20 世紀的な問題をそれぞれの仕方で継承することを試みた。その結果として生じたひとつの傾向が、实在論への強いコミットメントである。これは、思想的には「思弁的転回」、人類学的には「存在論的転回」などと呼ばれることもあるが、いずれにしても 20 世紀の哲学・思想が「言語論的転回 (linguistic turn)」を経たことへに対する、ある種のカウンターであるという点で共通している。 この授業の目的は、以上の（およそ 25 年間の）現代思想の特徴について、基本的な理解を獲得することである。そうした目的のもと、本授業では (1) 思弁的实在論、新しい唯物論、オブジェクト指向存在論といった近年の思想潮流について概説を行ない、あわせて (2) それぞれの潮流を代表する論者のテキストを講読・解説する。 詳細は「授業計画」を参照のこと。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験：100% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	記号論理学I（文科生）	浅野 将秀	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		記号論理学入門 本講義は古典命題論理と古典一階述語論理の統語論、証明論、意味論を理解することを目標とする。具体的には、形式言語の文法をふまえ自然言語で表現された文を適切に記号化すること、自然演繹の体系に基づいて証明図を構成すること、真理表やモデル、タブローを用いて推論の妥当性を判定することを学ぶ。講義後半には非古典論理についても若干触れる予定である。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		原則学期末テストで評価するが、状況に応じて小課題等を課す可能性がある。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	記号論理学II	秋吉 亮太	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ゲーデルの不完全性定理の数学的内容と哲学的含意 ゲーデルが 1931 年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義（無矛盾性プログラム）を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する（七、八回）。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺的な話題を紹介したい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末テストによって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	表象文化論	森元 庸介	表象文化論コース	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『アンナ』をめぐる フランスで 1966 年に制作された TV フィルム『アンナ』を取り上げ、ひとつの作品にセメスタひとつをまるごと費やしてどれぐらいのことを考えられるのか、道なかばで斃れるリスクは多分にあるが、表象文化論の実践／実験（のありうべきひとつのかたち）というつもりで授業をおこなってみたい。ただ、作品内容の把握——本当をいうと、これがけっこう自明ではないのだが——からいわゆる内在的な分析へ進もうとすれば、結局、さまざまな外在的要素を考慮することは避けがたく（両者を切り分けることなどもとよりできないので）、実際、授業のなかでは、同時代の映像作品（とりわけゴダールの諸作品、アントニオーニ『欲望』、クライン『ポリー・マゲーお前は誰だ』）、社会・思想的な文脈（とりわけギィ・ドゥポール『スペクタクルの社会』）、しかしまた文学史的なレフェランス（とりわけ 17 世紀の大説教家ボッシュエの説教、また、それを経由した「放蕩息子の帰還」という聖書的モチーフ）に言及することになろうし、もう少しプロソポグラフィックには主演を務めるアンナ・カリーナ、また、助演とともにサウンドトラックを担当したセルジュ・ゲンズブールらのキャリアを振り返らねばならない。つまるところ、脱線と飛躍の連続になるにちがいでなくて、その点、あらかじめご海容を乞う。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末レポート。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50118	A	美術論	桑田 光平	表象文化論コース	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 デザインを考える／デザインから考える 授業の目標概要 この授業では「デザイン」を単なる意匠や機能性としてではなく、近代における人間の生活様式の設計として考え直し、その視点から近代デザインの歴史を概観しつつ、デザインの観点から現代の諸問題について考察を試みる。また、建築、アート、ファッションはもちろんのこと政策、生活、ビジネスなどさまざまな分野で頻繁に目にする「デザイン」的思考について、社会の中で活躍するデザイナーたちの話を聞き、具体的な実践例から学ぶ。 成績評価方法 授業後のレスポンスシートと学期末のレポートによる評価 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50175	A	演劇論	針貝 真理子	表象文化論コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		演劇学概論 演劇を学問的に扱うには、どのようなアプローチをしたらよいのでしょうか。この授業では、ダンス、パフォーマンス、音楽劇等を含む広義の演劇を研究するための基礎についてお話しします。また、できるだけ多くの実践例を取り上げ、演劇実践と研究の接続についても意識的に触れながら進めていきます。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		リアクションペーパーの内容で判断します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	社会正義論	岡 真理	教養教育高度化機構	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		思想としてのパレスチナ 「かくも深く募ってやまない痛みを、あたかも単なる政治的問題のひとつであるかのように、二者間の「紛争」などと、そして双方が「競合する」と称される物語を抱えているなどとも言えたものだ。ジェノサイドは物語なのか？ 自由を追い求めることは紛争なのか？」——これはパレスチナ系アメリカ人のジャーナリスト、ラムズィー・パールードが 2024 年 5 月、76 回目のナクバ記念日に X にツイートした言葉です。反語疑問の形で、「パレスチナ問題」の今日的かつ歴史的な本質を端的に言い表しています。 2023 年 10 月 7 日以来、イスラエル占領下のガザ地区で起きている事態は、ジェノサイド条約が定義するジェノサイドにほかなりません。しかし、日本の主流メディアにおける報道は、その破局的事態の規模や内実に見合った質でもな				

	れば量でもありません。問題の歴史的根源を問うことなく、「ナクバ」以来続くパレスチナの民族浄化を維持する「文化的暴力」として機能しています。 合衆国をはじめ自由や人権や民主主義を掲げる西側諸国においては、紛うことなきジェノサイドと化した民族浄化に見舞われるパレスチナ人に連帯し、イスラエル国家やそのナショナル・イデオロギーであるシオニズムを批判する者たちが「反ユダヤ主義」のレッテルを貼られて弾圧されるという事態となっています。問題を歴史的に文脈化する営為自体が犯罪化され、学知の扼殺、認識の扼殺が進行しています。 パレスチナにおいて、そしてパレスチナをめぐる行使される歴史的かつ今日的な直接的暴力と構造的暴力、そして文化的暴力に抗う一歩として、パレスチナ問題の本質、歴史的根源と、パレスチナをめぐる問題の諸相を学びます。					
成績評価方法	平常点（適宜、課題を出します）および期末レポート ・ 正当な理由なき 5 回以上の欠席は不合格とします。 ・ 生成 AI の回答を流用して作成したレポートは、不正行為と見なします。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	比較文化論	松井 裕美	比較文学比較文化コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フランス美術史講義（近現代前衛美術におけるジャンルの越境） この授業では、1880 年代から 1970 年代までの 100 年間の近現代西洋の前衛美術の諸相を紹介します。主な地域としてはフランス、ジャンルとしては前衛的な視覚芸術を中心としながら、他地域の芸術関係性や、音楽・文学といった他ジャンルとの関係性についても考察の対象とします。 近現代の前衛美術は、それ以前の芸術との断絶という切り口から理解される傾向にありますが、実のところ、個々の作品にはそれぞれに異なる歴史的背景や同時代背景があり、単一の「歴史」や「意図」で語ることが困難な側面があります。 さらにこの時代は、視覚だけでなく、様々な感覚を刺激するような芸術的実践が、前衛芸術において展開されました。ここでは、次の 3 つの角度から近現代美術を語る基本的な手法を学ぶことを目的とします。 ① 個々の作品や作者の実践はどのような様式や運動と関わっているのか ② 個別的あるいは集合的な芸術実践は、どのような理論や制度と関わっているのか ③ 個別的あるいは集合的な芸術実践と歴史や社会との関連性はどのようなものか とりわけ③に関連して、消費社会やグローバリズム、戦争や植民地主義と芸術的諸動向の関係性についても検討します。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末レポート（70%）と平常点（30%） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51128	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	近代日本における出版・読書文化の大衆化 近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。					
成績評価方法	授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。 コメントシート、学期末レポートは英語で書いても構わない。 （The final grade for the course will be determined by evaluation in the following areas: class attendance and participation; weekly reaction papers; final paper. While the lecture will be de					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	比較文学	佐々木 悠介	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	映画「化」を考える：アダプテーション論への誘い この授業では、文学作品（広義の）の映画「化」の問題を扱う。目標は以下の二点である。 1) アダプテーション（＝翻案）論という分野はどのような分野なのか、世界の最新の研究動向も紹介しつつ、ひいては					

成績評価方法 教科書	それが比較芸術＜比較文学のなかでどのような位置づけにあるのか、そしてナラトロジー、ニューヒストリシズム、精神分析批評、ジェンダー論、ポストコロニアル批評、階級批評等々の（日本でも馴染みのあるほかの）批評理論とどのような関係にあるのか、ということを知ってもらう 2) 小説のほか、漫画、人形浄瑠璃といった広義の文学作品が映画化される際に何が起きているのか（行われているのか）ということ、具体的な事例を取り上げながら考える 各回のコメントシートなどの課題と、期末レポートを総合的に評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 今橋映子、井上健監修 比較文学比較文化ハンドブック 東京大学出版会 978-4-13-082047-9					
	ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50176	A	西洋思想史	廣野 喜幸	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物観の西洋思想史 日本は思想的に二重構造をもつ。日本古来の伝統的な思想と、特に明治期以降に咀嚼してきた西洋由来のそれである。つまり、伝統的思想と西洋思想が私たちを大きく規定している。したがって、西洋思想史について基本的素養をもつことは、今を生きる私たちにとって大きな意味をもつ。とはいえ、西洋思想史は実に広大な対象をもち、その大枠を広く浅く学ぼうとすると、あまりにも浅くなり、断片的な知識の単なる集積に終わりがかねない。そこで、本講義では、まず、思想史学の初歩を解説した後で、生命観（生物観・動物観・植物観）に焦点を合わせて、それを窓口として、西洋思想史の大きな流れを把握することを目指す。なお、学問の王道は比較にある。随時、日本あるいは東洋思想と西洋思想を対比させる比較思想史のアプローチを随所に取り入れながら、西洋思想史の流れに対する理解を深めていきたいと考えている。				
成績評価方法		レポート: 70% 西洋思想史が提起する課題に対して、批判的に考察を加えることができるようになっていくかどうかを問う問題が出される。 平常点評価: 30% 講義中に課題を 3 回課す予定である。提出者は 1 回につき 10 点ほどが加点される。まともな解答であればすべて満点が与えられる。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	社会思想史	馬路 智仁	社会・社会思想史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		入植者植民地主義の思想史 本授業では、入植者植民地主義をめぐる思想を、初期近代のジョン・ロックから今日の（スペース X など）巨大宇宙企業までたどる。目標は大きく三つある。①一つ目に、入植者植民地主義という帝國的な実践・思想が、いかに現代世界を形作り、また将来の宇宙開発に関わっているかの理解を得ること。②二つ目に、これを通して、政治・社会思想史が過去を見るときのレンズとして、また未来を構想するためのツールとして、いかに有用な役割を果たすかについて考察すること、③三つ目に、本テーマを切り口として、西洋政治思想（ロックやジェレミー・ベンサム、J.S.ミルなど）や近代日本の知識人の思想についての理解を得たり、深めたりすること、である。 入植者植民地主義とは、近代主権国家の内外で展開されてきた移住や開拓に基づく帝國的権力の行使・実践を指す。この植民地主義が企ててきたのは、移住先の人々（先住民）の身体や文化、政治経済を暴力的に周縁化すること、それを通して入植者がその土地・環境を永続的に支配すること、またそこに自らの共同体や市民社会、あるいは国家を形成することである。入植者植民地主義による支配は、20 世紀半ば以降における公式帝国の崩壊のような明確な区切りを持つものではなく、国境の内側の制度や社会のなかに構造的に埋め込まれ、残存し続ける。北米各地、ニュージーランド、オーストラリア、北海道などに見られる先住民問題はその典型である。今日、この植民地主義の射程は地球上から宇宙空間へと伸びている。NASA が牽引するアルテミス計画や巨大宇宙企業スペース X の火星移住構想に象徴されるように、地球外惑星の開発とそこへの入植が可能性として語られるようになっているためである。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 100%（A 4 用紙一枚にまとめたメモのみ持ち込み可。記述式の大問 2 つを予定している）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
------------	----	-------	------	----	----	----

51076	A	科学史	武正 泰史	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		数理科学の歴史 数学や天文学をはじめ、科学は古代から様々な形で実践されてきており、時代、地域によって内容や目的なども異なっていた。本講義ではいわゆる数理科学について、古代から近代に至るまでの歴史的経緯を学ぶことで、どのような人々が、なぜ、どのようにその知的営為に取り組んできたのか考察する。これによって数理科学知と人（および社会）との関わりを意識し、その知的営為を相対化する視点を養う。主として西洋地域をとりあげつつ、前近代の日本や東アジアにおける関連する話題を紹介する予定である。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		小テストへの回答（40%）、および期末試験（60%）。それぞれで合格点に達する必要がある。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51373	A	世界哲学	納富 信留、中野 裕考	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		世界哲学／World Philosophy 『世界哲学史』全 8 巻＋別巻（ちくま新書）が完結し、4 年ごとの世界哲学会議（World Congress of Philosophy）の 2028 年東大開催が決定されるなど、「世界哲学」は今日、大きな盛り上がりを見せている。 この言葉にこめられているのは、古代ギリシアに端を発した知的営為のみを人類に普遍的な思考とみなし、アジア、アフリカ、オセアニア、ラテンアメリカなどの諸地域で発展してきた豊かな知的営為を哲学以前／未満のものとして切り捨ててきた従来の態度への鋭い問い直しである。 本講義では、納富、中野が異なる視点から入門講義を行い、三名のゲスト、板東、中島、河野がさらに視野を広げるべく、日本、中国、アフリカの地域の事情を紹介する。これにより西洋を特権的な軸としない新しい哲学のありようを提示することを目指す。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		2 名の各担当教員ごとの小課題（小レポートなど）で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		国際社会の動態——パレスチナ／イスラエルとウクライナ・ロシアを事例に イスラエル・パレスチナ紛争とロシア・ウクライナ戦争を題材に、国際社会についての視座を涵養することを目的とする。それぞれの基礎を押さえながら、そこでカギを握る、国際関係論で定番のいくつかのトピックを取り上げ、他地域の、あるいはより広域の問題に応用できるようにする。そのうえで、あたかも自然現象であるかのように、つまり運命論的に捉えられがちな国際社会の動向について、いかに人間に関わるかを考え、体得していく。				
成績評価方法		毎回のリアクションペーパー（UTOL で提出）30%、レポート×定期試験 70%* *レポートと定期試験はそれぞれ半々の配点であるが、前者と後者の整合性に問題がある場合（つまり、レポートで書いた内容やその背景を理解していないと見られる場合）、レポートの評価も、問題の程度に応じて下がることもある。つまり、レポートを生成 AI 等にかけて書いては答えられない問いを設定するため、自ら丹念に調べ、練り上げて書くことが、この試験に対する最良の対策となる。なお、定期試験ではレポートに基づく設問と別に、講義の基本事項を確認する設問も配点の半分に含まれる（その個所の評価はレポート評価とは連動しない）。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	国際関係史	前田 亮介	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本外交史 この講義では、18 世紀末から冷戦終結後までの 200 年の日本の外交の軌跡を、①国内政治（社会）との連関、②グローバルな国際環境の作用、の 2 点を重視しながら概観する。①・②とも、国際関係史として日本外交史を理解する上で不可欠の視点となるためである。 日本列島に領域主権国民国家が誕生するまでの「国家形成期の外交」、日露戦争から第二次世界大戦までの「帝国の外交」、独立・講和から沖縄返還までの「敗戦国の外交」、ポスト戦後処理外交としての（現代までの）「経済大国の外交」、という大まかな 4 つの時代区分を念頭に講義を進める。				
成績評価方法		期末試験によって評価する。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	現代国際社会論	酒井 啓子	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代の中東政治を国際政治の枠組みで概説する。特に米国を中心としたグローバルパワーとの関係、域内のトランスナショナルなネットワークのありように着目し、国家主体のみならず非国家主体が紡ぐ政治のダイナミズムを読み解く。複雑に見える中東地域における政治実態を、グローバルパワーとの関係、域内における覇権抗争の枠組み、トランスナショナルな政治思想運動の展開に着目して、解明する。中東地域の政治を国際政治、比較政治の一般論からの逸脱事例とみるのではなく、中東政治のさまざまな特徴をむしろ国際政治の矛盾を表象する事象として捉え、中東から「世界」を読み解く視座を獲得する。加えて、中東政治の土台にある近現代史に対する理解を「オリエンタリズム」批判を踏まえて、再考する。					
成績評価方法 教科書	試験と、映画などの感想文の提出による。出席は問わない。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 酒井啓子 9.11 後の現代史 講談社新書					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	現代国際社会論	佐藤 仁	国際関係	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	開発協力のジレンマ 「SDG s の問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになってほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。 国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらが立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。					
成績評価方法	講義と参考文献に基づく試験を成績全体の 8 割、出席とコメントシート、質問などによる議論喚起を合わせて 2 割の比重で成績評価を行う。 成績は 8 割を最終試験でつけ、残りの 2 割を出席と授業中の参加点として加算する。なお、人数が少ない場合は、試験を行わず、レポートに変える。授業中の参加は、教室での質問やコメント（オンライン含む）、毎授業ごとに任意で提出を求めるリフレクションペーパーの質と量で評価する。また出席（成績の 5 %）は、ITC-LMS の出席管理機能を使うこととし、3 回以上欠席した人に「優」以上はつかない。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤仁 争わない社会ー「開かれた依存関係」をつくる NHK ブックス					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	平和構築論	外村 大	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	平和構築のための思想、歴史と実践 これまでの平和希求の思想的営為にはどのようなものがあるだろうか。また平和を築くため、あるいは進行中の戦争に抵抗したり、それを止めたりするための活動としてどのようなことが行われただろうか。さらに、現在、平和を築くための活動がどのように続けられ、そこでの課題は何であろうか。以上について、日本を含むアジアを主な対象地域として設定し、個別事例に焦点を当てて学んでいく。 その際、まず、前半のテキスト輪読で知識の平準化を図る。その後、関連する研究論文や、様々な地域で活動経験を持つ人々から話を聞く。					
成績評価方法	参加者人数によって調整はあるが、コメントペーパーと報告（20~30%）、期末レポート（50~60%）、出席(20%)による総合評価。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50055	A	地域文化論II	藤崎 衛	地域文化研究専攻	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ヨーロッパ歴史学—ミクロストリア・徴候・証拠 受講者が次の3点を説明できることを目標とします。 ・20世紀ヨーロッパ歴史学における社会史・心性史・ミクロストリアの関係 ・カルロ・ギンズブルグが異端審問記録から民衆の文化を再構成した方法と、その限界 ・歴史叙述における物語・レトリック・証拠・真実の関係				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業内で3回ほど課すミニレポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51455	A	地域文化論II	ガーバー ポーラ、橋川健竜	地域文化研究専攻	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		LGBT Rights in Australia: How the rights of LGBT people in Australia are respected and protected (or not) There have always been LGBT people, but how they have been treated in Australia has varied over time. For example, gay men used to be vilified and persecuted, but these days there is greater understanding and acceptance of diverse sexual orientations. Nowadays, it is trans and gender diverse people who are increasingly being attacked and targeted in hate crimes. This course will introduce students to LGBT communities in Australia and how they are treated by society, governments and the law. Each class will focus on a particular aspect of queer life in Australia; the good, the bad and the ugly. By the end of this course students will have achieved an understanding of LGBT life and culture in Australia, and be able to identify where Australia is doing well in protecting the human rights of LGBT people and where more needs to be done. No prior study of Australia or LGBT people and culture is required to successfully complete this course				
成績評価方法		Film Review – 40% Students will view a selected film and write a review of that movie/documentary/TV show, considering how LGBT right are represented in that film. A range of selected films will be available either on DVD provided by the course Professor; through the Center for Pacific and American Studies Library or through a streaming service. Research Essay – 60% Students will prepare a research paper in response to one of a series of topics provided early in the semester. The topics will encourage research and reflection on issues considered in the course. Further information on assessment will be provided in the first class. All assessment must be completed in English.				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	比較地域史	杉本 浄	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		鉱物資源開発における比較地域史—19世紀から20世紀前半のインド、カナダ、南アフリカ 本授業では、19世紀から20世紀前半までのイギリス帝国各地における鉱物資源開発史に注目する。石炭・石油といったエネルギー資源とともに、鉱物資源は帝国の拡大と各地の工業化を支え、その全体の採掘量は年々増加の一途をたどった。1924年にロンドンで初めて開催されたイギリス帝国鉱山・冶金学会議では、南アフリカ、オーストラリア、カナダといった自治領だけでなく、帝国の植民地や保護領からも代表が集い、資源情報だけでなく、各種技術について議論がなされた。この会議は、その後、第2回カナダ（1927年）、第3回南アフリカ（1930年）へと続いた。帝国各地において資源調査を実施した研究機関や、実際に鉱山開発を行った鉱山会社の人的なつながりについて理解してもらうのが本授業の目的である。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業内課題とレポートにより、総合的に評価 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	日本文化論I	矢田 勉	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文化財としての書跡・典籍・古文書 有形文化財としての文字資料（書跡・典籍・古文書を中心とする）を取り上げ、そこから日本文化・日本文化史の特質について考究する。				
成績評価方法		期末レポートによるが、講義期間中に適宜課題を課し、それも評価に加味する。 期末レポートについては、めいめい博物館等で書に関わる文化財を観覧することなどが求められる。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	日本文化論II	常 瀟琳	国文・漢文学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		日本の思想と文化は、中国や西洋との思想的交流を経て独自の展開を遂げてきました。たとえば、江戸時代において、中国宋代の士大夫・読書人官僚の学問として成立した朱子学が日本で本格的に受容されましたが、科举制度が存在せず、「家（イエ）」の構造も大きく異なる武士社会の日本においては、その思想をそのまま受け入れることは不可能でした。こうした違和感に向き合っていく中で近世日本思想は花開いたのであり、他者との遭遇や対話を契機として思想の変容が生じるという現象は、幕末から明治期にかけての日本における西洋文明の受容においても見られました。この授業では、近世・近代の日本思想史における重要な思想家を何人かを取り上げて、外来思想という異質の他者と出会った時、当時の人々が、目の前のどのような現実と向き合い、何を課題と考え、どのような思想を打ち出したのか、という点について考えます。				
授業の目標概要		1）江戸時代から明治時代の思想の概要を理解する。 2）儒学や西洋思想も視野に収めつつ、日本の思想と文化の背後にある社会構造や歴史的背景、さらに思想的継承のあり方について思索する。 3）自我と他者、伝統と近代といった諸問題について主体的に思考し、自らの視点を形成する。				
成績評価方法		期末筆記試験（60%、記述式） 平常点（40%、授業後のレスポンスペーパー、グループワークや輪読をおこなう場合は課題への取り組み状況・グループへの貢献度で評価する。）				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A 1	日本語日本文学I（理科生）	谷口 洋	国文・漢文学	木 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		訓読文学としての『史記』 『史記』は歴史書ということになっているが、それ以上に文学として広く親しまれてきた。また中国の司馬遷が書いたものであるにもかかわらず、訓読の技法によって、日本語で受容されてきた。現在でも、項羽本紀の「四面楚歌」の場面などが、国語の時間にごく当たり前に学ばれている。 高等学校における漢文の授業時間が減少の一途をたどる中、漢文で書かれたものを文学として味わうような機会はなかなか持てなかったのではなかろうか。限られた時間ではあるが、『史記』の中のまとまった話を読むことで、先人がしてきたような漢文学の受容を少しでも体験したい。				
成績評価方法		また、木版本のコピーや注釈を使って読むことにより、長い年月読み継がれてきた古典を読むことの現場に接し、現代語訳を読むだけではわからない古典の厚みを感じてもらいたい。 理科系の諸君が、こうしたものにふれることは当面ないかもしれない。以上のような経験を通じ、前期課程の間に自分の世界を広げることが、究極の目標である。 レポート（65%）を主とする。他に授業中に短い感想を書いてもらうことがあり、これを授業への参加状況として勘案する（35%）。 レポートでは、自ら『史記』と取り組んだものを評価する。教員の話をもとめただけのもの、事実や知識を調べただけのものは評価が低くなる。他人の説や生成 AI の出力に乗っかったものは論外。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50056	A	東洋古典学	宋 晗	国文・漢文学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		古代日本漢文学概論 日本文学は、漢字漢文による書記を土台にして出発した。『古事記』『日本書紀』が漢文体で記されていること、『万葉集』に収録されている和歌が全て漢字で表記され、漢詩文も載録されていることは、端的な表れである。この授業では、日本文学の一部としての漢文に焦点を絞り、いわゆる日本古典文学が成立する古代における漢文学の展開を考えてみたい。そして日本古典文学と言うと、恋以外に題材はないとさえ言われることがあるが、それは仮名文に限った話である。なぜ仮名文は恋に偏重してしまったのか、という古代日本文学史の変遷を理解する上でも、実は漢文に目を向ける必要がある。日本文学に対する総合的理解を深めることもこの授業の目標に含まれている。				
成績評価方法		平常点 4 割 期末レポート 6 割 初回ガイダンス時に詳しく説明する。				
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50668	A	歴史社会論	浜 由樹子	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア（旧ソ連地域）の多重的政治・社会変動 目標：国際関係や地域の「今」を説明するためには、「今」を規定する一つ前の時代と、その時代を生きた人々の経験を理解する必要がある。本講義では、冷戦末期からポスト冷戦期、体制転換期から現在に至る旧ソ連地域（特にロシア）を考察対象とし、①通説やメディアに流れるステレオタイプを相対化できること、②立場による解釈の違いや文脈の複層性を把握し、説明できること、③国際理解や共生社会に必要な想像力を養うこと、を目指す。 概要：2022 年に始まったロシア・ウクライナ戦争は、両国に対する社会の関心を劇的に高めた。その反面、この戦争を生んだ原因や構造についての理解が深まったとはいいがたい。それを理解するには、遠回りに思われるかも知れないが、1990 年代の旧ソ連の変動を知る必要がある。社会主義から資本主義への体制転換とは、国家の消滅とは、冷戦の終焉とはどのような経験であったのか。幾重もの変化を人々がどう生き抜いてきたのか、それがどのように現在につながっているかを考察する。 また、関連する学説を通じて、解釈の相対化を試みる。比較対象として、冷戦期の「東側」であった中・東欧諸国にも言及しつつ進める。				
成績評価方法		学期末試験（60％）と授業内課題（40％）				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	歴史社会論	田中 創	歴史学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ローマ法から読み解く家族と社会身分 本授業では、6 世紀の東ローマ帝国で編まれた、ユスティニアヌス『法学提要』の第 1 巻と、2 世紀に書かれたガイウス『法学提要』の第 1 巻とを読み解くことで、古代における家族のあり方の多様性や、社会身分・人の権利の歴史的变化を理解し、現代社会の諸課題を歴史的な視点から考察するための幅広い視野と論理的思考力を身につけることを目標とする。『法学提要』はローマ法を学び始める学生が最初に読むために作られた教科書であり、単に古代ローマ法の初等教育に使われただけでなく、中世以降のヨーロッパにおけるローマ法学習においても一定の地歩を築いた著作である。その構成は現在のフランス民法にも刻印を残している。ただし、本講義は法学、法概念を学ぶというよりも、歴史学の手法を用いて、現代にもつながるような法概念を生み出す素地となった古代社会の実態を考えることを主眼とする。				
成績評価方法		事前予習に基づく平常点（20％）と期末試験（80％）で評価する。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	近現代史	外村 大	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本帝国の総力戦と朝鮮・朝鮮人 日本帝国がアジアの新秩序建設・アジア解放を掲げて行った総力戦では、朝鮮が兵站基地として位置づけられ、食料供給の重要任務も課された。さらに、日本帝国の軍人・軍属となった者、軍需生産にかかわる事業所で仕事をさせられた朝鮮人、あるいは、慰安所に連れられた朝鮮人女性もいる。こうした直接的な動員の対象外となった朝鮮人も、日本帝国への忠誠を誓い、日本人に同化し、国策に協力することが強いられた。 その実態は、日本の学校教育ではあまり詳しく教えられない。そもそも、80 年以上前に起きた出来事であり、現存する資料も少なく、語りにくい事実も多いことから、十分に史実が解明されているとは言い難い。そのため、不正確な情報が流され、この問題に真剣に向き合おうとする者の間でも、何がどこまでわかっているか自体が把握できていない様相を呈している。 そこで、できるだけ、同時代の史料を多く提示して、そこから何が読み取れるかを確認しつつ、日本帝国の総力戦のもとで朝鮮でどのようなことが起きていたのか、朝鮮人がそこで何を経験したのかを論じていく。 それを通じて歴史学の基礎的な手法を学ぶことも目指す。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の課題提出と期末レポートをもとに成績を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	近現代史	鰐淵 秀一	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アメリカを中心とする近現代環境史 本講義は、植民地時代から現代に至るアメリカ（北米／アメリカ合衆国）の歴史を通じて、近現代環境史の諸トピックを扱う。気候危機が世界全体の課題となっている今日、現在の状況がいかなる歴史的背景から生じているのかを理解するためには、人間と自然環境との関係を組み込んだ歴史像を構築することが必要である。北米における人間と自然の関係史を通して、それを世界史のマクロな展開に位置づけつつ、近現代史の理解における環境アプローチの重要性を認識することが目標となる。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		平常点と期末試験によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	歴史と文化	佐川 英治	歴史学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国古代史論 文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるように講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		授業の出席と最終回の筆記試験（持ち込み不可）による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	歴史と文化	桜井 英治	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		嗽訴の世界 嗽訴（強訴）とは、古代末から中世にかけて大寺社の僧侶や神職が、宗教的権威を背景に朝廷や幕府にたいしてとったひとつの訴訟形態をいう。院政期には白河上皇が天下三不如意のひとつとして延暦寺の嗽訴（山法師）を嘆いたことはよく知られているが、15 世紀になると下火になり、16 世紀にはほとんどおこなわれなくなる。嗽訴は神仏みずからがおこした訴訟（神訴）と理解されていたため、朝廷や幕府などの俗権力は、嗽訴がおこされたばあい、理非の判断をせず、無条件に寺社の要求を呑むのが暗黙のルールとされた。嗽訴がしばしば理を尽くさない訴訟という意味で「理不尽の訴訟」とよばれた所以である。とすれば、その縮小と消滅は、神仏の権威の低下、呪術性からの解放という大きな歴史的転換とも無関係ではなかったであろう。また嗽訴は、武力衝突をともない、死傷者も出す深刻な事件でありながら、他方では儀礼化し、嗽訴する宗教勢力側とそれを迎える俗権力側とが同一の台本に沿って演じるある種の演劇と化していた一面もある。この劇場性は、前近代社会において「政治」とは何かを考えるさいにも重要な観点となろう。本授業では嗽訴の発生から消滅までの歴史をたどりながら、その宗教的、法制史的、政治的意義等々を探っていきたい。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験を実施する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	歴史と文化	山口 輝臣	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本「宗教」史 日本人が宗教について考えるようになってすでに 150 年ほど経った・・・いきなりこんなことを書くと、怪訝に思われるかもしれない。仏教伝来は 538 年か 552 年、キリスト教の伝来は 1549 年と歴史の教科書に載っていたし、神道に至ってはそれより以前からあるはず。そもそも宗教というものはずっと昔からあるし、どこにでもある。日本での歴史が 150 年やそこらということなどありえない、と。 しかし、しばし立ち止まって考えてみてほしい。その伝来したキリスト教や仏教は宗教と考えられていたのだろうか？ 間髪入れずに答えれば、否。聖徳太子は仏教を宗教とは考えていなかったし、高山右近や大友宗麟はキリスト教を宗教と考えていなかった。どうしてそんなことが言えるのか？ 宗教というコトバが、その当時の日本語にはなかったからである。 この授業では、そうした宗教というコトバが出現してきたところからはじまる日本「宗教」史を試みたい。 宗教という語の出現とともに生まれたのは、神社は宗教なのかとか、儒教はどうなのかなど、あるものが宗教かどうかを問われる「場」であった。具体的な「場」は、あるときには論壇であったり、法廷であったり、議会であったり、メディアであったりと様々であるが、現在に至るまでこうした「場」は常にどこかにあり、宗教とはなんであるかについての最前線を形成してきた。この授業では、19 世紀から現在に至る日本におけるそうした「場」を見ていくことで、日本「宗教」史を語ろうという試みである。よって、授業の目標は、日本近現代史における宗教とそうでないもののとの関係の変遷を理解すること、そしてそれを通じて現在を歴史的視点から考察できるようになることとなる。				
成績評価方法		平常点と期末試験とを 1 対 4 の割合で評価する。なお、受講生の数によっては期末試験を小論文に代えることもあり得る。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	世界史論	牧野 元紀	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		18 世紀末のイエズス会解散以後、近現代の東アジア・東南アジアの諸地域においてカトリック布教を主導したのはパリ外国宣教会である。日本も例外ではなく、幕末維新期に潜伏キリシタンを「発見」し、カトリックの再興に努めた。しかし、日本国内における同会の認知度は、前近代のイエズス会ほどには高くない。 本講義では、パリ外国宣教会の布教活動の実態を解明すべく、同会が布教対象とした東アジア・東南アジアの諸国家・諸地域ごとに比較考察を行う。外来宗教であるキリスト教（カトリック）に対して、国家と地域を超えて見られた「受容」あるいは「弾圧」という事象を通じ、各地域の政治・社会・文化の諸面における構造的特性を明らかにしていく。 本講義の具体的な到達目標は以下の 3 点である： 1．近現代東・東南アジア史の多元的理解： 各国史の枠組みにとどまらず、宣教会のネットワークという広域的な視点から、近現代アジアの変容を動的に捉え直す視点を修得する。 2．史料批判の基礎力の獲得： 宣教師側の言説（書簡・報告書等）と現地社会側の史料双方を複眼的に読み解き、そこに内包されるバイアスや政治的意図を主体的に批判検証する能力を身につける。 3．比較史的アプローチによる論述力の確立： 単なる歴史的事実の暗記ではなく、異なる地域における「受容と拒絶」のメカニズムを比較分析し、自らの歴史解釈を論理的かつ説得力のある文章で記述・論弁できるようになる。				
成績評価方法		期末試験：60% （ただし、期末試験の得点が 6 割に満たない場合は、他の評価に関わらず一律で「不可」とします。試験は持ち込み不可の論述式を予定しています。） レポート課題：15% （史料批判と論理的構成力を問います。剽窃・生成 AI の不正利用には極めて厳しく対処し、発覚時は即「不可」とします。） 授業後のリアクションペーパー：15% （単なる出席確認ではなく、記述内容の学術的質を毎回 3 段階で厳格に査定します。不十分な記述は 0 点とします。） 授業への参加と関与の度合い：10% （ディスカッションへの能動的貢献度を評価します。私語や内職など受講態度の悪い者は、この項目を 0 点とするだけでなく、総点から大幅に減点します。）				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	文化人類学I	関谷 雄一	文化人類学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		文化人類学入門（Introduction to Cultural Anthropology） 本講座は文化人類学に関心のある学生向けに、同学問の特色、史的経緯から現代の展開そして残されている課題や今後の可能性に至るまでを、基礎的な説明を中心に講義を行ってゆく。初学者向けの内容となるが、既に関心があり、自己学習をしている者にとってもコースワーク（毎回のリフレクションペーパー等）を通してさらに理解を深められるような工夫もしていきたい。				
成績評価方法		授業への出席や議論への貢献度（25%）、リフレクションペーパーの内容（25%）そして期末試験（50%）を鑑み総合的に評価する。				
教科書 ガイダンス		授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	文化人類学II	箭内 匡	文化人類学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	文化人類学の思考法ー映像／イメージを通して学ぶー 文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なものは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	・学期末試験を行う予定。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		日本国憲法 日本国憲法について、その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ、その概要について講義を行う。 学期末試験によって評価を行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 山元 一 基礎コース 憲法 新世社（今秋刊行予定） 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50913	A	ダイバーシティと法	中坂 恵美子	教養教育高度化機構	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		「ダイバーシティと法」は、「D&I 科目」の 1 つとして、法制度の視点から多様性や社会的公正を論じる科目として位置づけられるものであり、本年度は、難民や移民の課題について取り上げる。授業では、ときに歴史的な視点も含めて、移民や難民に関する国際法と日本の法制度、いくつかの国の移民について学ぶ。人の国境を越えた移動と国家主権の緊張関係や国際人権の可能性と限界を考察することによって、現代社会の課題の 1 つである多文化共生や排外主義を考えるための法的視角をもつことができるようになる。 毎回の授業への参加（コメントペーパーの提出など）と定期試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50182	A	比較社会論	佐藤 成基	社会・社会思想史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		国籍とネーションー「国民」とは誰のことなのかー グローバル化が進んでいる（近年は後退する兆しもあるが）とはいえ、現代世界が「国民国家」という政治単位から成り立っている事実に大きな変化はない。国民国家はその国籍制度を通じてその「国民」を定めている。我々が日常「〇〇人」と言う時、それは国籍によって規定された「国民」を指すことが多い。この授業では、この国籍が、歴史上どのように形成されてきたのか、それは政治や人々の生活とどのように関連し、どのような役割を果たしてきたのか、そして、今後国籍制度はどのようになっていくのか。国籍をめぐるこれらの諸問題を、この授業では比較歴史社会学の観点から考察していく。 期末試験で評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤成基 『国民とは誰のことか ドイツ近現代における国籍法の形成と展開』 花伝社 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50669	A	日本の政治	鹿毛 利枝子	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス		日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。 初回授業時に提示する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50153	A	ジェンダー論【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	社会学的視点で考えるジェンダー問題 性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。					
成績評価方法	定期試験によって評価する。評価の基準は、講義で学んだ基礎的な知識を習得しているかどうか（60%）、与えられたテーマについて根拠を示しながら説得的に論ずることができるかどうか（40%）の2つの観点から行う。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51324	A	現代と政治	五百旗頭 薫	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	現代と政治 政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、大学院法学政治学研究科・法学部／公共政策大学院の教員のうち 13 名が、1 人 1 コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。 政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2 年生も歓迎しますが 1 年生を念頭に置いて進めます。					
成績評価方法	毎回の授業において出題するお題について学生が短い分量で回答するリアクションペーパーによって成績評価をします。各回の教員の判断により、授業終了後に UTOL 経由で、または授業中に紙に筆記して提出します（それぞれ「授業計画」の項における各回の末尾に①または②と記載）。 期末試験や期末レポート出題は、実施しません。 リアクションペーパーの「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」に照らして成績評価を行います。 「提出回数」とは、リアクションペーパーの内容を通じて授業に出席のうえ理解・考察をしたことを授業担当者が「確認できた」回数のことであり、これが 13 回あれば多くの学生は 65 点となります。 「回ごとの A 評価」は、毎回の講義担当者が、リアクション提出者数の 3 割程度の数の学生に付けます。学生には回ごとの評価は知らせません。 「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」を総合して、最終成績を決定します。90 点以上と 80 点以上については、それぞれ教養学部で許容される範囲内で、なるべく多めとします。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 授業資料がある場合は、オンラインまたは授業時に配布します。どちらの方法によるかは教員によります。 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	性の政治 II	本山 央子	教養教育高度化機構	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	フェミニスト国際政治経済学～グローバル資本主義の危機をフェミニスト視点から考える グローバル資本主義の危機はさまざまな側面で顕著となっています。フェミニスト研究は、たんに市場経済におけるジェンダー不平等を問うだけにとどまらず、男女の自然で本質的な差異というジェンダー化された観念が、どのように労働力を差異化し、また市場経済の見えない「外部」を生み出しているのかを明らかにすることによって、資本主義のあり方そのものに根本的批判をくわえてきました。この講義では、資本主義に対する批判理論の系譜をたどりつつ、グローバル資本主義と国家システムの変容およびジェンダー関係の変容がどのように相互に関連してきたのかを見ていきます。そして暴力と排除を剥き出しにしつつある今日のグローバル資本主義に対してどのような抵抗が可能かについても議論したいと思います。					
成績評価方法	各回レスポンスおよびレポート。ただし AI を用いたものは大幅な減点ないし失格となります。 また初回をのぞいて 3 回以上欠席の場合は単位は認められません。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野に属します。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 皆さんの多くは大学受験のために世界史あるいは日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。また、受験のために歴史を勉強したことがない人でも授業を理解し、興味が持てるように努めます。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 50% レポート 50% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51129	A	計量社会科学	石田 賢示	経済・統計	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会調査研究の考え方と実際 こんにち、さまざまな場で「データ」にもとづく議論、意思決定の重要性が認識されるようになっている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが、その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では、（１）「社会調査」がどのようなものか、（２）社会調査を実施するためには何をしなければ（しては）ならないか、（３）社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか、（４）得られたデータをどのように整理するか、（５）社会調査を実践する上での倫理的問題、などを取り上げる。以上の点について理解し、自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが、本授業の目的である。				
成績評価方法		（１）第２回以降、毎回 UTOL 等で回答する課題の評価（30％） （２）一部の回における課題の提出内容の評価（30％） （３）学期末近くに実施するオンライン上でのテストの得点（40％） ※授業の進捗状況によって、（２）の内容を（３）と統合する場合がある。必要な説明は授業中におこなう。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50845	A	現代経済理論	中西 徹	経済・統計	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		グローバル化の光と影：貧困緩和と格差拡大をめぐる この授業は、現代経済理論を精緻に展開するのではなく、現代社会において経済理論がどのように変容し、どのように現実社会の問題に対応してきたのかを、発展途上国の開発問題を中心に考察することを目的としている。 グローバル化は、貧困緩和を実現する一方、国際的にも、また多くの国の国内においても、それまでの歴史では想定できなかったほどの格差拡大をもたらしたと論じられている。この授業では、第二次大戦後の発展途上国の開発を対象に、経済学の変容を追いつつ、この現象の原因と解決策について検討したい。 この授業では現代経済理論の初歩を用い、発展途上国における貧困、格差、あるいは構造的問題を考察します。理論的背景を身につけた上で、現実の課題に応用する方法を学びます。数学は可能な限り使わないようにします。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験による プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済政策を問い直す 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能な のか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているようにみえるのはなぜ か。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済 学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 90% 出欠 10% 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	現代教育論	橋本 和幸	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 この授業では、「教育現場において生じる問題及びその背景」と「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」に ついて、授業担当者の実務経験に基づいて説明する。 授業担当者は、スクールカウンセラーや教育相談所相談員という教育領域の心理臨床家（心の専門家）としての実践経 験が有る。 具体的には下記の内容を取り扱う。 1. 教育現場において生じる問題及びその背景 いじめ、不登校、学業不振など。 2. 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援 教育現場における社会心理的課題：友人関係、発達障害、精神疾患など。 学校内の支援体制と方法：教員による教育相談、スクールカウンセラーなど。 学校外の支援体制と方法：教育委員会、医療機関など。				
成績評価方法 教科書		学期中にレポートの提出を求める。レポートと期末試験の成績を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 橋本和幸 相談・指導のための面接技法【第2版】 ムイスリ出版 978-4-89641-332-8				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しか し、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・ 社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」につ いての理解を目的とする。 今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。				
成績評価方法 教科書		期末試験を行う。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 齋藤憲司・石垣琢磨・高野明 大学生のストレスマネジメントー自助の力と援助の力 有斐閣 978-4-641-17456-6				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		臨床心理学概論 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験（期末試験）による。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51410	A	教育実践・政策学入門	村上 祐介、橋野 晶寛、河村 俊太郎、 宮田 玲、影浦 峡、北村 友人、 勝野 正章、高橋 和子、李 正連、 藤江 康彦、浅井 幸子、新藤 浩伸	教育学部	木 4	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育実践・政策学入門 この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践・政策学コースの教員が各回を担当し、学校教育学、教育行政学、社会教育学・生涯学習論、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席および授業内提出課題によって総合的に評価する。なお、課題未提出が4回以上の場合、単位は認められない。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51409	A	教育学のフロンティア	平石 晃樹、山名 淳、片山 勝茂、 大塚 類、隠岐 さや香	教育学部	金 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育基礎科学で読み解く現代社会と教育 「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。 本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、倫理学、歴史学、人間学、臨床哲学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。				
成績評価方法		各担当教員によるレポート試験と、授業での平常点を総合する形で評価する。レポート試験については、詳しくは授業時に説明する。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

総合科目 D（人間・環境）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO ₂ による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	定期試験で評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	生態学	池田 啓、平尾 聡秀	生物	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生態学 生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで、自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。 生物の生活史や環境適応といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用、生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50154	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	地域開発と地域の動態 地域的不均衡発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すことになります。このような中で、中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	成績はレポートによって評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50282	A	気候変動と社会	江守 正多	学際科学科	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	気候変動と社会 本講義では、現代社会の最重要課題の一つである気候変動問題について、受講生が最新の研究知見を含めて俯瞰的に学び、自ら考える契機を得ることを目標とする。 地球の気候システムはさまざまな時間スケールで変動しており、それにかかわる海洋環境の変化や極端気象の発生などの自然現象は、生態系はもちろん農林水産業といった人間社会の営みに影響してきた。20 世紀後半以降、気候の温暖化が顕著となり、科学的な評価にもとづき、産業革命以降の文明社会が排出してきた温室効果ガスがその主な原因であることが明らかになっている。温暖化による社会への負の影響を最小限に抑えるため、2050 年までに二酸化炭素の正味排出をゼロにするカーボンニュートラルが国際的な流れとなってきた。 気候変動あるいは地球温暖化の問題は、もはや自然科学の枠を超えている。気候変動を理解し予測する理学的なアプローチ、気候変動の影響を明らかにする水文学・農学・水産学・生物学・医学等のアプローチ、カーボンニュートラルを実現する工学的なアプローチに加えて、将来の社会の在り方に依存する温室効果ガスの排出経路推定、気候正義に代表される社会の格差解消に対する公共政策、個人から組織、国家までのさまざまな階層でカーボンニュートラルを達成するための行動変容、制度構築など、人文社会科学的なアプローチを組み合わせたトランスフォーマティブサイエンスの実施が必要である。 そこで本講義では、変わりゆく気候のもとで持続可能な社会を実現するための分野横断的な自然科学・社会科学・人文学研究を俯瞰する。					
成績評価方法 教科書	出席点および試験を予定している。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学 気候と社会連携研究機構 気候変動と社会：基礎から学ぶ地球温暖化問題 東京大学出版会 978-4-13-062732-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	社会生態学	田中 雅大	人文地理学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	地理学からみる都市と社会 本講義では、都市をめぐる様々な社会的問題を地理学的視点で理解するための方法を学ぶことを目標とする。まず、都市を生態系のように捉える人間生態学を取り上げ、その歴史的展開と方法論的限界を検討する。その上で、その先に登場した都市社会地理学という分野について概説する。					
成績評価方法	復習用の課題（40%）と期末レポート（60%） ※期末レポート未提出者は評価対象外とする ※課題を1度も提出せず、期末レポートのみ提出している場合は、可または不可とする（可になるには期末レポートで満点近く必要）					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50057	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	産業立地と都市空間の変化 ・この授業では、（1）産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、（2）産業立地政策の歴史的展開、（3）産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。					
成績評価方法	毎回の授業後に実施する確認テストと、最終試験による。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50670	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	水 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は <i>Homo sapiens</i> と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性について講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性について、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。				
成績評価方法		レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、授業後に実施）、期末レポート（40%）の3つから総合的に評価する。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義で は、出発点として「コミュニケーションの機能不全（うまくいかなかった）」事態を想定し「ど のような対応か ありうるのか」という問題を経由しつつ、最終的に「心」が 何なのかということについて各自が なんらかの答えにたどり着くことを目指して、人の心の理解のために現在まで に蓄積されてきた心理学の知見をたど るという方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び 働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」「社会性」「身体論」など の視点を持ちなが ら、現在まで に蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学・臨床心理学の成り立ちにも触れる予定で ある。 解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニス ムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が 主で ある。 半期の講義が 終わった後に、受講者が 人間理解の各自の地平をそれそ れのやり方で 拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点を用いたり、心理学の知見を援用してみたりといったことが で きることか 最終目標で ある。 心との付き合い方を考えなが ら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで 、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。				
成績評価方法		期末試験によって評価する（持ち込みは許可しない）。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	情報認知科学	岡田 浩之	心理・教育学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		知覚・認知心理学 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。 人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能（機械の知性）との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。				
成績評価方法		学期末試験（100%）による。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50058	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	神経・生理心理学 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	学期末試験により評価を行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	ヒトの心と行動を進化から考える 【目標】 ・一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得する。 ・進化論について正しく理解し、それを人間行動の解釈に適用できるようになる。 【概要】 ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の影響を受けたものと考えることが可能である。本講義では、そのような視点から、ヒトと他の動物の心の連続性を前提に、ヒトの心理や行動を理解する学問である進化心理学について紹介する。前半で進化とは何か、進化と心がどのように関連しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念について説明する。次に、ヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを産んだ系統である霊長類の特徴と人類の進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。					
成績評価方法	以下の通り予定している。 授業への参加 15% 期末試験 85%					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 長谷川寿一・長谷川真理子・大槻久・齋藤慈子・香田啓貴 進化と人間行動 第3版 東京大学出版会 978-4-13-062237-0					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	社会行動論	藤島 喜嗣	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会・集団・家族心理学 この科目では、社会行動を導く諸要因に関して、社会心理学の視点に基づく研究知見を概説する。社会心理学とは、他者存在が人々の思考、感情、行動に与える影響についての科学である。社会心理学は、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を検討すると同時に、心が社会環境に関わる情報を適応的に処理していると考え、この情報処理過程について検討している。この授業では、社会環境が人の態度及び行動に影響する過程とその情報処理過程について古典的な理論、基礎的な内容を中心に概説する。社会環境の影響過程については、二者間の対人関係だけでなく、複数メンバーからなる家族、集団および文化が個人に及ぼす影響まで視野に入れて概説する。				
成績評価方法		社会心理学をはじめとして、心理学は科学的実証アプローチを重視した学問である。そのため、授業では適宜、実験や調査データについて言及する。これらの研究手法についての理解も同時に深めることを目的とする。 平常点（リアクションペーパー、小レポートなど）30 点、期末試験によって 70 点とする。リアクションペーパーは各回 2 点相当とする。100 点満点中 60 点以上を収めないと単位取得できないので注意をしてほしい。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

スポーツ・身体運動実習		開講区分		A	
授業の目標・概要		週1回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画		"第1回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する） 第2回から第13回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9号館前の掲示板や UTOL のお知らせをよく確認すること。 以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。 "			
授業の方法		第1回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。			
成績評価方法		出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。			
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN			
履修上の注意		実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに2コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は1コマ目の登録者が優先的に履修できる。また、2年生は1年生よりも優先的に履修できる。 同一セメスターに3コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。			
学習上のアドバイス		体育館は土足、飲食禁止である。 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。			
関連ホームページ		https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス	
51284	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科	
51285	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科	
51286	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科	
51287	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科	

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）			開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1. 身体および身体運動に関する知識を習得する。 2. 自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3. スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技術を習得する。 4. 生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。			
授業計画	"第1回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する） 月3、火2、水2、金2のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第2回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業） "			
授業の方法	各自の状況に応じて、処方された運動やリハビリテーションを行う。			
成績評価方法	身体運動・健康科学について学び、議論する。 出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。			
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN			
履修上の注意	健康診断等で保健センターから指示された者や本人の申し出があって担当教員が認めた者だけが受講できる。またセメスターの途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元々選択していた種目に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。			
学習上のアドバイス	更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。			
関連ホームページ	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50010	月 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50491	水 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50183	月 5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50213	火 1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	身体運動科学	中澤 公孝	スポーツ・身体運動	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	身体運動科学 授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学、特に神経科学の一領域であるヒトの運動制御を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。					
成績評価方法 教科書	出席状況。小テスト、レポートを総合的に評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中澤公孝 パラリンピックブレイン					
ガイダンス	東大出版 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	身体生命科学	高橋 祐美子	スポーツ・身体運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	食事や運動で(あるいは運動をやらないことで)起こる身体の変化 日頃の生活の中で、身体は食事や運動などの刺激に対して様々な応答をしています。応答の積み重ねが適応となって、皆さんの健康を決める因子となります。この授業では、運動や食事が身体の中で起こす応答や適応について、生命科学的な知見を中心に概説します。 授業内容は鵜呑みにするのではなく、皆さん自身で考えて取捨選択してください。本授業で得た知識、あるいは考えたことを、自身および身近な人の健康に役立ててられるようにしてください。 この授業は生物選択でなくてもついていける内容にする予定です。高度に専門的な内容は扱わないつもりです。本授業で沸いた興味を深めたい場合は、ご自身で勉強するか、進学選択で教養学部統合自然科学科のスポーツ科学コースをぜひ選んでください。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	平常点（授業内での簡易レポートを含む）を 35%、中間・期末レポートを 65%として評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50671	A	情報メディア伝達論	酒井 麻千子	情報メディア委員会	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	「イメージ」の/を取り巻く技術の発展と法の対応 デジタル化の進展やインターネットの普及によって、絵画、イラスト、写真といった「イメージ」の制作・流通・消費は身近で日常的なものとなった一方、著作権・肖像権侵害等をはじめとするトラブルも頻繁に生じている。さらに近年の画像生成 AI の発展により、新たな法的問題も提示されている。この講義では、「イメージ」と法をめぐり生じた・現在進行形で生じている様々な問題について、関連する法律等の基礎的な知識を獲得し、履修者自身の研究分野・興味関心とも紐付けながら、多角的に検討する能力を培うことを目標とする。					
成績評価方法	法学を専門としない履修者も、興味のある問題についてアンテナを張り、考えるきっかけを作る一助として授業を活用できるように、身近な事例や、話題となった事例を積極的に取り上げて授業を進める予定である。 ①授業への出席・各回終了後の課題（コメントシート）の提出・ディスカッションへの参加：50% ②最終レポートの提出：50%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行く。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	情報メディア表現論	佐藤 宏樹	情報メディア委員会	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	医薬品ライフタイムマネジメント：医薬品情報から考える情報の評価・伝達・意思決定 創業を経てこの世に生を受けた（開発・上市された）医薬品は、市販後に適正に使用され、その有効性や安全性に関する情報が蓄積されることによって、その力を十分に発揮することができる。このように、医薬品をその誕生から使用、評価、改善まで一連の「ライフタイム」として捉え、より適切に活用していく考え方を医薬品ライフタイムマネジメントという。医薬品を安心・安全に使用するためには、薬そのもののだけでなく、それに関する「情報」が重要である。医薬品に関する情報は、研究者、企業、行政、医療者、患者、メディアなど様々な立場から発信され、伝えられ、受け取られる。その過程では、同じ情報であっても、立場や伝え方、受け取り方によって評価や理解が異なることがある。また、私たちが接する情報は、必ずしも完全あるいは中立なものとは限らない。 本講義では、医薬品ライフタイムマネジメントの中で生じる様々な問題を「情報」という観点から捉え、医薬品情報がどのように作られ、評価され、伝えられ、理解され、意思決定や行動につながるのかを考える。医療者と患者とのコミュニケーションに加え、デジタルメディアや新しい情報技術など、現代の情報環境についても取り上げる。 医学・薬学に関する専門的知識の習得そのものを目的とする授業ではない。医薬品という身近で社会的にも重要な題材を通して、履修者が情報を鵜呑みにせず、根拠や背景を確認し、異なる立場や考え方を踏まえながら、自ら考え、判断する力を身につけることを目標とする。					
成績評価方法	授業への参加および各回終了後の課題（コメントシート等）：50％ 期末レポート：50％					
教科書	その他。／Other 授業スライドを配布する					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	科学技術基礎論Ⅱ	渡部 麻衣子	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学と社会的公正-ジェンダー科学論を起点として この授業では、科学と社会的公正性の関係を、ジェンダーを起点として理解することを目指します。 社会的公正とは、人が属性に関わらず公正に機会を得られる社会的状況を指す概念です。社会的公正の観点が、科学のあり方を理解する上で重要であることを、はじめに論じたのは、ジェンダー科学論と呼ばれる領域の論者たちでした。彼女（／彼）らは、科学から女性が制度的に排除されてきたことをまず指摘しました。同時に、その視座は、科学が男性優位だけでなく、西洋中心主義的な営みであることにも光を当てました。つまり科学は、不公正な社会的状況を、制度的に反映した営みであることを明らかにしたのです。そしてさらに、そのような科学の制度的偏りが科学の成果に影響してきたことも明らかにしました。 科学が不公正な社会的状況によってどのように歪められるのか理解し、どのようにこれを是正し得るかを考えることは、科学の成果に依って立つ社会を持続可能なものとしていくために不可欠です。 そこで、この授業では、ジェンダー科学論の議論を参照しながら、科学と社会的公正性がどのように関係しており、今後どうすれば科学を社会的公正に寄与する営みとし得るのかを考えていきたいと思います。					
成績評価方法	授業参加：45％ 最終レポート：60％ テーマ「より公正な科学のための提案」 授業内容を踏まえた独創的提案を期待します。文字数も含めた詳細は第十回に授業内でお伝えする予定です。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	科学技術社会論	寿楽 浩太	情報・図形	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	科学技術社会論入門 【授業の目標】 科学技術社会論（STS: Science and Technology Studies）の学術的な基礎を理解する。 STS の視座や知見を科学技術と社会のあいだで生じる現実の諸課題に適用できるようになる。 科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係について、批判的思考（物事を当たり前とばかり見なさず、健全な懐疑の姿勢をとり続けること）を身につける。 【授業の概要】 科学技術は現代社会を支える基盤であり、その発展の原動力であり、しかし多くの社会的問題・争点の焦点ともなっている。科学技術を社会から切り離され、それとは全く独立に存在するものとはみなさずに、社会と相互作用し、あるいは社会のなかで展開される人間の活動として捉え、そこで生じるさまざまな課題に取り組む手がかりを見つけようとするのが科学 技術社会論（STS: Social Studies of Science）と呼ばれる分野である。 STS は、様々な人文・社会科学の知見や方法を縦横に活用しながら、自然科学を単なる観察や分析の対象とばかりはみなさずに、積極的に関与したり協働したりすることもありとわなない。あるいは、従来は学術的な活動の枠外と見なされがちだった、科学者・技術者・研究者以外の人びと（典型的には、さまざまな生業を持ち、公共的活動にも関与する市民）の役割を重視し、その力を引き出すことにも積極的だ。STS のこれまでの取り組みとその成果は、すでに現実の科学技術と社会の関係の変容を促してきたし、STS 研究者は今日この瞬間もそこで生じるさまざまな問題に最前線で取り組んでいる。 本科目では、そうした STS のものの見方やそこから得られる含意、現実の諸課題への対処の手がかりを初学者向けに概説し、履修者が科学技術に関する諸課題や科学技術と社会の関係についての批判的思考を身につけることを促す。					
成績評価方法	学期中、何度か小レポートを課し、平常点を評価する（最終評価の 35% 分）。学期末に期末レポートを課す（最終評価の 65% 分）。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51367	A	現代工学概論	川中 孝章、飯田 史也、峯松 信明、内田 建、 片山 浩之、船瀬 龍、野崎 京子	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	工学概論 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。 本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ 2 回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2 回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全 13 回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。					
成績評価方法	・6 つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと、出席により総合的に評価する。 ・ただし、レポート提出 3 回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しないので、注意すること。 ・レポートの締め切り：各サブテーマの 2 回目講義の 1 週間後。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

[illegible]

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51359	A	現代工学基礎Ⅱ	関 真一郎、高三 和晃、香取 秀俊、塚崎 敦	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物理学をエンジニアリング 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展してきました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を紹介するところから初めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 1、未来材料 ― サステイナブルな社会へ 2、量子技術 ― 量子をつくる、はかる、つかう 3、光の物理学 ― 光と原子の物理学：レーザーで原子を冷やす 4、理論物理学の挑戦 ― 基礎方程式の力				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		成績評価は出席とレポートで行う。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60220	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖、三竹 祐矢、太田 順、原 辰徳	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		デザイン思考によるイノベーション入門 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系的性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2022 年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」、2023 年度は「学生生活のモチベーション維持」であった。2024 年度は「スマホ依存対策とモチベーション向上を支援する製品/サービス を考える」、2025 年度は「『AI に代替されない自分』を作る/高めるための製品/サービス」であった。今年は何が出てくるか？				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51370	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二、井料 隆雅、柴崎 隆一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人間社会と交通システム 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。				
成績評価方法		1)課題内容：各講義で出されるレポート課題に対して、全 13 回から 2 課題を選んで提出してください。(各 50 点) 2)提出方法：1/27 24:00 までに UTOL 上で教員ごとに作成されたフォルダに提出。採点期限が近いので少しでも遅れたものは受け付けません。 3)レポートの体裁：表紙は不要。1 課題ずつ別ファイルとして提出のこと。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。ワードまたは pdf ファイルのみ受け付ける。自分のレポートが正しくアップロードされたことをよく確認すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがある。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51371	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹、中島 直人	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TOKYO: 東京の都市計画 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。					
成績評価方法	出席点およびレポート					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51356	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	航空宇宙工学 ―社会を豊かにする総合工学― "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席および期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51366	A	総合工学基礎Ⅱ	石川 顕一、高田 孝、藤井 康正	工学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	原子力概論 原子力技術の誕生と発展は、X 線や放射能、核分裂の発見、相対性理論や量子力学といった、ノーベル賞級の発見や研究と歩みを共にしてきました。原子力発電や核融合のように原子核エネルギーの解放を平和利用する技術はもちろん、放射線やレーザーをものづくり、医療、生命分野へ応用するなど、原子力は現代社会を支えています。 本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを活用した技術の代表例である原子力、核融合、放射線医療について解説します。 人工知能 (AI) の拡大で増え続ける電力需要と脱炭素の両立、2050 年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、原子力・核融合技術が世界的に注目され投資が加速しています。 さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	出席状況およびレポートにより評価します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51357	A	生体医工学基礎Ⅱ	小谷 潔、高木 周、小林 英津子、小穴 英廣	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	生体医工学の世界ー工学から見た生体物理現象と医療応用技術ー 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。生物を学んだことのない学生も、また文系理系を問わず、学びにつなげていただければ幸いです。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51372	A	生体医工学基礎Ⅱ	西川 昌輝、太田 誠一、杉原 加織、 稲垣 奈都子、伊藤 大知、酒井 康行	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	次世代社会の化学と工学 A-医療と材料- 本科目では、人間社会が直面している課題（医療、材料など）に対する本質的な解決策を見出すために必要な、「化学」「工学」そして「システム」の方法論を講義します。特に、最も「ミクロ」な化学の視点から現実の「マクロ」な問題へと結びつける方法論を中心に学んでもらいます。 各分野で最先端の研究を行っている工学部化学システム工学科の教員が、2 回ずつオムニバス形式で講義を行います。毎回の講義の出席および期末レポート 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51368	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮、藤田 壮、馬場 旬平	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること レポート（3 パートからそれぞれ 1 課題ずつ、各 A4 で 2 から 3 枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第 1 回目の講義でのオリエンテーションで説明する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51364	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤、高谷 雄太郎、辻 健	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要 成績評価方法 教科書 ガイダンス	エネルギー資源論 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。 出席状況とレポートにて成績評価する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51365	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂、今野 義浩、小平 翼、 和田 良太、横田 裕輔、鈴木 克幸、 佐藤 徹、早稻田 卓爾、林 昌奎、 平林 紳一郎、巻 俊宏	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～ 人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。					
成績評価方法	授業への参加状況 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51453	A	看護学概論Ⅱ	山本 則子、麦田 裕子、松本 博成、米澤 かおり、 沼田 華子、浅岡 紘季、友滝 愛、國光真生、 池田 真理、野口 麻衣子	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－ 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。					
成績評価方法	出席および毎回のレポート得点で評価を行う。出席した回のレポートのみを受け付ける。 最終レポートはない。出席回数およびレポート提出回数が全授業回のうち 2/3 以下の場合（全 13 回の場合、8 回以下の場合）は、単位取得できない。15 分以上の遅刻は原則として出席と認めないので注意すること。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51395	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。				
成績評価方法		試験および課題等により総合評価します。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60235	A 2	農業と環境	戸石 七生	農学部	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		人口爆発と食糧需要の増加、農業を取り巻く環境と資源、穀物市場におけるエネルギー需要と食糧需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業はかつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、1）世界の農業システムはいかなる座標軸（気候風土・生産方法・営農形態）の上で多様化してきたか、2）そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、3）食料供給網（フードサプライチェーン）の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味や途上国農業の発展方向について考えてみたい。				
成績評価方法		・小レポート（毎回実施）と授業への参加姿勢により、総合的に評価する。期末試験は行わない。原則として、小レポートの提出回数が半分に達しない場合には、単位は与えない。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51408	A	教育心理学の世界	岡田 謙介、清河 幸子、一柳 智紀、 大瀧 玲子、藤村 宣之、針生 悦子、滝沢 龍、 遠藤 利彦、植阪 友理、宇佐美 慧	教育学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育心理学の世界 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。				
成績評価方法		最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

総合科目 E（物質・生命）

振動・波動論		開講区分	A
授業の目標・概要		音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。 音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。 たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。 また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。 このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。 その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1. 序論 2. 1 自由度系の振動 ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q 値 ＊パラメーター励振 ＊簡単な非線形振動 3. 連成振動 ・2 自由度系 ・基準振動、うなり ・N 自由度系 4. 1 次元の波動 ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 ＊波のエネルギー ＊インピーダンス 5. フーリエ級数、変換の方法 ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 ＊不確定性関係 ＊6. 2, 3 次元の波 ＊波動方程式 ＊平面波 ＊球面波 ＊水の表面波 ＊反射と屈折 ＊干渉、回折	
成績評価方法 教科書		主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN	
関連ホームページ ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50184	月 5	鈴木 康夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50284	火 2	加藤 雄介	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50871	木 5	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50958	金 2	山口 哲生	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	宇宙科学Ⅱ（理科生）	服部 公平	宇宙地球	月 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代銀河天文学入門：天の川銀河から銀河の形成・進化へ 銀河とは、恒星、星間ガス、ダークマター（暗黒物質）、ブラックホールなどから構成され、重力のもとで時間とともに進化する巨大な集合体である。本講義では、私たちが住む天の川銀河を出発点として、銀河の構造、運動、形成および進化について、観測と理論の両面から学ぶ。はじめに、銀河を観測するための測光、分光などの基本的手法を概説する。続いて、天の川銀河を構成する円盤、バルジ、棒状構造、恒星ハロー、星間物質、ダークマターハローについて学び、恒星の軌道や銀河の回転から質量分布を推定する考え方を理解する。特に、Gaia 衛星によって得られた恒星の位置、距離、運動の大規模データを例として、銀河円盤の力学、恒星ストリーム、過去の銀河合体、銀河考古学など、現在進展している研究を紹介する。さらに、天の川銀河以外の銀河（系外銀河）の形態、星形成、化学進化、銀河同士の相互作用、活動銀河核を取り上げ、天の川銀河と系外銀河の研究を宇宙の歴史の文脈で結びつける。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		中間レポート課題および最終試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	宇宙科学Ⅰ（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末試験 + 希望者による発表(もしくは中間レポート) 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計物理学 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例を通じて、ミクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する。特に、相転移の統計力学では、ミクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験と数回のレポートによる総合評価 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		進化学 [授業概要] 生物学には、生物を物質として還元的に解析する分野と、生物間あるいは生物と環境の関係性に注目する分野が知られています。進化学は主に後者を担う学問とされ、本講義では進化的側面から見た生物の様々な疑問に取り組みます。具体的には、生物多様性はどのように生まれてきたのか、協力はどのようにして進化しうるのか、なぜ性や性差が存在するのか、生物の形質は本当に適応的な観点だけで説明しうるのかなど、進化学の幅広いトピックを扱います。 [授業の進め方と特徴] 進化学の基礎とされる「進化機構の解明」と「進化史の推定」という2つの柱を軸に、系統学・生態学・行動学・集団遺伝学・分子進化学・ゲーム理論など、関連分野の知見や手法を紹介しながら講義を進めます。各項目には独立性を持たせ、途中からの参加でも理解できる構成とします。また、具体的な生物の例を多数取り上げつつ、進化学の面白さと奥深さに触れていきます。 [授業方針] 本授業では以下の方針を重視します： 1. 過去の授業で特に学生の皆様の関心が高かった話題から講義を始め、後半ではそれらを俯瞰的に捉え直し、進化学の総合的な見方を紹介します。 2. 授業内で取り上げる研究や用語について、教科書・論文・辞典などの出典を明示し、授業後にも参考にできるよう配慮します。 3. 高校で生物を履修していない方々への配慮のため、早い段階で最低限の分子生物学の資料と解説を提供します。 4. 国際的な紛争や HIV や COVID-19 感染の流行など、現代社会の問題を進化学の視点から捉える試みも行います。 5. 学術論文を紹介することで、教科書的には解決済みとされる現象にも、未解明の謎が多く存在することを説明し、将来的に生物学の研究に進む学生にとっての道しるべとなることを目指します。 [到達目標] この授業を通じて、遺伝子・個体・集団といった異なるレベルから生物を進化の視点で考える面白さを実感してもらうとともに、将来にわたって進化学的思考を活かせる基盤を築いてもらうことを目指します。「面白い・わかる・未来につながる・あたたかい」授業を心がけて進めます。				
成績評価方法		履修の手引きに従います。期末試験を実施する予定です。成績評価はリアクションペーパー、宿題、試験の提出状況や点数、出席状況を総合的に考慮します。また、授業への積極的な取り組みの姿勢も重視します。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	生物物理学	若本 祐一、市橋 伯一、澤井 哲、 矢島 潤一郎	統合自然科学科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生物物理学 ー実験から理論までー いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。 生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。				
成績評価方法		平常点及び小テスト 各教員が出すレポート課題 詳細は各教員の指示による。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	量子論	高木 隆司	物理	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		量子力学入門 量子力学は古典力学が破綻するミクロスケールの物理を記述する枠組みで、素粒子物理、物性物理、量子情報科学を含む多くの学問分野の基礎となっている。本講義では、量子論を初めて本格的に学ぼうとする方を対象に、量子力学の基本的な枠組みを議論し、今後の発展的な学習・研究の下地を作ることを目指す。必要な数学は適宜補いつつ進める予定。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		レポートによる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	物理科学Ⅱ（文科生）	鳥井 寿夫	物理	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		実験して学ぶ物理科学 物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われる。このような誤解を解消したい。 この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験し、体感することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室（KOMCEE East 地下1階）で実施する。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎回の授業後に提出されたレポート課題に基づいて成績を評価する。期末試験は行わない。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics 化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。特に化学ポテンシャルについて、深い理解を得ることを目指す。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を、いくつかの反応メカニズムの例を通して解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		定期試験。必要に応じて演習（クイズ）や出席状況を勘案する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A 1	現代生命科学Ⅰ（文科生、理一生）	坪井 貴司	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		期末テスト（対面試験）によって評価します。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 坪井貴司 そうだったのか！ヒトの生物学 丸善出版 9784621304518 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	解析力学	菊川 芳夫	物理	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		解析力学 解析力学の基本を学ぶ。 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。 1. Newton 力学の復習 1-1. 運動の法則 1-2. 運動量と角運動量 1-3. 仕事とエネルギー 1-4. 拘束力 2. Lagrangian と一般化座標 2-1. 仮想仕事の原理 2-2. D'Alembert の原理 2-3. 一般化座標 2-4. Hamilton の原理 2-5. Lagrange の未定乗数法 2-6. 簡単な応用 3. 対称性と保存則 3-1. cyclic 座標 3-2. 力学的エネルギー保存 3-3. 連続対称性 4. Hamiltonian と位相空間 4-1. Hamiltonian 4-2. 変分原理からの導出 4-3. 位相空間 4-4. cyclic 座標 5. 正準変換と括弧式 5-1. 正準変換 5-2. 正準変換の母関数 5-3. いくつかの例 5-4. 積分不変量 5-5. 括弧式 6. 重要な正準変換 6-1. Hamilton-Jacobi 方程式 6-2. 作用変数と角変数 7. 古典力学から量子力学へ 7-1. 前期量子論 7-2. 量子力学と解析力学の概念の対応 成績評価方法 教科書 ガイダンス				
		主に定期試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	惑星地球科学II(理科生)	黒川 宏之	宇宙地球	木 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星科学II：惑星地球の起源と進化／Earth and Planetary Science II: the Origin and Evolution of Planet Earth 惑星地球科学I・IIを通じて、我々が暮らす惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学IIでは、地球の大気圏・水圏・固体圏・生命圏の進化とその起源について解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系や太陽系外の惑星についても紹介する。／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Earth and Planetary Science II focuses on the evolution of Earth's atmosphere, hydrosphere, lithosphere, and biosphere, as well as the origin of Earth. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.				
成績評価方法 教科書 ガイダンス		毎週の小課題レポートと期末試験によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	惑星地球科学I(理科生)	小久保 英一郎	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		惑星地球科学 I(惑星系天文学概論) 太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。				
成績評価方法 教科書		課題レポートによって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎 相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。				
成績評価方法 教科書		期末試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 風間洋一 相対性理論入門講義 培風館 ISBN978-4-563-02321-8 C3342				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	化学平衡と反応速度	永田 利明	化学	金 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度 化学反応を定量的に理解するには、熱力学に基づく化学平衡についての考察と、熱力学が対象とする平衡状態に至る以前の変化を扱う反応速度論が重要である。本講義ではまず熱力学の基礎知識を踏まえて、ある化学反応が進行するか否か、十分な時間が経過した後どのような平衡状態になるかといった化学平衡の理論を理解する。その後、平衡でない系の変化に関して速度論の考え方を導入し、反応速度、反応次数、反応機構といった概念を学ぶ。化学平衡や反応速度の理論が実際の化学変化でどのように働くか、具体例を交えて理解していく。				
成績評価方法 教科書		期末試験を重視し、授業の出席や授業内で行う演習の状況を加味する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	各回での復習問題の解答を総合して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	宇宙科学I（理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要	宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics 宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。 / Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	中間レポートおよび期末試験。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	惑星地球科学II（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	地球惑星科学概論 II／ Introduction to Earth and Planetary Sciences 2 地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）					
成績評価方法	レポートにする。 出席をとり、成績に反映させる。 出席は授業中に UTOL を用いて行う。					
教科書 ガイダンス	教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51362	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘、齊藤 英治、鈴木 勉、 高井 まどか、柴田 直哉、川原 圭博、 酒井 雄也	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質・生命工学概論 本講義は、工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。				
成績評価方法		出席およびレポート。 第 2 回～第 13 回の講義に関連して出題される課題（全 6 課題）のうち、3 つを選択してレポートを提出。 最終提出期限は 2027 年 1 月 29 日（金）の予定ですが、詳細は第一回ガイダンスおよび UTOL にて告知しますので、ガイダンスでの情報を必ず確認してください。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51363	A	物質・生命工学基礎II	長汐 晃輔	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違っって捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。高校物理で出てきた電子の質量は、真空中に存在する“自由な”電子の質量である。この講義では、高校までの講義内容をもとに、学部 1 年生から理解できるように構成している。”固体中の“電子は、真空中とは異なる質量をもち、動き回っていることを学ぶ。さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います。 (履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載、参考にしてください) 以下の項目を具体的な題材として議論したい。 光ファイバー、電子顕微鏡、走査トンネル顕微鏡、半導体レーザ、高速トランジスタ等				
成績評価方法		できる限り毎回の簡単なレポート(6 割)+最終レポート(4 割)での評価 (出席は取りますが、あまりにレポートの出来が悪いときに救済措置用に参考にする程度です)				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51382	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫、池田 昌之、宇野 正起、 遠藤 一佳	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth 本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源や持続可能な社会の実現などの地球惑星科学の基礎知識や最先端のトピックスを専門が異なる 4 人の講師で解説する。				
成績評価方法		出席，レポート，テスト				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51384	A	分子生命科学	竹内 春樹、反町 典子、上村 想太郎、眞田 佳門、 濡木 理、塩見 美喜子	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		分子から見た生命現象 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 6 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。				
成績評価方法 教科書		毎回の授業の最後に実施する小テストにて評価する。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村 桂子、中塚 公子、宮下 悦子、松原 謙一、羽田 裕子、青山 聖子、滋賀 陽子、滝田 郁子） 細胞の分子生物学（第 6 版） ニュートンプレス 4315520624				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51396	A	微生物の科学	大西 康夫、原 啓文、加藤 創一郎、丸山 潤一、 妹尾 啓史、西山 真、野田 陽一、伏信 進矢、 山次 康幸、五十嵐 圭日子、野尻 秀昭、古園 さおり	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		微生物の世界 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。				
成績評価方法 教科書		講義の出席点（比重 3 分の 1）と定期テスト（比重 3 分の 2）により成績を評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51397	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅、森田 隆太郎、矢守 航、山次 康幸、 伊藤 純一、有村 慎一、樋口 洋平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の機能とその利用 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。				
成績評価方法 教科書		授業への参加姿勢、出席点、筆記試験の成績によって総合的に評価します。 教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51398	A	応用動物科学Ⅱ	村上 晋、富安 博隆、平山 和宏、内田 和幸、 望月 学、山内 啓太郎、伊藤 公一、村田 幸久、 関澤 信一、角田 茂、中川 貴之、松田 二子、 平松 竜司	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、 農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。				
成績評価方法		・レポートによる（UTOL で提出）。 ・レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見を A4 で 2 枚以内にまとめ、次の講義時までに提出（英文可、表紙不要、1 枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 ・間に合わない場合は後で提出しても良いが、減点対象となる。 ・レポートの提出がない回は 0 点として判定し、全回のレポートの平均点を最終成績とする。 ・最終回の講義のレポートは令和 9 年 1 月 25 日までに提出すること。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51399	A	海の生命科学	岡田 茂、大久保 範聡、浅川 修一、潮 秀樹	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海の生命科学（Marine Life Science） 水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、 魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息 しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官や ユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象 が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、 様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、 人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（１）海洋生物の有機化学、（２）海洋生物の生理、（３）海洋生物のゲ ノム科学、（４）海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。				
成績評価方法		授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、50%）およびレポート（50%）を基に評価する。ただ し、4 名の教員から課される 4 題のレポートを全て提出することが単位取得には必須である、未提出分のレポートがあ る場合は、出席点も含めて成績評価を行わない（未受験扱いとする）。				
教科書 ガイダンス		教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60007	A 2	現代生命科学Ⅱ（文科学、理一生）	晝間 敬	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要		植物は周囲の生物及び環境とどのように作用して適応しているのか？ 生命たらしめている要因についてこれまでの生命科学の研究の成果から一般的に認められている考え方を学び考察す る。				
成績評価方法		全生物の生存に欠かせない植物（宿主）と微生物と環境の相互作用やそれが植物の成長や生存にどのような影響を与 えるのかを紹介するとともに、ヒト、植物という一見異なる生物間を様々な切り口（特に周囲の環境との相互作用の視点） で比較し、その共通性・独自性の一端も学び考察する。 それにより、生物の持つ普遍性と多様性を理解する。				
教科書		出席、授業中の質疑応答、小課題と学期末の大課題（テストもしくはレポート）によって評価する予定です。 授業中にその日の内容の理解度を確認する小課題を出すことがあります。				
ガイダンス		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学生命科学教科書編集委員会 現代生命科学 3 版 羊土社 ISBN978-4-7581-2103-3 特に行わない。／Will not conduct guidance				

総合科目 F（数理・情報）

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	数理科学概論I(文科生)	平良 晃一	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論I（文科生） 一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う文科生向け科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって扱う順序が異なる場合がある。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	数理科学概論II(文科生)	本多 正平	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	数理科学概論 II（文科生） 行列が定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルの求め方およびその応用を扱う文科生向け科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって扱う順序が異なる場合がある。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51361	A	数理工学入門	鈴木 大慈、 松田 孟留	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	数理工学入門 人工知能やデータ科学は、機械学習と統計学という数理基盤によって支えられている。これらの方法論は、いかにして有限個のデータからその背後にある構造の情報を獲得するかという目的のために構築されており、数学的には確率論・幾何学・関数近似理論といった学問と繋がっている。これらの方法論は情報に関わる工学的応用だけでなく科学的な知識発見においても重要である。本講義では、機械学習と統計学について、基本的な定式化から始め、その数理基盤について説明する。					
成績評価方法 教科書 ガイダンス	2 回のレポート課題（前半・後半各 1 回） 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計データ解析 I では、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。統計データ解析 I は A セメスターに開講し、基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。					
成績評価方法	レポートによる。					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	統計データ解析I	増田 弘毅	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．					
成績評価方法	レポートによる．					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	統計データ解析I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	統計データ解析I 統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウェア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．					
成績評価方法	レポートによる．					
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太,村田昇,吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

図形科学 A		開講区分	A
授業の目標・概要	3次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。 1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線） 2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法） 3. アセンブリ・正投影図面 4. リンク機構とモーシヨンの表現 5. レンダリング（透視投影、色彩、テクスチャー、陰影）		
成績評価方法	出席、レポート（実習課題）、期末試験によって評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 3D-CAD で学ぶ図形科学入門 著者（訳者） 横山ゆりか、金井崇，館知宏，三木優彰 共著 出版社 サイエンス社 ISBN 978-4-7819-1555-5		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50040	月 2	奈尾 信英、黄 宇航	1 年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2 年 文科 理科
50067	月 3	黄 宇航、奈尾 信英	1 年 文科 理一(6,12,19,37) 2 年 文科 理科
50230	火 2	金井 崇、早川 大地	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50343	火 3	早川 大地、金井 崇	1 年 文科 理一(10,15,21,26) 2 年 文科 理科
50600	水 3	加戸 啓太、天童 智也	1 年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2 年 文科 理科
50627	水 4	天童 智也、加戸 啓太	1 年 文科 理一(4,27-29,33) 2 年 文科 理科
50677	木 1	柏原 賢二、今田 凜輝	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50733	木 2	今田 凜輝、柏原 賢二	1 年 文科 理一(13,32,34,36,38) 2 年 文科 理科
50992	金 3	田中 一郎、三木 優彰	1 年 文科 理一(18,20,22,25) 2 年 文科 理科
51027	金 4	三木 優彰、田中 一郎	1 年 文科 理一(1-3,8-9,24,31) 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51138	A	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎統計				
授業の目標概要		Undergraduate (Junior Div.)				
成績評価方法		宿題 (50%) 中間試験 (20%) 期末試験 (30%) の結果により、総合的に評価する。括弧内は目安。				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51139	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		基礎統計				
授業の目標概要		統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。				
成績評価方法		考え方の理解を中心にして授業を進めるため、向いている人と向いていない人とにある程度わかれる。初回の授業などを聞いて、その点もふくめて履修するかどうかを判断してほしい。 成績評価は理系と文系別々で行い、成績区分の比率もほぼ同じくらいにする。「A」の比率は教務課のガイドラインに基本的に準拠するが、履修者が多いか少ないかによって、2 割近くになる場合もあれば 4 割近くになる場合もある。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

アルゴリズム入門		開講区分	A
授業の目標・概要	コンピュータやインターネット、人工知能などの情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。これらは「アルゴリズム」に従い動作しています。アルゴリズムは、目的地までの経路検索、観測データからの気象予測、おすすめ商品の提示、動画の圧縮と再生など、あらゆる処理の基礎をなしています。 本科目の目的は、アルゴリズムに関連する情報科学・情報工学の基礎的な概念、例えばアルゴリズムを作るための考え方やアルゴリズムを分析するための方法などを、Python 言語によるプログラミングを通して習得することです。		
成績評価方法	試験および演習課題の成績によって評価します。		
教科書	試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト 第2版 アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ 著者（訳者） 森畑明昌 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-062469-5		
関連ホームページ			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50042	月 2	田中 哲朗	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50130	月 4	金子 知適	1 年 文科 理一(6,8,10,15) 2 年 文科 理科
50160	月 5	杉山 磨人	1 年 文科 理二三(5-6,8,12-13,15,17) 2 年 文科 理科
50965	月 5	森畑 明昌	1 年 文科 2 年 文科 理科
50229	火 2	千葉 滋	1 年 文科 理一(12,17,19,32) 2 年 文科 理科
50291	火 2	森 純一郎、山肩 洋子	1 年 文科 2 年 文科 理科
50537	水 2	山本 直輝	1 年 文科 理一(9,25-26,29) 2 年 文科 理科
50626	水 4	高野 保真	1 年 文科 理一(1-3,5,7,35-36) 2 年 文科 理科
50732	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(11,16,37,39) 2 年 文科 理科
50849	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,7,9-10,14,16,24) 2 年 文科 理科
50898	金 1	加藤 弘之	1 年 文科 理一(20-22,30) 2 年 文科 理科
50914	金 2	塚田 学	1 年 文科 理二三(4,11,18-23) 2 年 文科 理科
50991	金 3	笠浦 一海	1 年 文科 理一(13,24,31,33) 2 年 文科 理科
51028	金 4	馬場 雪乃	1 年 文科 理一(4,14,23,34) 2 年 文科 理科

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51369	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦、 鶴岡 慶雅、 高木 剛、 駒木 文保、 二瓶 美里、 齋藤 大輔	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報・システム工学概論 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。				
成績評価方法		出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51355	A	情報システム基礎II	岡田 慧、葛岡 英明、伊藤 太久磨、 深尾 隆則、椋田 悠介、鄭 銀強、 Venture Gentiane、伴 祐樹、 浅野 悠紀、趙 漠居、大黒 達也、 NIE MINGHAO、小島 邦生、 白松 知世、杉浦 広峻、 河原塚 健人、中嶋 浩平、 高橋 宏知、二瓶 美里、國吉 康夫、 原田 達也、福井 類、竹内 昌治、 鳴海 拓志、谷川 智洋	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロボット・バイオ・モビリティ / Robots, Biotechnology, Mobility 人間の機能や能力を、工学的なシステムによって部分的に再現・代替・拡張する、あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援したりすることを目指す。本講義ではロボット、バイオ、モビリティの入門から、実際の最先端のロボット・バイオ・モビリティ研究、人間支援研究を取り上げ、それらの基本原理、人間との本質的な関係、最新の研究成果や社会実装、今後の展望について、各分野の第一線で活躍する教員・研究者が解説する。また、本講義は夏学期に開講される「情報システム基礎Ⅰ：ロボット・AI・VR」とも密接に連携して講義を実施し、情報システムが拓く未来を体系的に概観する。				
成績評価方法		講義への出席とミニレポート				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51358	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		わかる電子回路 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。 成績評価方法 出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題)によって総合的に判断する。 2026 年度の最終課題発表の機会は 2 回用意する。 2027 年 1 月 4 日 2027 年 1 月 18 日 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51354	A	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	長山 智則、菊地 由佳、 渡邊 健治、高橋 佑弥、 下園 武範	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		力学で解く自然災害 地震、津波、洪水、台風、高潮など、我が国は世界的に見て自然災害の多い国である。多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが、一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで、被害を食い止めようとしてきた。 本講義では、圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し、工学モデルを築き上げてきたか、また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか、工学部社会基盤学科の教員が解説する。構造被害、地盤災害、沿岸災害に関連する力学数値モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し、実社会の防災への適用の現状を解説する。 成績評価方法 3 回のレポート提出および出席をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60221	A 2	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫、 和泉 潔、陳 昱	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済物理・金融情報学・計算社会科学 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。 ※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う。(2027 年 1 月 21 日(木)、2 月 1 日(月)を予定) ※受講希望者は 10 月 2 日(金)までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkw12 成績評価方法 講義後に行われる試験によって評価。 試験は持ち込み可 教科書 教科書は使用しない。／Will not use textbook ガイダンス 特に行わない。／Will not conduct guidance				